

高度排水処理施設の定期点検整備結果及び平成 3 1 年度の定期点検整備計画

1. 概要

高度排水処理施設の定期点検整備結果及び平成 3 1 年度の定期点検整備計画について報告する。

2. 平成 3 0 年度の定期点検整備結果

平成 3 0 年度に実施した高度排水処理施設の定期点検整備の実施状況について、表 1 に示す。

表 1 平成 3 0 年度の定期点検整備の実施状況

No	項 目	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬									
1	原水調整槽清掃作業																								
	第3, 4 第5槽+沈砂槽																								
2	トレンチ送水ポンプ点検整備																								
	トレンチ送水ポンプ2号																								
3	脱臭ファン点検整備																								
	脱臭ファン1, 2号																								
4	凝集膜ろ過装置点検整備																								
	凝集膜薬液洗浄(年3回)																								
	膜汚泥引抜ポンプ1,2号																								
	水槽内部補修																								
5	紫外線照射装置点検整備																								
	紫外線照射装置																								
6	オゾン発生設備点検整備																								
	オゾン発生装置																								
	PSA酸素発生器																								
	オゾンモニター オゾンコンプレッサー1,2号																								
7	活性炭塔バルブ更新																								
	バルブ更新																								
8	コンプレッサー点検整備																								
	計装用コンプレッサー																								
	バージ用コンプレッサー																								
9	薬注ポンプ更新																								
	薬注ポンプ13台																								
10	計装機器点検整備																								
	PH計, DO計, ORP計, UV計, SS計																								
11	電気盤点検整備																								
	中央監視盤, 動力制御盤																								

(1) 原水調整槽清掃作業

原水調整槽のうち、第 3 槽、第 4 槽、第 5 槽、沈砂槽の浚渫と内部清掃を実施した。各水槽内の防食塗装について目視点検を行った結果、トップコートの膨らみ等の異常が無いことを確認した。



写真 1 第 3 槽 (貯留槽) 清掃完了

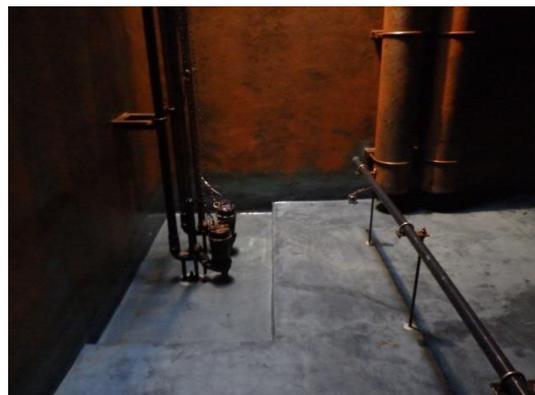


写真 2 第 4 槽 (多目的槽 1) 清掃完了



写真3 第5槽（多目的槽2）清掃完了



写真4 沈砂槽 清掃完了

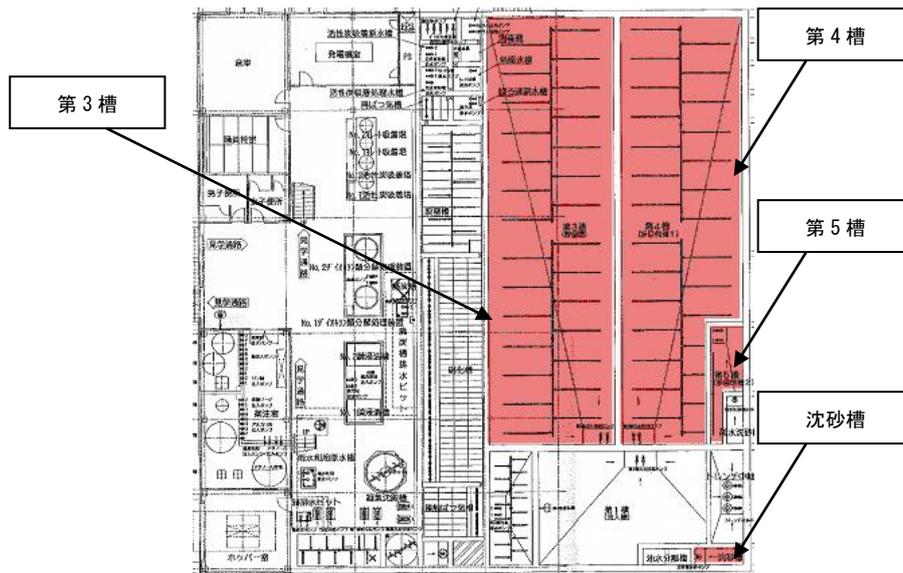


図1 浚渫清掃作業 対象水槽

(2) トレンチ送水ポンプ点検整備

トレンチ送水ポンプ2号を対象に、シールリングやOリング等の消耗部品に加え、羽根車やメカニカルシールを交換する引揚・分解整備を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。

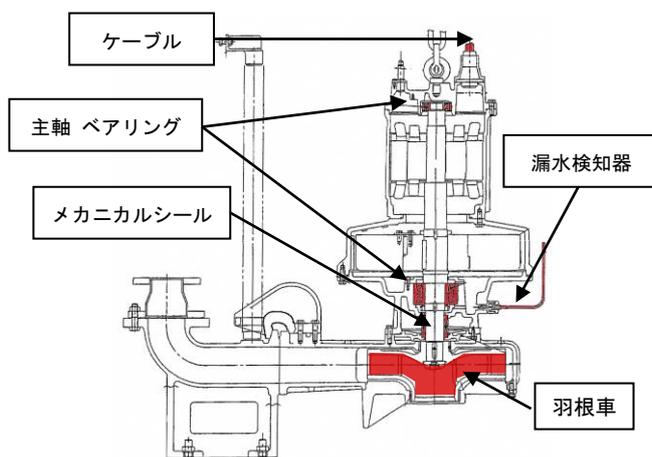


図2 トレンチポンプ展開図



写真5 トレンチポンプ 工場整備完成

(3) 脱臭ファン点検整備

脱臭ファン1, 2号を対象に、ベアリング、Oリング、Vベルト等の消耗部品を交換する分解整備を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。

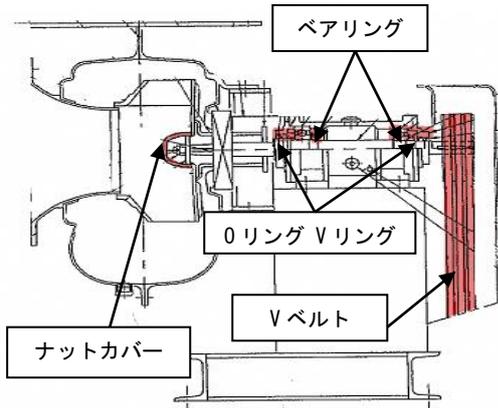


図3 脱臭ファン展開図



写真6 脱臭ファン 整備完成

(4) 凝集膜ろ過装置点検整備

①凝集膜薬液洗浄及び槽内防食塗装補修

3回目となるセラミック膜の薬液洗浄を実施した。薬液洗浄の結果、吸込圧力は、1号機では -0.011 MPa から -0.003 MPa に、2号機では -0.013 MPa から -0.002 MPa に復帰しており、どちらも正常な運転状況を確認した。また防食塗装の割れ・剥離など劣化部分を除去し、槽内の防食塗装補修を実施した。

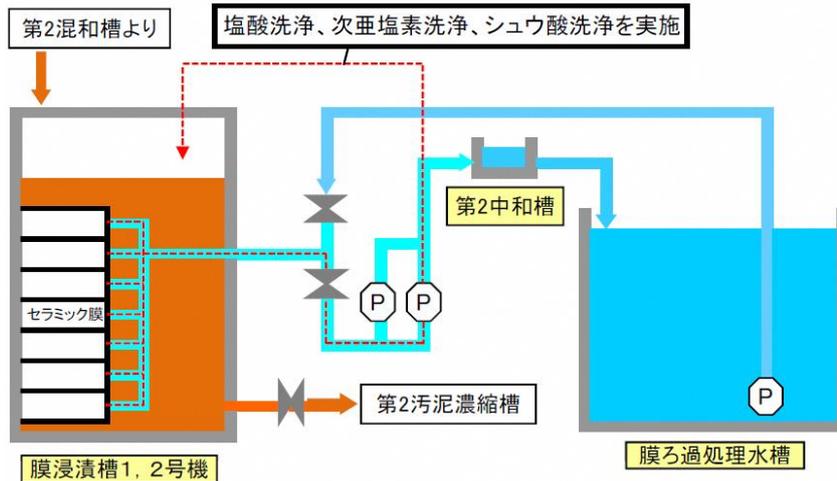


図4 凝集膜ろ過装置 薬品洗浄方法

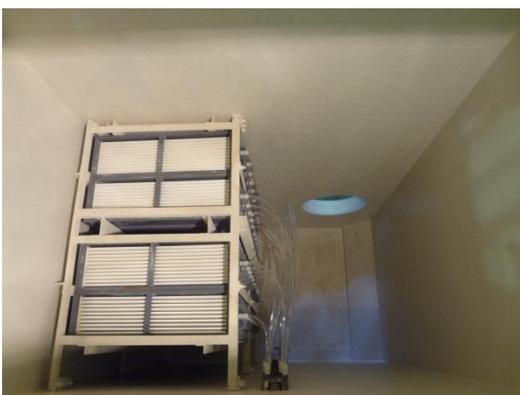


写真7 セラ膜1号機 洗浄塗装完了



写真8 セラ膜2号機 洗浄塗装完了

②膜汚泥引抜ポンプ点検整備

膜汚泥引抜ポンプ1, 2号を対象に、ベアリングやOリング等の消耗部品に加え、インペラーやメカニカルシールを交換する分解整備を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。

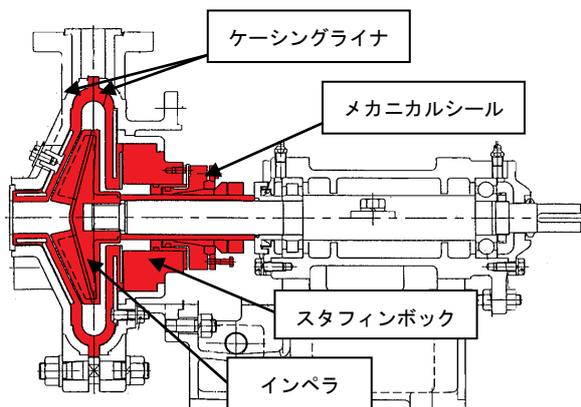


図5 膜汚泥引抜ポンプ展開図



写真9 膜汚泥引抜ポンプ 整備完成

(5) 紫外線照射装置点検整備

ダイオキシン類分解装置内の紫外線照射装置を対象に、紫外線ランプユニットを引抜き、ガラス製のジャケットを洗浄清掃し、ランプ寿命である8,000時間を超えた紫外線ランプは、全数交換した。

交換後の運転において、ランプ電圧が全て基準値内であることを確認した。

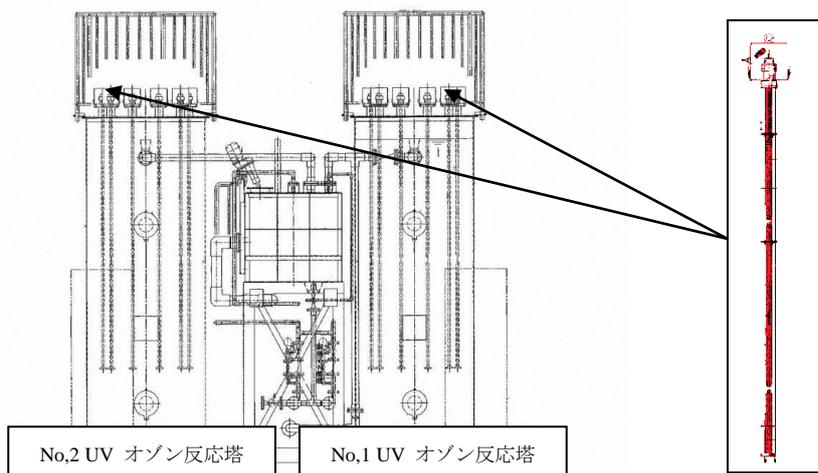


図6 ダイオキシン類分解処理装置 組立図

図7 紫外線ランプ 外形図

(6) オゾン発生設備点検整備

オゾン発生装置、酸素の濃度を上げる酸素発生機、発生したオゾンを計測するオゾンモニター（オゾン濃度測定装置）及び圧縮空気を発生させるコンプレッサーを対象に、消耗部品を交換する分解整備を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。

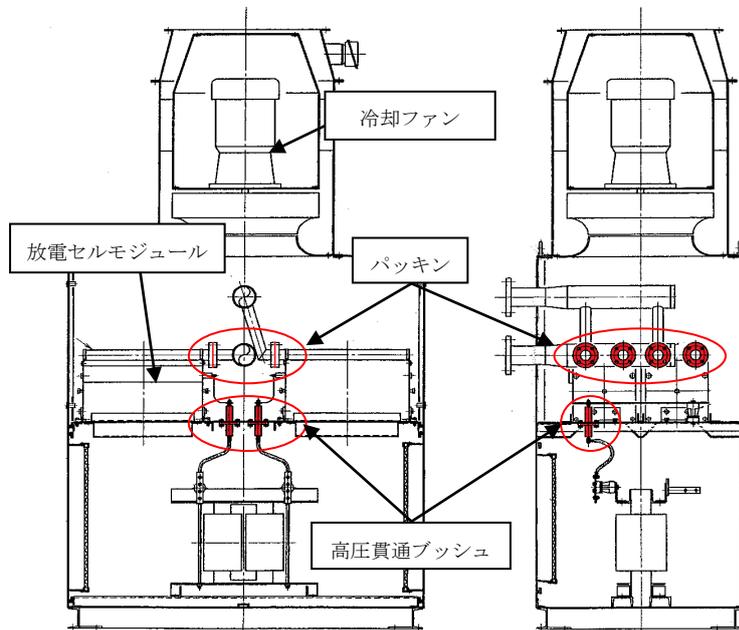


図8 オゾン発生装置 構造図

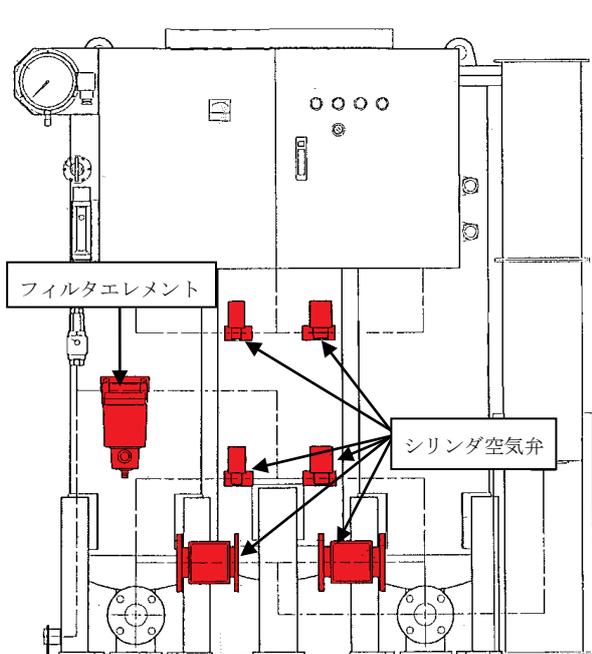


図9 空気浄化装置 組立図

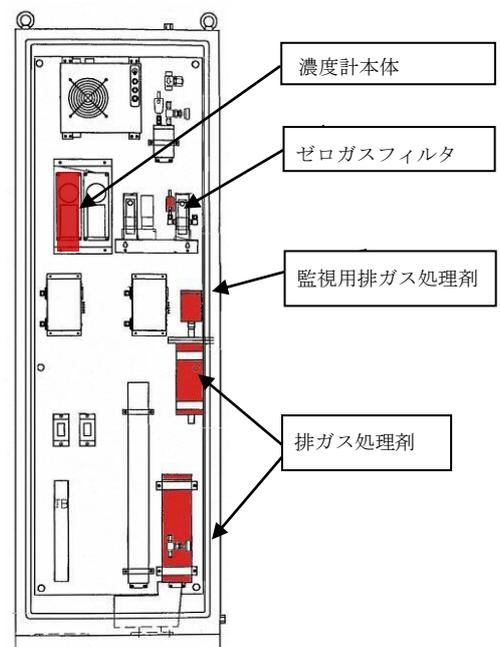


図10 オゾンモニター 組立図

(7) 活性炭塔バルブ更新

エア駆動の切替バルブ 12 個を更新した。

更新後の試運転において、異常が無いことを確認した。

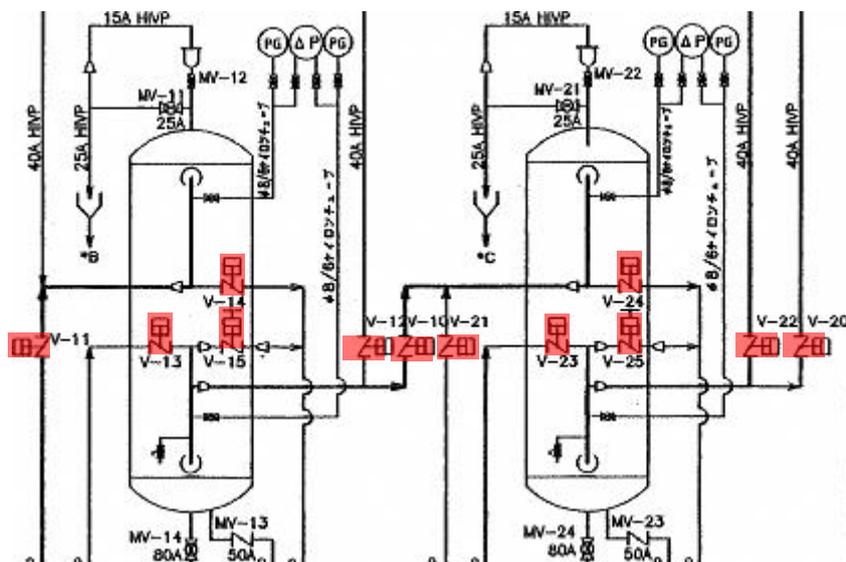


図 1 1 活性炭塔 バルブ更新位置

(8) コンプレッサー点検整備

計装用コンプレッサーとパージ用コンプレッサーを対象に、オイルシールやベアリング等の消耗部品を交換する分解整備を実施した。

整備完了後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。

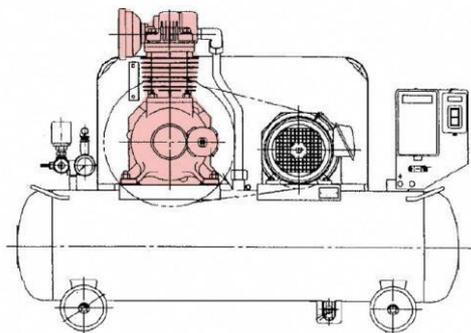


図 1 2 コンプレッサー外形図

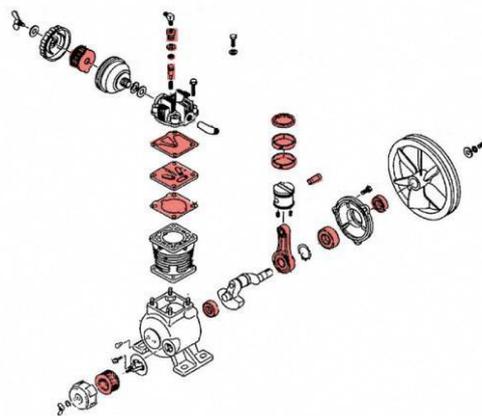


図 1 3 コンプレッサー展開図

(9) 薬注ポンプ更新

凝集剤注入ポンプ3台、酸注入ポンプ2台、アルカリ注入ポンプ4台、メタノール注入ポンプ2台、凝集助剤注入ポンプ2台の計13台を更新した。

更新後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。

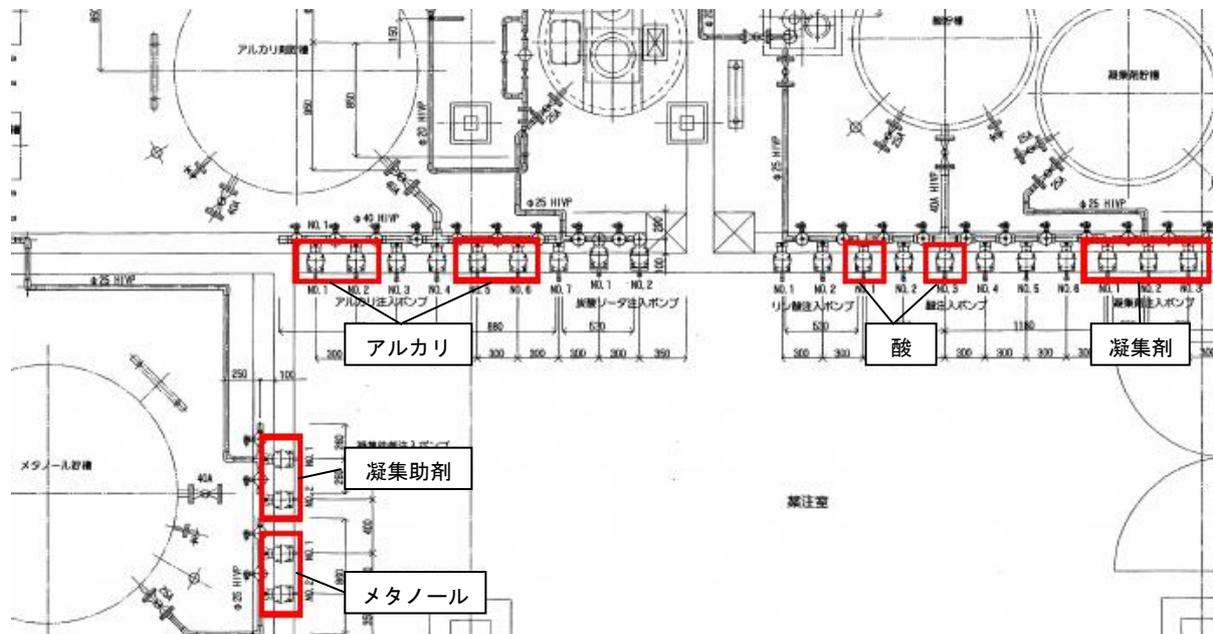


図14 薬注室全体 ポンプ更新位置

(10) 計装機器点検整備

pH計・DO計・ORP計の更新、及びUV計・SS計の部品を交換し、各機器の校正作業とループテストを実施した。

整備後の実負荷運転において、異常が無いことを確認した。

表2 整備対象計装機器

No.	機器名称	作業内容	結果
1	反応槽 pH 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
2	第1混和槽 pH 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
3	第1中和槽 pH 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
4	硝化槽 pH 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
5	第2混和槽 pH 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
6	第2中和槽 pH 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
7	pH調整槽 pH 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
8	消毒槽 pH 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
9	硝化槽 DO 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
10	脱窒槽 ORP 計	更新、校正、ループテスト	異常なし
11	放流ピット UV 計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし
12	SS濃度計	消耗品交換、校正、ループテスト	異常なし

(11) 電気盤点検整備

中央動力制御盤1面、現場制御盤8面の内部点検と清掃、及び機器131台の絶縁抵抗測定を行った。

点検の結果、第5槽汚水移送ポンプ1台、膜洗浄ポンプ3台、ダイオキシン類分解装置原水ポンプ2台、処理水循環ポンプ1台、放流ポンプ1台については、絶縁抵抗が10MΩ以下のため、今後要経過観察対象とするとともに、故障した際の予備品を準備することとする。

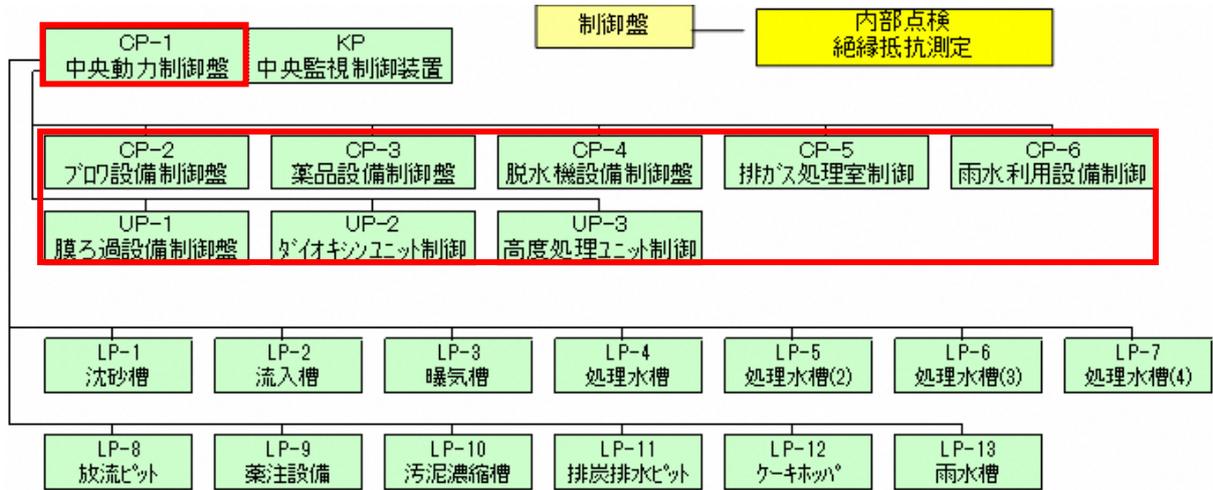


図15 高度排水処理施設 制御盤構成

(7) オゾン発生設備点検整備

高電圧に対抗する絶縁性の確保や、新鮮空気への不純物混入防止のため、オゾン発生機 1 基、及び酸素発生機 1 基、オゾンモニター 1 基、コンプレッサー 2 台の分解清掃を実施する。

(8) 汚泥脱水機点検整備

2 年毎の整備周期計画に基づき、汚泥脱水機 1 台の分解整備を実施する。

(9) 給水ユニット点検整備

5 年毎の整備周期計画に基づき、上水と中水の給水ポンプを交換する。

(10) ブロワ点検整備

3 年毎の整備周期計画に基づき、多目的ブロワ 2 台と膜洗浄ブロワ 3 台の分解清掃を実施する。

(11) 計装機器点検整備

正確な測定値を観測するために、pH 計、DO 計、ORP 計、UV 計、SS 計の校正作業、ループテスト及び部品交換を実施する。

(12) 電気盤点検整備

各機器を正常に制御するため、中央動力制御盤と現場制御盤の点検と、各機器の絶縁抵抗を測定する。

(13) 第 1 槽汚水切替弁整備

動作不良が起きている第 1 槽汚水切替用の電動弁 2 個を更新する。

(14) 凝集膜ろ過装置点検整備（液中膜）

膜分離モジュールの薬品洗浄を実施し、主要機器について部品交換と更新を実施する。

表 4 凝集膜ろ過装置（液中膜）の定期点検整備計画

		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
凝集膜ろ過装置（液中膜）												
汚水移送ポンプ	1号								更新			
	2号											
膜洗浄ブロワ									Vベルト			
処理水排出ポンプ	1号								更新			
	2号											
塩化第二鉄注入ポンプ												
硫酸注入ポンプ												
苛性ソーダ注入ポンプ												
混和槽攪拌機												
汚泥引抜ポンプ												
膜分離モジュール						薬品洗浄			薬品洗浄			
その他			チューブ						チューブ			

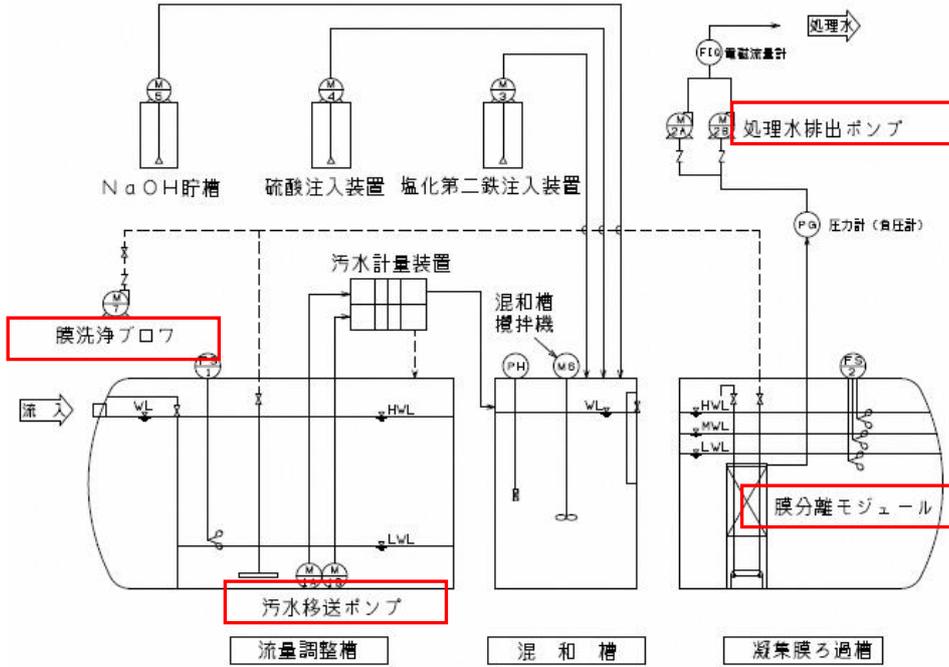


図 1 6 凝集膜ろ過装置（液中膜）の処理フロー

(15) 活性炭処理装置 充填材取替

集水井を処理する設備の一部として利用する計画のため、充填材の取替は年 3 回とする。集水井の処理状況次第では、活性炭の取替頻度は増えてくる可能性がある。

表 5 活性炭処理装置の定期点検整備計画

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
活性炭処理装置									
活性炭原水ポンプ									
逆洗ポンプ									
放流ポンプ									
活性炭	交換	交換	交換			交換			
切替バルブ									
その他									

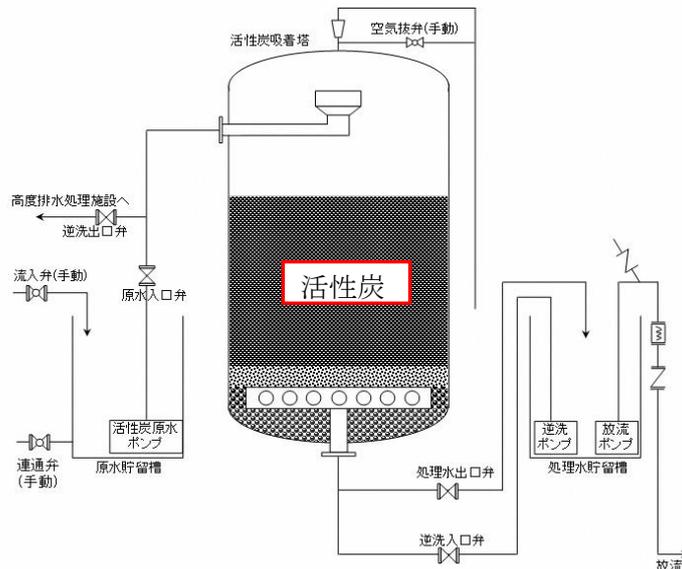


図 1 7 活性炭処理装置の処理フロー

(16) 加圧浮上装置点検整備

主要機器の更新と、加圧水タンクのパッチ補修を実施する。

表 6 加圧浮上装置の定期点検整備計画

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度
加圧浮上装置								
苛性ソーダ注入ポンプ								
塩鉄注入ポンプ					交換			
ポリマー注入ポンプ					交換			
原水ポンプ	1号				交換			
	2号							
反応槽攪拌機								
凝集槽攪拌機								
浮上分離槽攪拌機								
スカム移送ポンプ								
加圧水ポンプ					交換			
処理水移送ポンプ					交換			
ピットポンプ								
その他								

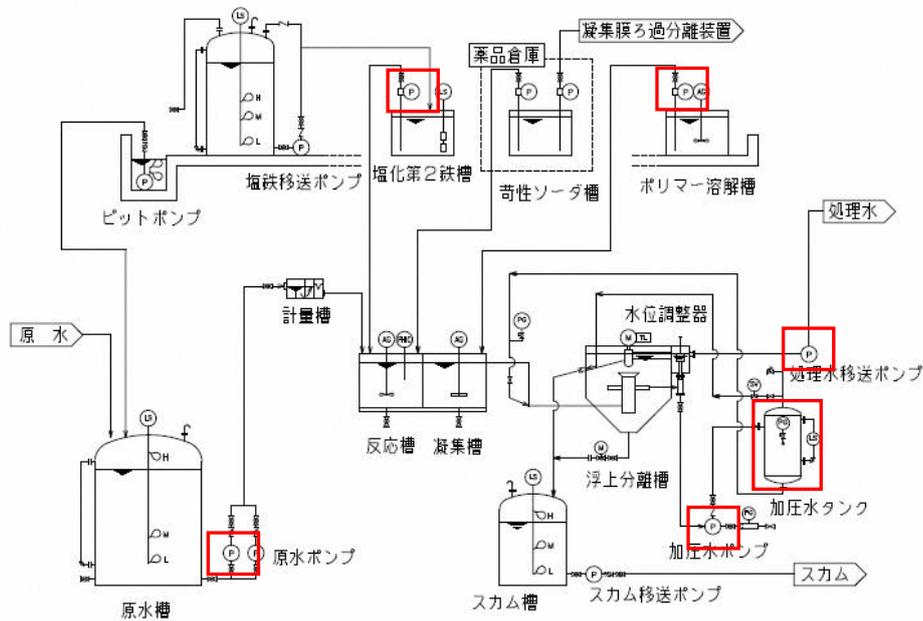


図 18 加圧浮上装置の処理フロー

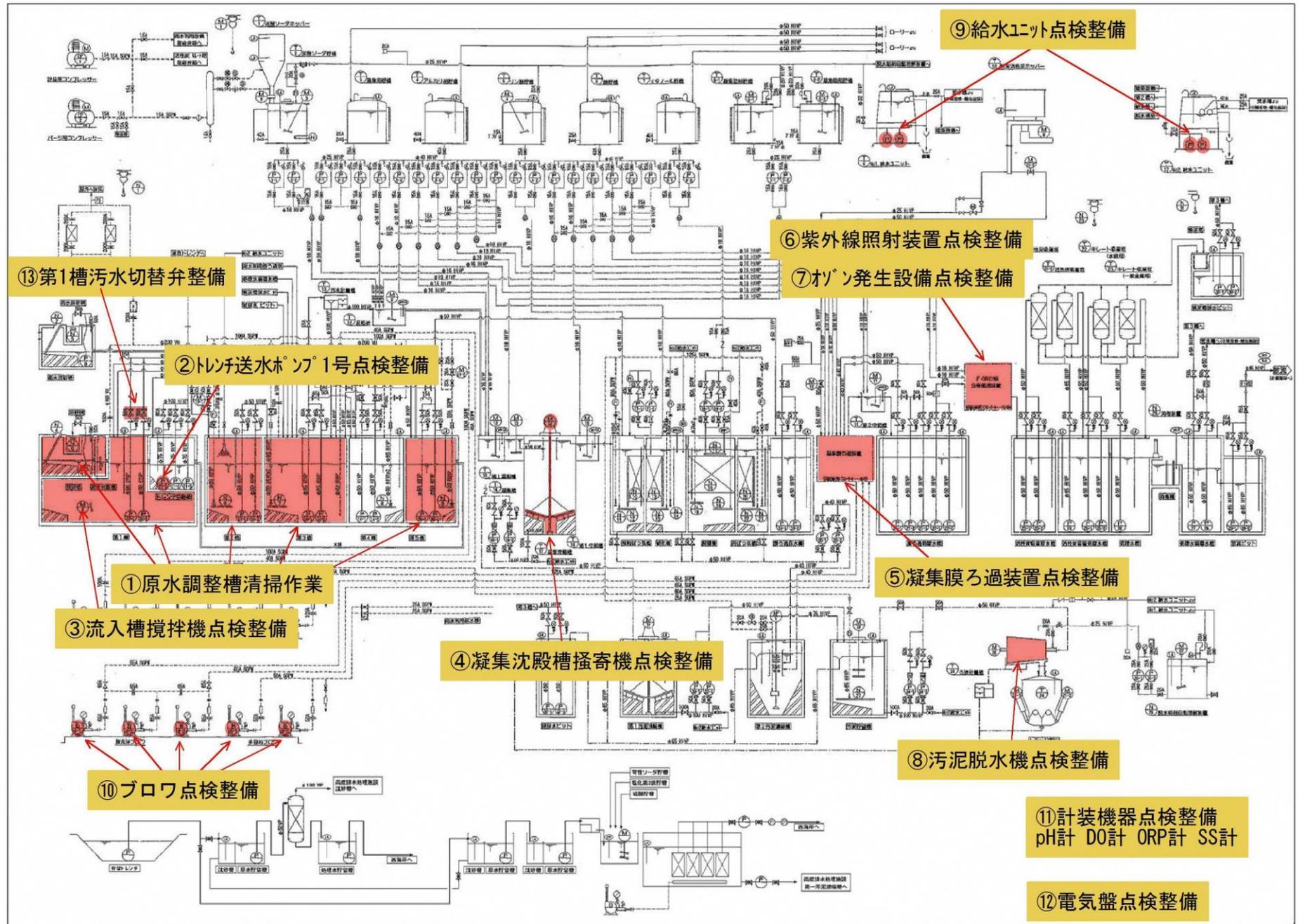


図 1 9 定期点検整備の対象装置の位置

各種マニュアルの見直し

1. 概要

現在、豊島廃棄物等処理施設撤去等事業を実施しており、これまでと作業体制や形態が大きく変わっていることから、順次、各種マニュアルの見直しを行っていくこととしている。

2. 修正を行うマニュアルと概要

今回、修正するマニュアルとその概要は次のとおりである。

マニュアル名	追加・修正の概要
豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 高度排水処理施設運転・維持管理マニュアル	第 6 回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会において、「集水井から湧出する地下水の処理の検討結果」(Ⅱ/3)について審議・承認を得た内容を踏まえ、マニュアルを修正する。
豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 活性炭吸着塔 運転・維持管理マニュアル	同上
豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 凝集膜分離装置 運転・維持管理マニュアル	これまでに開催した豊島処分地地下水・雨水等対策検討会において、「水質検査項目の見直し」(Ⓞ第 4 回 Ⅱ/4-1)や、「集水井から湧出する地下水の処理の検討結果」(Ⓞ第 6 回 Ⅱ/3)について審議・承認を得た内容を踏まえ、マニュアルを修正する。
豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 豊島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル	これまでに開催した豊島処分地地下水・雨水等対策検討会において、「水質検査項目の見直し」(Ⓞ第 4 回 Ⅱ/4-1)や、「周辺環境モニタリングの見直しの検討」(Ⓞ第 5 回 Ⅱ/4-1)について審議・承認を得た内容を踏まえ、マニュアルを修正する。
豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 暫定的な環境保全措置の施設等に関する維持管理マニュアル	応急的な整地の状況を踏まえ、マニュアルを修正する。

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業

活性炭吸着塔 運転・維持管理マニュアル

活性炭吸着塔 運転・維持管理マニュアル

<目 次>

1. マニュアルの主旨
2. マニュアルの適用範囲
3. 設備の概要
4. 運転にあたっての注意事項
5. 通常運転時のオペレーション
6. 施設の立ち上げ手順
7. 施設の立ち下げ手順
8. 緊急時の運転対応
9. 運転体制の確立
10. 維持管理の業務内容
11. 維持管理にあたっての注意事項
12. 保守・点検の実施
13. 維持管理体制の確立
14. 緊急時等の連絡体制

【修正履歴】

年 月 日	摘 要	審 議 等
H30.3.24	第3回フォローアップ委員会	地下水浄化対策の状況に合わせて修正。

1. マニュアルの主旨

本マニュアルは、活性炭処理装置を安全に運転するために、運転・維持管理上注意すべき事項を記載しています。適切な運転・点検・整備を行うため、十分な理解をお願いします。

なお、活性炭吸着塔は、台風等の大雨により処分地内に留まった雨水を排出するため、貯留トレンチ貯留水の処理や集水井地下水等の処理を行うものですが、今後、処理対象水の追加や、運転・管理方法の変更等を行う場合は、適宜マニュアルの修正が必要です。

2. マニュアルの適用範囲

本マニュアルは、次の施設の運転作業(現場運転員作業)に対して適用します。

施設	対象設備
活性炭吸着塔	活性炭吸着塔全体(沈砂槽、貯留槽、送水ポンプ等含む)

3. 設備の概要

3.1 設備の主要目

(1) 処理能力

200m³/日

(2) 処理水質

COD: 原水 60mg/l → 処理水 30mg/l 以下

※原水中のSS濃度が高い場合は、塔内の閉塞が進み、処理能力の低下が早まるおそれがあるため原水のSS濃度は60mg/l程度を目安とする。

(SS: 原水 60mg/l → 処理水 20mg/l 以下)

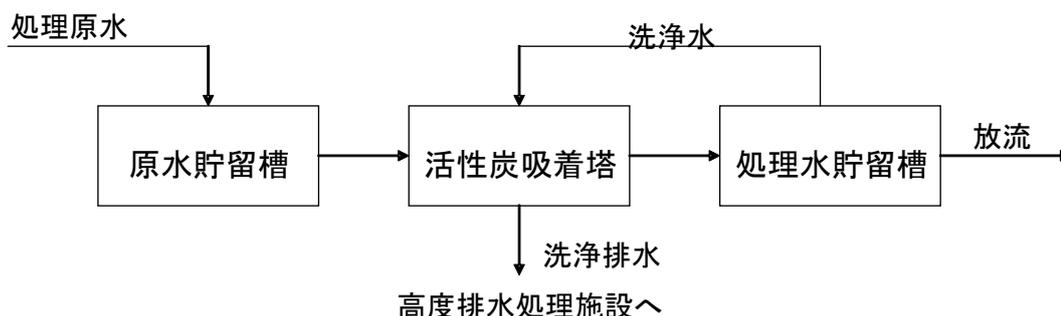
(3) 処理対象水

・貯留トレンチ貯留水

貯留トレンチ貯留水の水質が変わる毎に放流に係る管理基準が設定されている全ての項目について水質検査を行い、装置による水処理の適応性を調査します。水質検査の結果、全ての項目で管理基準を満足していた場合は、処理を行わず放流し、COD及びSSのみが管理基準を満足していない場合は、活性炭吸着塔の処理対象とします。

・集水井地下水等

(4) 運転フロー

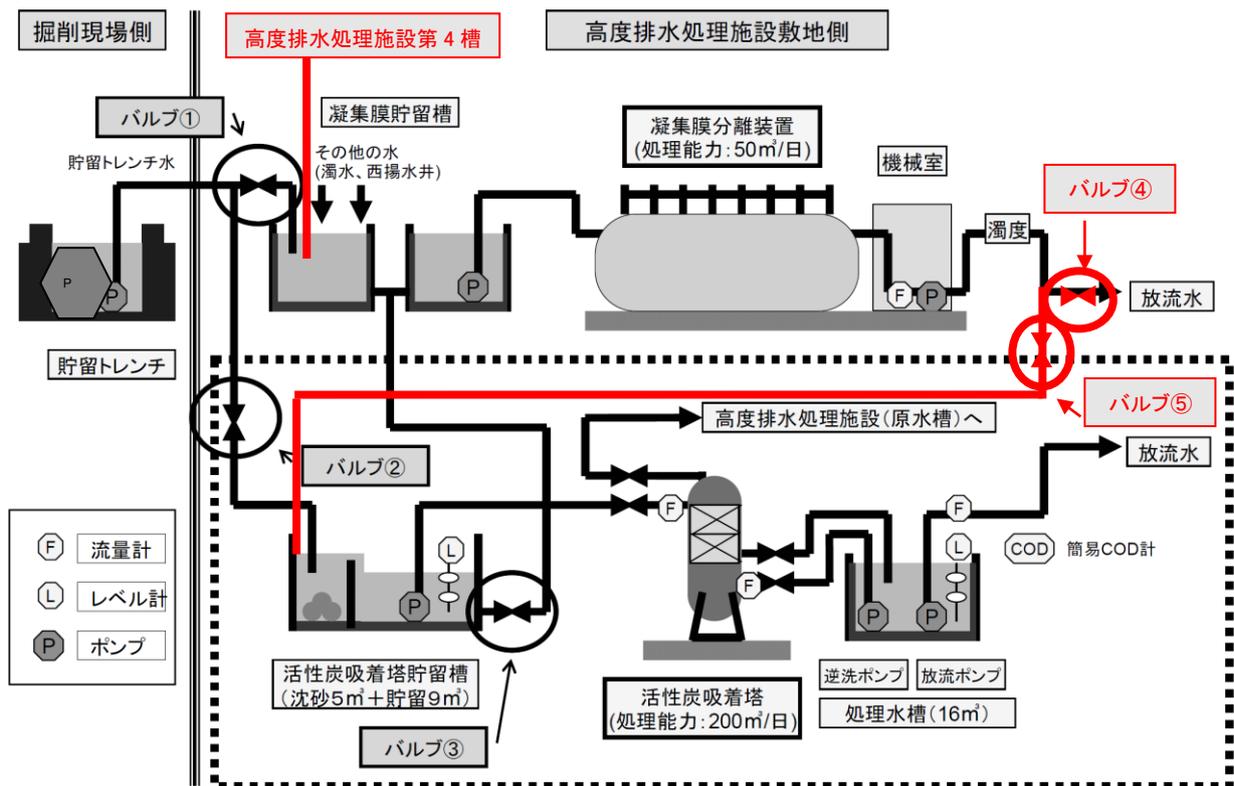


3.5 凝集膜分離装置との関係

活性炭吸着塔の原水貯留槽は、隣接する凝集膜分離装置の原水貯留槽とバルブ付きの連通管で繋がっています。

また、貯留トレンチから活性炭吸着塔及び凝集膜分離装置の各原水貯留槽へ繋がる送水管にも2カ所のバルブが設置されており、その開閉により送水経路を切り替えられるようになっています。

活性炭吸着塔と凝集膜分離装置の使い分けについては次のとおりです。



活性炭吸着塔と凝集膜分離装置の処理フロー

以下省略

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業

凝集膜分離装置 運転・維持管理マニュアル

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業 凝集膜分離装置 運転・維持管理マニュアル

<目 次>

1. マニュアルの主旨
2. マニュアルの概要
3. マニュアルの適用範囲
4. 設備の概要
5. 運転にあたっての注意事項
6. 通常運転時のオペレーション
7. 施設の立ち上げ手順
8. 施設の立ち下げ手順
9. 緊急時の運転対応
10. 運転計画の立案
11. 運転体制の確立
12. 勤務体制
13. 維持管理の業務内容
14. 機械設備等の保守点検項目
15. 維持管理にあたっての注意事項
16. 保守・点検計画の立案
17. 維持管理体制の確立
18. 勤務体制
19. 緊急時等の連絡体制

【修正履歴】

年 月 日	摘 要	審議等
H30.3.24	第3回フォローアップ委員会	地下水浄化対策の状況に合わせて修正。

省略

4. 設備の概要

4.1 水処理設備の主要目

(1) 処理能力

50 m³/日

(2) 処理水質

ダイオキシン類 (単位: pg-TEQ/l): 原水 70 → 処理水 10 以下

SS (単位: mg/l): 原水 250 → 処理水 35 以下

COD (単位: mg/l): 原水 60 → 処理水 30 以下

(3) 処理対象水

- ・直下土壌が露出した区域における土壌面貯留雨水のうち、ダイオキシン類、COD 及びSSのみが放流に係る管理基準値を超えているもの。

土壌面貯留雨水は、貯留水ごとに、放流に係る管理基準が設定されている全ての項目について水質検査を行い、装置による水処理の適応性を調査します。土壌面貯留雨水が、全ての項目で管理基準を満足していた場合は、処理を行わず放流し、ダイオキシン類、COD 及びSSのみが管理基準を満足していない場合は、凝集膜分離装置の処理対象とします。

- ・ダイオキシン類、COD 及びSSのみが管理基準値を超過している沈砂池、北海岸アスファルト区域等を高圧洗浄した際の洗浄水及び沈砂池貯留水。

- ・西揚水井・集水井地下水等

- ・貯留トレンチ貯留水

貯留トレンチ貯留水の水質が変わる毎に放流に係る管理基準が設定されている全ての項目について水質検査を行い、装置による水処理の適応性を調査します。水質検査の結果、全ての項目で管理基準を満足していた場合は、処理を行わず放流し、ダイオキシン類、COD 及びSSのみが管理基準を満足していない場合は、凝集膜分離装置の処理対象とします。

(4) 処理方式

- 1) 水処理 (処理水質に応じて活性炭吸着塔に送水する場合がある。)

処理対象水 → 沈砂槽 → 調整槽 → 凝集膜分離装置 → 放流

- 2) 汚泥処理

凝集膜分離 → 汚泥貯留 → 汚泥脱水処理 → 貯留 → 搬出

凝集膜分離装置で発生する汚泥は、汚泥ポンプにより、高度排水処理施設の汚泥貯留槽へ移送し、含水率85%以下に濃縮・脱水された後、処理するものとします。

(5) 放流先

凝集膜分離装置の処理水は、沈砂池1放流口に、凝集膜分離装置からの放流配管を接続することにより、沈砂池1放流口から西海岸へ放流します。

(6) 情報表示

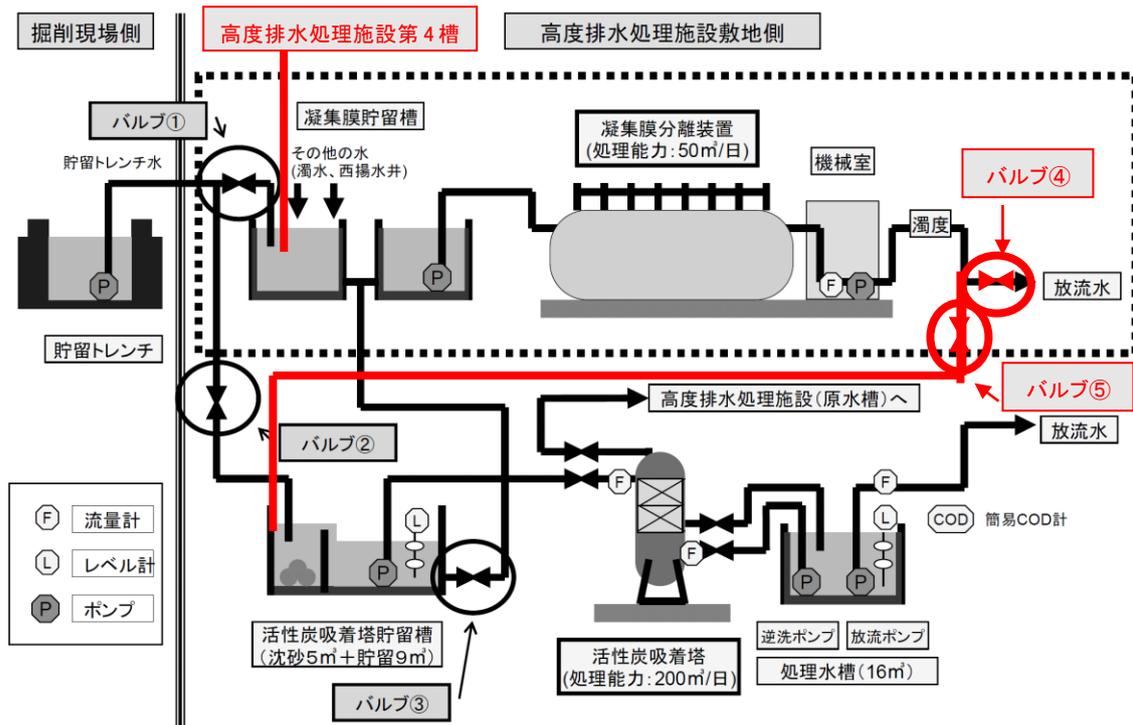
凝集膜分離装置の稼働状況及び処理水量について、豊島廃棄物等処理施設撤去等事業情報ホームページに表示することにより情報提供を行います。

4.5 活性炭吸着塔との関係

凝集膜分離装置の原水貯留槽は、隣接する活性炭吸着塔の原水貯留槽とバルブ付きの連通管で繋がっています。

また、貯留トレンチから凝集膜分離装置及び活性炭吸着塔の各原水貯留槽へ繋がる送水管にも2カ所のバルブが設置されており、その開閉により送水経路を切り替えられるようにしています。

凝集膜分離装置と活性炭吸着塔の使い分けについては次のとおりです。



凝集膜分離装置と活性炭吸着塔の処理フロー

原水の種類と水質による活性炭吸着塔と凝集膜分離装置での処理の可否

原水の区分	原水の基準超過項目	処理の可否	
		活性炭吸着塔	凝集膜分離装置
貯留トレンチ水	A CODが60 mg/L程度まで SSが60 mg/L程度まで (※その他の項目は基準値内。以下同じ)	○	○
	B CODが60 mg/L程度まで SSが60~250 mg/L程度まで ダイオキシンが70 pg-TEQ/L程度まで	×	○
その他の水	a CODが60 mg/L程度まで SSが60 mg/L程度まで	○	○
	b CODが60 mg/L程度まで SSが60~250 mg/L程度まで ダイオキシンが70 pg-TEQ/L程度まで	×	○

表13-3 貯留トレンチ貯留水の測定項目

区分	項目	管理基準値	水質汚濁防止法、最終処分場の排水基準(参考)
健康項目	カドミウム及びその化合物	0.03mg/L(カドミウムとして)	0.1mg/L(カドミウムとして)
	シアン化合物	1mg/L(シアンとして)	1mg/L(シアンとして)
	有機燐化合物(リン酸、リン酸塩、リン酸エステル及びその塩類)	1mg/L	1mg/L
	鉛及びその化合物	0.1mg/L(鉛として)	0.1mg/L(鉛として)
	六価クロム及びその化合物	0.5mg/L(六価クロムとし	0.5mg/L(六価クロムとして)
	砒素及びその化合物	0.1mg/L(砒素として)	0.1mg/L(砒素として)
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005mg/L(水銀として)	0.005mg/L(水銀として)
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと
	PCB	0.003mg/L	0.003mg/L
	トリクロロエチレン	0.3mg/L	0.3mg/L
	テトラクロロエチレン	0.1mg/L	0.1mg/L
	ジクロロメタン	0.2mg/L	0.2mg/L
	四塩化炭素	0.02mg/L	0.02mg/L
	1,2-ジクロロエタン	0.04mg/L	0.04mg/L
	1,1-ジクロロエチレン	1mg/L	1mg/L
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/L	0.4mg/L
	1,1,1-トリクロロエタン	3mg/L	3mg/L
	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/L	0.06mg/L
	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/L	0.02mg/L
	手ウラム	0.06mg/L	0.06mg/L
	シマジン	0.03mg/L	0.03mg/L
	手オベンカルブ	0.2mg/L	0.2mg/L
	ベンゼン	0.1mg/L	0.1mg/L
	セレン及びその化合物	0.1mg/L	0.1mg/L
	ほう素及びその化合物	230mg/L	230mg/L
	ふっ素及びその化合物	15mg/L	15mg/L
	ニッケル※	0.1mg/L	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100mg/L	100mg/L	
1,4-ジオキサン	0.5mg/L	0.5mg/L	
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	5.0~9.0(海域へ排出する場合)
	生物化学的酸素要求量(BOD)	30mg/L(日間平均20mg/L)	30mg/L(日間平均20mg/L)注1
	化学的酸素要求量(COD)	30mg/L(日間平均20mg/L)	30mg/L(日間平均20mg/L)注1
	浮遊物質(SS)	50mg/L(日間平均40mg/L)	50mg/L(日間平均40mg/L)注1
	ルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)	5mg/L	5mg/L
	ルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)	30mg/L	30mg/L
	フェノール類含有量	5mg/L	5mg/L
	銅含有量	3mg/L	3mg/L
	亜鉛含有量	2mg/L	2mg/L
	溶解性鉄含有量	10mg/L	10mg/L
	溶解性マンガン含有量	10mg/L	10mg/L
	クロム含有量	2mg/L	2mg/L
	大腸菌群数	日間平均3,000個/em ³	日間平均3,000個/em ³
	窒素含有量	120mg/L(日間平均60mg/L)	120mg/L(日間平均60mg/L)
	炭含有量	16mg/L(日間平均8mg/L)	16mg/L(日間平均8mg/L)
モリブデン	—	—	
ダイオキシン類	10pg-TEQ/L	10pg-TEQ/L注2	

以下省略

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業

高度排水処理施設 運転・維持管理マニュアル

目 次

1. マニュアルの主旨	1
2. マニュアルの概要	1
3. マニュアルの適用範囲	2

第1編. 運転管理編

4. 設備の概要		
4. 1 水処理設備の主要目	4
4. 2 水処理設備の基本構成	4
4. 3 水処理設備の概要説明	5
4. 4 水処理設備の概略運転条件	10
5. 運転に当たっての注意事項		
5. 1 運転上の特別注意事項	12
5. 2 安全(全般)及び機器の取り扱い注意事項	13
5. 3 警告ラベル(付表1~2)	21
6. 通常運転時のオペレーション		
6. 1 高度排水処理施設の通常運転時の管理事項	32
6. 2 通常運転条件及び制御	33
6. 3 暫定的な環境保全措置の施設に関する 通常管理	66
6. 4 運転維持の為にサンプリング及びテスト	69
6. 4 異常時の運転対応		
1. 高度排水処理施設の異常時について	70
2. 暫定的な環境保全措置の施設に関する 異常時について	71
7. 施設の立ち上げ手順	73
8. 施設の立ち下げ手順	77
9. 緊急時の運転対応		
9. 1 高度排水処理施設の緊急時の対応について	84
9. 2 暫定的な環境保全措置の施設に関する 荒天時の対応について	85
10. 運転計画の立案	88
11. 運転体制の確立	89
12. 勤務体制	90
(付則)		
見学者対応の要領について	91

第2編. 維持管理編

13. 維持管理の業務内容		
13. 1 維持管理員の業務範囲	93

13. 2	具体的業務内容例93
13. 3	水質試験94
14.	機械設備等の保守点検項目96
15.	維持管理に当たっての注意事項	
15. 1	特別注意事項96
15. 2	安全(全般)及び機器の取り扱いの注意点109
16.	保守・点検計画の立案	
16. 1	日常的な保守点検項目109
16. 2	保守点検の基本的内容109
16. 3	設備保守管理の注意事項110
16. 4	保守点検項目に対する計画の立案112
17.	維持管理体制の確立125
18.	勤務体制125
19.	緊急時の体制	
19. 1	異常時の対応125
19. 2	緊急時の対応126
19. 3	異常時・緊急時の自動通報システム128
19. 4	異常時・緊急時の連絡体制表130

様式集

- ・ 運転管理日報
- ・ 運転管理月報
- ・ 運転管理年報
- ・ 各設備毎のチェックリスト
- ・ 機器台帳
- ・ 水質管理日誌

【 変更履歴 】

年 月 日	摘 要	審 議 等
H30.3.24	第3回フォローアップ委員会	地下水浄化対策の状況に合わせて修正。

4. 設備の概要

4.1 水処理設備の主要目

(1) 処理能力

65 m³/日

(2) 処理方式

1) 水処理

浸出水・集水井地下水等・トレンチ貯留水→油水分離(油分濃度が高い場合)→原水調整設備
→アルカリ凝集沈殿処理→生物処理→凝集膜ろ過処理
→ダイオキシン類分解除去処理→活性炭吸着処理
→キレート吸着処理→消毒処理
→放流

省略

4.3 水処理設備の概要説明

省略

(3) 原水調整設備

省略

第4槽(多目的槽1)は流入原水の変動を緩和する機能と、少降雨時に備えて曝気後の流入原水を蓄える機能を有した水槽です。多降雨時には流入原水量が増加するので、第2槽で曝気処理する前に流入原水を蓄える必要があります。第4槽は多降雨時には流入原水の予備水槽的な機能を果たします。第2, 3槽満水時、第1槽より電動弁切替により第4槽に流入します。

また、揮発性有機化合物を含む地下水を曝気により揮発性有機化合物を揮散させて、吸引ファンにより活性炭吸着処理塔で吸着処理します。

少降雨時に備える必要がある時は、第3槽より手動弁切替により第4槽に曝気処理後の流入原水を蓄えることができます。第4槽はこのように多目的な利用が可能な槽となっています。第4槽の流入原水は第4槽移送ポンプにより第1槽ないし第3槽へ返送及び、凝集膜貯留槽へ移送します。

以下省略

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業

暫定的な環境保全措置の施設等に関する維持管理マニュアル

<目次>

I	主 旨	1
II	概 要	1
III	維持管理	2
1	通常の管理	2
2	設備等に異常が生じた場合	5
3	荒天時の管理	6

【修正履歴】

年 月 日	摘 要	審 議 等
H30.9.23	第4回フォローアップ委員会	沈砂池1の水質検査項目等の見直し

暫定的な環境保全措置の施設等に関する維持管理マニュアル

I 主 旨

- 1 本マニュアルは、暫定的な環境保全措置の施設等の維持管理が適切に行われるよう、「暫定的な環境保全措置の施設に関する維持管理ガイドライン」（第 2 次技術検討委員会最終報告書添付資料）に基づき、維持管理手法等を取りまとめたものである。
- 2 本マニュアルは、暫定的な環境保全措置として整備した次の施設に適用する。なお、廃棄物等の掘削の進捗に伴い、各施設を構成する設備に変更が生ずることがある。

施 設	対 象 設 備
①雨水排除施設	外周排水路、承水路、沈砂池 1、沈砂池 2、水門、後背地水路、北海岸排水路、南東部雨水排水路
②表面遮水施設	処分地内排水路、西海岸法面工
③鉛直遮水施設	鉛直遮水壁
④揚水施設 (北海岸、西海岸)	揚水人孔、西井戸（揚水井）、揚水ポンプ、送水管、ポンプ操作盤、分電盤
⑤貯留施設	貯留トレンチ
⑥土堰堤保全施設	土堰堤の根固め、築堤工
⑦雨水等貯留施設	承水路、沈砂池 1、水門、連通管

諸元：別紙 1 「各設備一覧」、位置：図-1

II 概 要

省略

III 維持管理

省略

⑦雨水等貯留施設

- 沈砂池 1 は通常時には貯留量を確保しておくため、できるだけ空の状態にしておくものとする。
- 沈砂池 1 の放流口が土砂堆積により閉鎖等が生じた際は、必要に応じて堆積物の除去を行う。
- ~~自動計測器（UV 計）による沈砂池 1 の化学的酸素要求量（COD）が放流水の管理基準値の日間平均値（20mg/l）を超えた場合を注意レベルとする。この注意レベル（20mg/l）を上回った際には、公定法による測定の間隔を上げ、日間平均値を求めるとともに、超過の原因を調査する。~~

沈砂池 1 の水質管理及び注意レベル

項 目	注意レベル	放流水の管理基準値
COD	20mg/l	30mg/l（日間平均 20mg/l）

- ~~沈砂池 1 の貯留水は、表 1 に示す項目が管理基準値内であることを確認できた場合を除いて放流しない。なお、管理基準値を超過している場合には、掘削現場、貯留トレンチ又は、高度排水処理施設に送水する。~~

省略

別紙 1

各 設 備 一 覧

1 雨水排除施設

省略

8 モニタリング設備

装 置 名	数 量	設 置 場 所
・ 投込み式水位計	4	遮水壁内側及び外側、揚水人孔②、貯留トレンチ
・ 電磁流量計	2	揚水人孔②の送水管、貯留トレンチの送水管
・ pH計	1	沈砂池1
・ UV計	1	沈砂池1
・ 転倒ます式雨量計	1	沈砂池1南側

省略

廃棄物対策課

請負者

(廃棄物対策課内での確認事項)

○気象状況の把握

- ①風雨に関する注意報、警報の発令状況確認（毎日）
- ②週間天気・日降雨量の確認（毎日）
- ③月間降水量の確認（1回/月）

○表示システム

(現地での確認事項)

○モニタリング設備データの回収・整理（1回/月）

①表面遮水施設

- ・水位計による地下水位の測定

②鉛直遮水施設

- ・遮水壁外側及び内側の水位計の観測データの確認

③揚水施設

- ・揚水人孔内の水位計及び送水管の流量計の観測データの確認

④貯留施設

- ・貯留トレンチの水位計の観測データの確認

⑤雨量

⑥沈砂池1水質

定期報告

(現地での確認事項)

①雨水排除施設（目視）

- ・外周排水路の土砂堆積状況、水路の破断、浸出水の漏出の有無（必要に応じ、水路工の維持補修の実施）
- ・北海岸への雨水の放流（県より指示があった場合）

②表面遮水施設（目視）

- ・処分地内排水路の土砂堆積状況、水路の破断、浸出水の漏出の有無（必要に応じ、水路工の維持補修の実施）
- ・西海岸覆土法面の崩落箇所、浸出水の漏出の有無

③揚水施設（目視、聴音及び水位計による確認）

- ・揚水ポンプ（揚水人孔、揚水井、揚水ピット）の稼働状況、送水管の破損の有無
- ・揚水人孔、揚水井及び揚水ピットの水位
- ・揚水人孔、揚水井及び揚水ピットの破損、浸出水の漏出の有無
- ・電源設備の停電の有無

④貯留施設（目視及び水位計による確認）

- ・貯留トレンチの水位

⑤土堰堤保全施設（目視）

- ・土堰堤の根固め・築堤工及び西海岸法面工の崩落、浸出水の漏出の有無

⑥掘削現場の施設（目視）

- ・掘削後の法面の崩壊の有無

⑦雨水貯留施設（目視）

- ・沈砂池・承水路の土砂堆積状況、浸出水の有無、水位上昇、にごりの有無（必要に応じ、沈砂池の機能回復の実施）
- ・水門の状況
- ・~~UV計による沈砂池1のCOD値~~
- ・沈砂池から海域の放流時のにごりの抑制措置（県より指示があった場合）

住民は施設の異常の有無の確認に努める。

図-4 通常の管理体制

廃棄物対策課

請負者

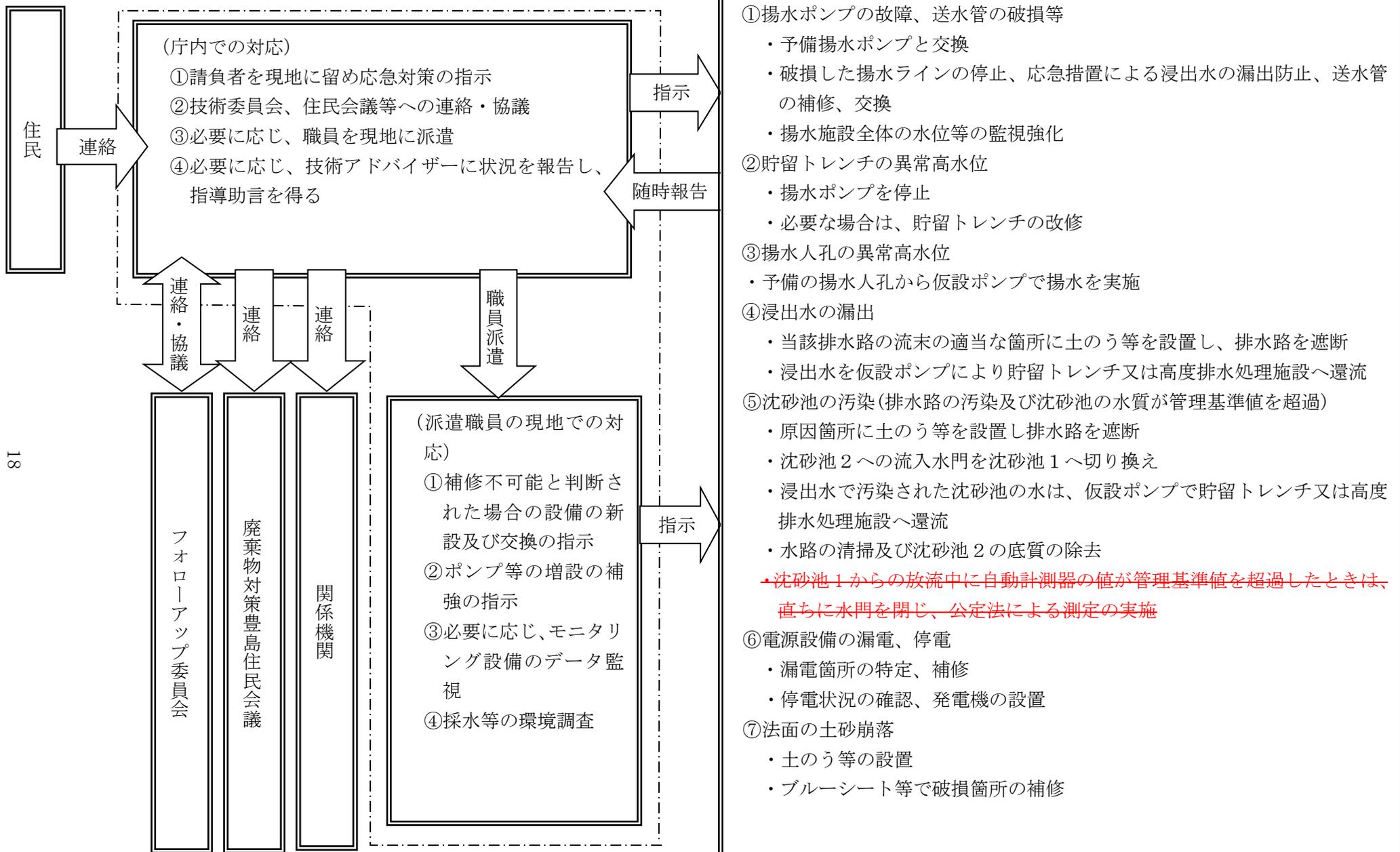


図-5 設備等に異常が生じた場合の管理体制

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業

豊島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業

豊島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル

1. 豊島における環境計測

(1) 主旨

省略

- ・本マニュアルにおいては、表1-1に示した環境計測について、その項目、頻度等を定めたものである。

表1-1 豊島における環境計測地点等

計測地点	目的	計測時期
沈砂池1、沈砂池2の排出口	雨水の放流を行うことによる環境面を把握する。	暫定的な環境保全措置工事終了後
高度排水処理施設の排出口	高度排水処理施設の運転期間中、地下水・浸出水の処理を行うことによる環境面を把握する。	工事中(排出する場合)、施設運転開始後
敷地境界	廃棄物等の掘削・運搬を行うことによる環境面を把握する。	廃棄物等の掘削・運搬の開始後
観測井(北海岸1地点、西海岸2地点)		定期的実施(年1回)

(2) 概要

- ・各環境計測の計測項目、頻度、調査機関は表1-2～表1-4、調査地点は図1に示す通りとする。
- ・調査としては、県環境保健研究センターで、~~水質の一部、大気汚染、騒音、振動及び悪臭~~の分析を~~実施するものとし、直島環境センターで、水質、大気汚染、騒音、振動及び悪臭の採取及び水質の一部(県環境保健研究センターで実施分を除く)の分析を実施するものとする。~~

省略

(3) 評価方法

省略

表 1 - 2 沈砂池の環境計測項目等

計測地点	計測項目	頻度		調査機関	
		稼動初期	安定期	採取	分析
沈砂池 1、 沈砂池 2 の 排出口	有機燐化合物、アルキル水銀化合物、PCB、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1, 2-ジクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン、シス-1, 2-ジクロロエチレン、1, 1, 1-トリクロロエタン、1, 1, 2-トリクロロエタン、1, 3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、ダイキシン類	4回/年 (春季、夏季、 秋季、冬季)	1回/年	県 東 直 島 環 境 保 健 研 究 セ ン タ ー	県環境保健 研究センター
	カドミウム及びその化合物、シアン化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、セレン及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物、水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、化学的酸素要求量 (COD)、浮遊物質 (SS)、大腸菌群数、n-ヘキサン抽出物質 (油分等)、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガ、ン、クロム、全窒素、全燐、トリブチル				県東直島環境保健研究センター
	水素イオン濃度 (pH)、化学的酸素要求量 (COD)	連続	—		

※沈砂池 2 については水素イオン濃度 (pH)、化学的酸素要求量 (COD) の連続測定を除く。

表 1 - 3 高度排水処理施設の環境計測項目等

計測地点	計測項目	頻度			調査機関	
		工事中	稼動初期	安定期	採取	分析
高度排水 処理施設 の排出口	有機燐化合物、アルキル水銀化合物、PCB、トリクロエチレン、テトラクロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1, 2-ジクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン、シス-1, 2-ジクロロエチレン、1, 1, 1-トリクロロエタン、1, 1, 2-トリクロロエタン、1, 3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、ダイキシン類	排出する 場合	4回/年 (春季、夏季、 秋季、冬季)	1回/年	県 東 直 島 環 境 保 健 研 究 セ ン タ ー	県環境保健 研究センター
	カドミウム及びその化合物、シアン化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、セレン及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物、ニッケル、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物、水素イオン濃度 (pH)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、化学的酸素要求量 (COD)、浮遊物質 (SS)、大腸菌群数、n-ヘキサン抽出物質 (油分等)、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガ、ン、クロム、全窒素、全燐、トリブチル					県東直島環境保健研究センター
	水素イオン濃度 (pH)、化学的酸素要求量 (COD)、浮遊物質 (SS)	—	連続	—		

表 1 - 4 廃棄物等の掘削・運搬開始完了後の環境計測項目等

区分	計測地点	計測項目	頻度		調査機関	
			稼動初期	安定期	採取	分析
大気汚染	敷地境界	風向、風速、気温、湿度、日射量、放射収支量 浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、窒素酸化物、一酸化炭素、光化学オキシダント ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン ダイキシン類 カドミウム及びその化合物、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、砒素及びその化合物、ニッケル及びその化合物、クロム及びその化合物	4回/年 (春季、夏季、秋季、冬季)	1回/年	廃棄物対策課・県環境保健研究センター 県環境保健研究センター 県直島環境センター	県環境保健研究センター 県直島環境センター
騒音	敷地境界	L50、L5、L95、Leq	2回/年 (夏季、秋季)	1回/年		
振動	敷地境界	L50、L10、L90	2回/年 (夏季、秋季)	1回/年		
恵果	敷地境界	アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチルアミン、アセトアルデヒド、プロピオンアルデヒド、ホルムアルデヒド、イソブチルアルデヒド、ノルマルブチルアルデヒド、イソペンチルアルデヒド、イソブチロール、酢酸エチル、メチルイソブチルケトン、トルエン、スチレン、キシレン、プロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸、イソ吉草酸	2回/年 (夏季、秋季)	1回/年		
地下水	3地点 (北海岸 1地点、 西海岸2 地点)	有機燐化合物、アルキル水銀化合物、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、塩化ビニルモノマー、1, 2-ジクロロエタン、1, 1-ジクロロエチレン、1, 2-ジクロロエチレン、1, 1, 1-トリクロロエタン、1, 1, 2-トリクロロエタン、1, 3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、フタル酸ジエチルヘキシル、フッ素、杓素、1,4-ジオキサン カドミウム及びその化合物、シアン化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、セレン及びその化合物、水素イオン濃度(pH)、生物化学的酸素要求量(BOD)、化学的酸素要求量(COD)、大腸菌群数、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、全窒素、全燐、塩化物イオン、電気伝導率、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、フッ素、ニッケル、トリブチル鉛、アセチン	1回/年 (冬季)			

2. 豊島における周辺環境モニタリング

(1) 主旨

省略

(2) 概要

- ・周辺環境モニタリングの計測項目、頻度、調査機関は表2、調査地点は図2-1～図2-3に示す通りとする。
- ・調査としては、県環境保健研究センターで、~~水質の一部、大気汚染、騒音、振動及び悪臭の分析を実施するものとし、直島環境センターで、水質、大気汚染、騒音、振動及び悪臭の採取及び水質の一部（県環境保健研究センターで実施分を除く）の分析を実施するものとする。~~
- ・調査方法は表3-1、表3-2、表3-7及び表3-8に示す通りとする。
- ・本マニュアルに定めるモニタリング項目等は、関係法令の改正等にあわせ、必要に応じて適宜見直すものとする。

(3) 評価方法

- ・結果については、これまでに実施した事前環境モニタリング結果等と比較するとともに、関係環境法令等の基準（表4-1、表4-~~3-7~~及び表4-~~4-8~~）を満たしているかどうか確認する。

表2 周辺環境モニタリング項目等

区分	計測地点		項目	頻度		調査機関			
	対象地点	地点数		稼動初期	安定期	採取	分析		
水質汚濁	海域／水質	周辺地先海域 ・北海岸 (St-4、St-8) ・西海岸 (St-3)	3地点	アルキル水銀化合物、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、トリウム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、有機リン化合物、1,4-ジチオキサン カドミウム及びその化合物、シアン化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、六価クロム化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、セレン及びその化合物、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、溶存酸素量(DO)、大腸菌群数、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、全窒素、全リン、亜鉛、塩化物イオン ニッケル、モリブデン、アンチモン ダイオキシン類	4回/年 (春季、夏季、秋季、冬季)	1回/年 (夏季)	廃棄物対策課、 県環境保健研究センター 東直島環境センター	環境研委託機関	
		海岸感潮域 ・北海岸 (St-B、St-E) ・西海岸 (St-A)	3地点	アルキル水銀化合物、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、トリウム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、有機リン化合物、1,4-ジチオキサン カドミウム及びその化合物、シアン化合物、鉛及びその化合物、六価クロム化合物、砒素及びその化合物、水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物、セレン及びその化合物、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、大腸菌群数、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、全窒素、全リン、亜鉛、塩化物イオン ニッケル、モリブデン、アンチモン ダイオキシン類	4回/年 (春季、夏季、秋季、冬季)	1回/年 (夏季)		環境研	
	海域／底質	周辺地先海域 ・北海岸 (St-4) ・西海岸 (St-3)	2地点	PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン有機リン化合物、ダイオキシン類 水素イオン濃度(pH)、化学的酸素要求量(COD)、硫化物、強熱減量、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、総水銀、カドミウム、鉛、砒素、シアン、銅、亜鉛、ニッケル、総鉄、総鉄コバルト	2回/年 (夏季、秋季)	1回/年		環境研	
		海岸感潮域 ・北海岸 (St-B、St-E) ・西海岸 (St-A)	3地点	PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、有機リン化合物、ダイオキシン類 化学的酸素要求量(COD)、硫化物、強熱減量、n-ヘキサン抽出物質(油分等)、総水銀、カドミウム、鉛、砒素、シアン、銅、亜鉛、ニッケル、総鉄、総鉄コバルト	2回/年 (夏季、秋季)	1回/年		環境研	
	生態系	ウニの卵発生 ・北海岸 (St-15-0、St-15-1、St-E、I測線100m沖、I測線干潮線) ・対照地点 (St-6、St-17-0、St-17-1、B-1)	9地点	第1回の細胞分裂の状態、ブルテウス形成時の状況を観察				東直島環境センター 水産試験場 廃棄物対策課、	環境研
		藻場調査 <アマモ場> ・北海岸 (FG測線沖、I測線沖) ・対照地点 (豊島中学校地先、神子ヶ浜地先) <ガラモ場> ・北海岸 (后飛崎) ・対照地点 (白崎、神子ヶ浜地先)	アマモ場4地点 ガラモ場3地点	藻類の繁茂状況 (生育密度、葉条長)、葉上付着動物、葉上付着珪藻、水温、塩分、透明度、栄養塩類	必要に応じ実施				環境研、水産試験場

調査機関の欄に、県環境保健研究センターを「環境研」、~~東直島環境センターを「直島」~~と記載する。

3. 調査方法について

水質、底質、~~大気汚染~~、~~騒音~~、~~振動~~、~~悪臭~~、生態系（藻場調査、ウニの卵発生調査）の調査方法は表3-1～表3-4~~8~~に示す通りとする。

表3-1 水質調査方法

No	調査項目	調査方法	No	調査項目	調査方法
(一般項目)			24	1,2-ジクロロエチレン	(分析方法) 原則として、環境庁告示第59号(昭和46年)の別表1及び2に定める方法
1	pH		25	1,1,1-トリクロロエタン	
2	COD		26	1,1,2-トリクロロエタン	
3	DO		27	1,3-ジクロロプロペン	
4	油分		28	ベンゼン	
5	大腸菌群数		29	チウラム	
6	全窒素		30	シマジン	
7	全リン		31	チオベンカルブ	
8	亜鉛	32	セレン		
(健康項目)		(検体採取方法) 環境庁「水質調査方法」に定める方法。	33	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	
9	アルキル水銀		34	フッ素	
10	総水銀		35	ホウ素	
11	カドミウム		36	有機リン	
12	鉛		37	1,4-ジオキサン	
13	六価クロム		(その他項目)		
14	ひ素		38	銅	
15	全シアン		39	ニッケル	
16	PCB		40	総マンガン	
17	トリクロロエチレン		41	総クロム	
18	テトラクロロエチレン	42	総鉄		
19	ジクロロメタン	43	塩素イオン		
20	四塩化炭素	44	モリブデン	(分析方法) 原則として、環境庁課長通達(平成5年環水規第121号)の別表に定める方法	
21	1,2-ジクロロエタン	45	アンチモン		
22	塩化ビニルモノマー			JIS K0312「工業用水、工場排水のダイオキシン類の測定方法」	
23	1,1-ジクロロエチレン	46	ダイオキシン類		

表 3-2 底質調査方法

No	調査項目	調査方法	No	調査項目	調査方法
	(一般項目)	(検体採取方法) 環境庁「底質調査方法」(昭和50年10月20日環境庁水質保全局局長通知)に定める方法。	13	テトラクロエチレン	(分析方法) 原則として、底質調査方法に定める方法
1	pH		14	有機リン	
2	COD		(その他項目)		
3	硫化物		15	銅	
4	強熱減量		16	亜鉛	
5	油分		17	ニッケル	
(健康項目)			18	総クロム	
6	総水銀		19	総鉄	
7	カドミウム		20	総マンガン	
8	鉛		21	ダイオキシン類	
9	ひ素				
10	全シアン				
11	PCB				
12	トリクロエチレン				

表3-3 大気汚染調査方法

No.	調 査 項 目	調 査 方 法
1	気象 (風向、風速、気温、湿度、日射量、放射収支量)	風向・風速計、温度計、湿度計、日射計、放射収支計
2	二酸化硫黄	大気汚染自動測定機 (硫黄酸化物計)
3	一酸化窒素	大気汚染自動測定機 (窒素酸化物計)
4	二酸化窒素	
5	窒素酸化物	
6	浮遊粒子状物質	大気汚染自動測定機 (浮遊粒子状物質計)
7	一酸化炭素	大気汚染自動測定機 (一酸化炭素計)
8	光化学オキシダント	大気汚染自動測定機 (オキシダント計)
9	ベンゼン	有害大気汚染測定マニュアル及び JIS K0311「排ガス中のダイオキシン類の測定方法」、JIS K0107「排ガス中の塩化水素分析手法」、JIS K0083「排ガス中の金属分析手法」
10	トリクロロエチレン	
11	テトラクロロエチレン	
12	ジクロロメタン	
13	ダイオキシン類	
14	塩化水素	
15	ひ素及びその化合物	
16	ニッケル及びその化合物	
17	クロム及びその化合物	
18	水銀及びその化合物	
19	カドミウム及びその化合物	上記マニュアルに準拠、JIS K0083「排ガス中の金属分析手法」
20	鉛及びその化合物	

表3-4 騒音調査方法

調 査 項 目	調 査 方 法
騒音レベルの中央値 (L_{50})、90%レンジ上・下端値 (L_5 、 L_{95}) 及び等価騒音レベル (L_{eq})	JIS Z 8731「騒音レベル測定方法」に基づき、基本的に平日の12時～翌日の12時まで、毎正時から約10分間の測定を行う。

表3-5 振動調査方法

調 査 項 目	調 査 方 法
振動レベルの中央値 (L_{50})、80%レンジ上・下端値 (L_{10} 、 L_{90})	JIS Z 8735「振動レベル測定方法」に基づき、基本的に平日の12時～翌日の12時まで、毎正時から約10分間の測定を行う。

表3-6 悪臭調査方法

調査項目	調査方法
アンモニア、メチルメルカプタン、硫化水素、硫化メチル、二硫化メチル、トリメチル ミン、アセトアルデヒド、プロピオンアルデヒド、ホルムアルデヒド、イソブチル アルデヒド、ホルマリン、イソブチルアルデヒド、イソブチル、酢酸 エチル、メチルイソブチルケトン、トルエン、スチレン、キシレン、プロピオン酸、ホルム アル酸、ホルム吉草酸、イソ吉草酸	特定悪臭物質の測定の方法 (昭和47年環境庁告示第 9号)

表3-37 ウニの卵発生調査方法

調査項目	調査方法
第1回の細胞分裂の状態、プルテウス形成時の状況の観察	<p>6月の調査時にはムラサキウニを、2月の調査時にはバフンウニを使用する。</p> <p>①各調査地点から採水した試水(10mℓ)を入れたシャーレに、予め清浄海水で洗浄したウニの卵(約500細胞)を入れ、これに精子を混ぜて、よくかき回す。</p> <p>②一定時間後にホルマリンで試料を固定する。</p> <p>③倍率50~100倍で鏡検し、第1回の細胞分裂の状態、プルテウス形成時の状況を観察する。試水の汚染状況の判定には、表4-8の影響度基準を用いる。</p>

調査目的：生育する生物に及ぼす汚染物質の影響をトータル的に把握するため、ウニ卵を用いた生物検定を実施する。ウニ卵は各種汚染物質に敏感で、感度はカニ幼生の100倍、フジツボ幼生の10倍、魚(ゴンスイ、アミメハギ)の10倍程度といわれており、ウニの種類間で差が少ない。また、ウニは入手、飼育管理、取扱いも比較的容易である。

表3-48 藻場調査方法

調査項目	調査方法
藻類の繁茂状況(生育密度、葉条長)、葉上付着動物、葉上付着珪藻、水温、塩分、透明度	<ul style="list-style-type: none"> 藻場を構成している藻類の繁茂状況を、6月はアマモ(岸近くの砂泥の海底にみられる顕花植物)、2月にはガラモ(水深10mくらいまでの岩礁にみられるアカモク、ワカメ、クロメなどのホンダワラ類)を対象に年2回の頻度で調査する。 各調査地点ごとに、陸側から沖合いに向かって10mの調査ラインを設定し、この調査ライン上に5カ所の測点を設け、各測点で1.0m×1.0mのコドラート内の藻類の繁茂状況をスキューバ潜水により調査する。(図3参照) また、藻類とともに、付着している生物(動物、珪藻類)の種類及び個対数も調査する。

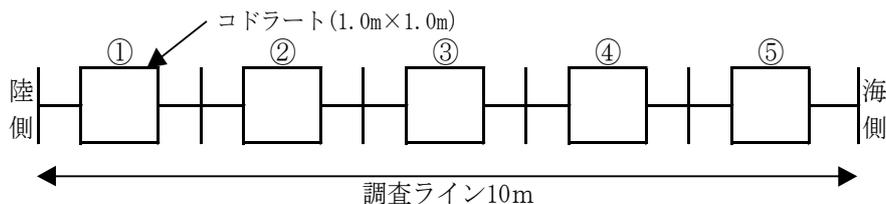


図3 藻場調査の概要

4. 管理基準値及び関係環境法令等の基準

表4-1 沈砂池1、沈砂池2及び高度排水処理施設の放流水の管理基準値
及び水質汚濁防止法、最終処分場に係る排水基準

区分	項目	管理基準値	水質汚濁防止法、最終処分場の排水基準(参考)
健康項目	カドミウム及びその化合物	0.03mg/ℓ (カドミウムとして)	0.1mg/ℓ (カドミウムとして)
	シアン化合物	1mg/ℓ (シアンとして)	1mg/ℓ (シアンとして)
	有機燐化合物 (メチル、ジメチル、トリメチル及びPPNに限る。)	1mg/ℓ	1mg/ℓ
	鉛及びその化合物	0.1mg/ℓ (鉛として)	0.1mg/ℓ (鉛として)
	六価クロム及びその化合物	0.5mg/ℓ (六価クロムとして)	0.5mg/ℓ (六価クロムとして)
	砒素及びその化合物	0.1mg/ℓ (砒素として)	0.1mg/ℓ (砒素として)
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	0.005mg/ℓ (水銀として)	0.005mg/ℓ (水銀として)
	アルキル水銀化合物	検出されないこと	検出されないこと
	P C B	0.003mg/ℓ	0.003mg/ℓ
	トリクロロエチレン	0.1mg/ℓ	0.1mg/ℓ
	テトラクロロエチレン	0.1mg/ℓ	0.1mg/ℓ
	ジクロロメタン	0.2mg/ℓ	0.2mg/ℓ
	四塩化炭素	0.02mg/ℓ	0.02mg/ℓ
	1,2-ジクロロエタン	0.04mg/ℓ	0.04mg/ℓ
	1,1-ジクロロエチレン	1mg/ℓ	1mg/ℓ
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4mg/ℓ	0.4mg/ℓ
	1,1,1-トリクロロエタン	3mg/ℓ	3mg/ℓ
	1,1,2-トリクロロエタン	0.06mg/ℓ	0.06mg/ℓ
	1,3-ジクロロプロペン	0.02mg/ℓ	0.02mg/ℓ
	チウラム	0.06mg/ℓ	0.06mg/ℓ
	シマジン	0.03mg/ℓ	0.03mg/ℓ
	チオベンカルブ	0.2mg/ℓ	0.2mg/ℓ
	ベンゼン	0.1mg/ℓ	0.1mg/ℓ
	セレン及びその化合物	0.1mg/ℓ	0.1mg/ℓ
	ほう素及びその化合物	230mg/ℓ	230mg/ℓ
	ふっ素及びその化合物	15mg/ℓ	15mg/ℓ
	ニッケル ※	0.1mg/ℓ	—
	アモニウム、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	100mg/ℓ	100mg/ℓ
1,4-ジオキサン	0.5mg/ℓ	0.5mg/ℓ	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	5.0~9.0	5.0~9.0 (海域へ排出する場合)
	生物学的酸素要求量 (BOD)	30mg/ℓ (日間平均20mg/ℓ)	30mg/ℓ (日間平均20mg/ℓ) 注1
	化学的酸素要求量 (COD)	30mg/ℓ (日間平均20mg/ℓ)	30mg/ℓ (日間平均20mg/ℓ) 注1
	浮遊物質 (SS)	50mg/ℓ (日間平均40mg/ℓ)	50mg/ℓ (日間平均40mg/ℓ) 注1
	ノロウイルス抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	5mg/ℓ	5mg/ℓ
	ノロウイルス抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量)	30mg/ℓ	30mg/ℓ
	フェノール類含有量	5mg/ℓ	5mg/ℓ
	銅含有量	3mg/ℓ	3mg/ℓ
	亜鉛含有量	2mg/ℓ	2mg/ℓ
	溶解性鉄含有量	10mg/ℓ	10mg/ℓ
	溶解性マンガン含有量	10mg/ℓ	10mg/ℓ
	クロム含有量	2mg/ℓ	2mg/ℓ
	大腸菌群数	日間平均3,000個/cm ³	日間平均3,000個/cm ³
	窒素含有量	120mg/ℓ (日間平均60mg/ℓ)	120mg/ℓ (日間平均60mg/ℓ)
燐含有量	16mg/ℓ (日間平均8mg/ℓ)	16mg/ℓ (日間平均8mg/ℓ)	
モリブデン	—	—	
ダイオキシン類	10pg-TEQ/ℓ	10pg-TEQ/ℓ注2	

注1：香川県生活環境の保全に関する条例に基づく上乘せ排水基準値。

注2：ダイオキシン類対策特別措置法に基づく排水基準値。

※ 高度排水処理施設の放流水のみ。

表4-2 騒音の管理基準値等

項 目	管理基準値 (dB(A))	騒音規制法の規制基準 (参考) (dB(A)) ^{注1}
昼間(8:00~19:00)	65	65
朝(6:00~8:00) 夕(19:00~22:00)	60	60
夜間(22:00~6:00)	50	50

注1：第2種区域（主として商業地域（住、商、工、混在地域を含む））の規制基準。

表4-3 振動の管理基準値等

項 目	管 理 基 準 値 (dB)	振動規制法の規制基準 (参考) (dB) ^{注1}
昼間(8:00~19:00)	65	65
夜間(19:00~8:00)	60	60

注1：第2種区域（主として商業地域（住、商、工、混在地域を含む）、工業地域）の規制基準。

表4-4 悪臭の管理基準値

項 目	管理基準値 (ppm)	悪臭防止法の規制基準 (参考) ^{注1} (ppm)
アンモニア	2	2
メチルメルカプタン	0.004	0.004
硫化水素	0.06	0.06
硫化メチル	0.05	0.05
二硫化メチル	0.03	0.03
トリメチルアミン	0.02	0.02
アセトアルデヒド	0.1	0.1
プロピオンアルデヒド	0.1	0.1
ノルマルブチルアルデヒド	0.03	0.03
イソブチルアルデヒド	0.07	0.07
ノルマルバレルアルデヒド	0.02	0.02
イソバレルアルデヒド	0.006	0.006
イソブタノール	4	4
酢酸エチル	7	7
メチルイソブチルケトン	3	3
トルエン	30	30
スチレン	0.8	0.8
キシレン	2	2
プロピオン酸	0.07	0.07
ノルマル酪酸	0.002	0.002
ノルマル吉草酸	0.002	0.002
イソ吉草酸	0.004	0.004

注1：B区域（主として商業地域（住、商、工、混在地域を含む））の規制基準。

表 4-5 大気汚染に係る環境基準

項 目	環 境 基 準
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m³以下であること。
トリクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m³以下であること。
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m³以下であること。
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m³以下であること。
ダイオキシン類	0.6pg-TEQ/m ³ 以下

表 4-2-6 地下水の水質汚濁に係る環境基準

項 目	基 準 値
カドミウム	0.003mg/ℓ以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/ℓ以下
六価クロム	0.05mg/ℓ以下
砒素	0.01mg/ℓ以下
総水銀	0.0005mg/ℓ以下
アルキル水銀化合物	検出されないこと
P C B	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下
四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下
塩化ビニルモノマー	0.002mg/ℓ以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下
1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下
トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下
チウラム	0.006mg/ℓ以下
シマジン	0.003mg/ℓ以下
チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下
ベンゼン	0.01mg/ℓ以下
セレン	0.01mg/ℓ以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ以下
フッ素	0.8mg/ℓ以下
ホウ素	1mg/ℓ以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下

表4-37 水質汚濁に係る環境基準（海域A・II類型）

項 目	基 準 値
水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
化学的酸素要求量（COD）	2mg/ℓ以下
溶存酸素量（DO）	7.5mg/ℓ以上
大腸菌群数	1,000MPN/100ml以下
n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
全窒素	0.3mg/ℓ以下
全磷	0.03mg/ℓ以下

区分	項 目	環 境 基 準
健 康 項 目	カドミウム	0.003mg/ℓ以下
	全シアン	検出されないこと
	鉛	0.01mg/ℓ以下
	六価クロム	0.05mg/ℓ以下
	砒素	0.01mg/ℓ以下
	総水銀	0.0005mg/ℓ以下
	アルキル水銀	検出されないこと
	PCB	検出されないこと
	トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下
	四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下
	チウラム	0.006mg/ℓ以下
	シマジン	0.003mg/ℓ以下
	チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下
	ベンゼン	0.01mg/ℓ以下
	セレン	0.01mg/ℓ以下
	ホウ素	1mg/ℓ以下
	フッ素	0.8mg/ℓ以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ以下
	1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下

表 4 - 4-8 ウニ卵を用いた海水汚染の影響度基準IV (小林 1988)

影響度	段階	細胞分裂 (第 1 回)		プルテウス形成 (異常胚)
		1 細胞	多細胞 (多精)	
強影響海水	3	50~100%	15~100%	50~100%
中影響海水	2	30~49	9~14	30~49
弱影響海水	1	10~29	3~8	5~29
無影響海水	0	0~9	0~2	0~4

※異常胚とは正常プルテウスに対し発生の遅滞、奇形胚、囊胚以前の卵胚、及び死亡卵胚である。

普通海水は0とし、生物一般に使われている 50%致死量に相当する場合を3として4段階にわけ
る。その検定結果から2時期について1つでも50%以下であれば影響度3とする。

以下省略

環境計測及び周辺環境モニタリング結果

1. 環境計測

(1) 豊島における環境計測(地下水調査)結果について

……………平成 30 年 8 月、9 月、10 月、11 月及び平成 31 年 2 月調査

- ・観測井 9 地点 (A 3、B 5、C 1 北、C 1 南、C 3 北、C 3 南、DE 1、F 1 東、F 1 西) については、これまでの調査結果と特段の差異は見られなかった。
- ・D 測線西側の観測井については、揚水井の設置時に環境基準値を満足していなかった 5 項目 (トリクロロエチレン、クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン及び 1,4-ジオキサン) についてのモニタリングを平成 26 年 4 月から実施している。浅井戸については概ね排水基準値を満足していたが、深井戸についてはどの地点においても排水基準値を超過していた項目があった。

(2) 豊島における環境計測(北揚水井、高度排水処理施設)結果について

……………平成 30 年 9 月及び 10 月調査

- ・高度排水処理施設の処理水は、全ての項目において管理基準を満足していた。

(3) 豊島における環境計測(沈砂池)結果について……………平成 30 年 10 月及び 11 月調査

- ・全ての項目において、管理基準値を満足していた。

2. 周辺環境モニタリング

(1) 豊島における周辺環境モニタリング(水質・底質)結果について

……………平成 30 年 7 月、11 月及び 1 月調査

- ・事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異は見られなかった。

豊島における環境計測（地下水調査）結果について

地下水の環境計測は、工事の進捗に伴う水質の推移を把握することを目的としている。今回、平成30年8月、9月及び10月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の概要

(1) 調査日

平成30年8月27日(月)

平成30年8月29日(水)

平成30年9月3日(月)

平成30年10月30日(火)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

観測井 9地点

(A3、B5、C1北、C1南、C3北、C3南、DE1、F1西、F1東)

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

分析機関：環境保健研究センター

2 調査結果の概要（表1～4）

- ・ 観測井9地点全てにおいて、これまでの調査結果と比較して特段の差異は見られなかった。
- ・ それぞれの観測井において、次の項目が環境基準値を満足しなかった。

観測井A3：砒素及びその化合物、クロロエチレン、1,2-ジクロロエタン、トリクロロエチレン

観測井B5：ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井C1北：ベンゼン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井C1南：クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,4-ジオキサン

観測井C3北：ベンゼン、ホウ素及びその化合物

観測井C3南：クロロエチレン、1,2-ジクロロエタン、1,2-ジクロロエチレン、
トリクロロエチレン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井F1東：クロロエチレン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井F1西：砒素及びその化合物

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点		A3									地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H15.2.6	H16.2.5	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9		
一般項目	pH	7.0	7.1	6.9	7.1	7.0	6.8	7.0	7.2	6.9	-	-
	BOD	7.5	12	0.8	4.3	0.7	0.9	ND	1.4	1.0	-	0.5
	COD	32	70	17	18	10	21	3.1	3.7	5.7	-	0.5
	大腸菌群数	13	33	33	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	0.1	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.56	0.73	0.40	1.1	0.42	0.59	0.31	1.6	1.2	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.21	0.018	0.029	0.018	0.0091	0.0082	0.0053	0.0019	0.0007	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.054	0.009	0.011	0.004	0.003	ND	ND	ND	0.005	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	1.7	0.32	0.33	0.11	0.071	0.047	0.033	0.022	0.047	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.21	0.023	0.025	0.011	0.007	0.0036	0.0018	0.0011	0.0072	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.15	0.010	0.017	0.022	0.019	0.011	0.006	0.007	0.042	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.022	0.011	0.034	0.0027	0.0012	0.0014	ND	0.0006	0.0007	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.053	0.012	0.012	0.005	0.002	0.002	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
	砒素	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.5	1	0.1
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	4	3	1.6	3	1	1	1	5	3	-	1
	全燐	0.5	ND	0.2	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	68	39	28	23	37	29	24	28	21	-	1
	電気伝導率	51.3	40	32	29.5	14.6	16.1	16.2	15	16	-	0.1
	ニッケル	ND	0.08	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	0.016	ND	ND	0.008	0.026	0.022	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	0.002	0.005	0.002	0.002	0.003	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND	0.046	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点	A3									地下水の 環境基準	検出 下限	
	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22			
一般項目	pH	6.8	6.7	6.7	6.9	6.6	6.8	6.9	6.9	6.8	-	-
	BOD	ND	1.0	1.0	0.8	ND	ND	0.8	1.3	1.3	-	0.5
	COD	5.6	3.7	5.1	3.8	7.0	5.0	4.1	3.4	7.9	-	0.5
	大腸菌群数	ND	2	7.8	ND	ND	11	13	ND	350	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	0.008	ND	ND	0.008	0.008	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.26	0.55	0.50	0.70	1.0	0.54	0.27	0.13	0.090	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	0.0034	0.0063	0.0044	0.0090	0.0040	0.017	0.0023	0.0034	0.0035	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0066	0.010	0.0060	0.0032	0.0057	0.0079	0.0045	0.0036	0.0033	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.007	0.011	0.004	0.002	0.003	0.002	0.004	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	0.046	0.032	0.030	0.037	0.021	0.024	0.022	0.019	0.010	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.011	0.023	0.0096	0.0029	0.0039	0.0083	0.0025	0.0019	0.0011	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.043	0.066	0.027	0.016	0.021	0.033	0.0026	0.010	0.007	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0057	0.081	0.014	0.0007	0.0014	0.0013	0.0014	0.0007	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
	鈣素	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	1	0.1
	1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.005
	その他の項目	全窒素	1	1	1	2	4	1	1	1	1	-
全燐		ND	ND	ND	0.2	ND	0.2	ND	ND	0.1	-	0.1
塩化物イオン		25	31	30	32	20	33	31	33	41	-	1
電気伝導率		32.7	30	28	30.8	30.8	32	30	30	32	-	0.1
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
モリブデン		ND	0.028	0.030	0.038	0.022	ND	0.008	0.044	0.016	-	0.007
アンチモン		ND	ND	ND	0.004	ND	ND	0.001	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点	A3									地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.5.22	H25.7.29	H25.11.13	H26.3.17	H26.5.13	H26.7.29	H26.11.25	H27.2.16	H27.5.19			
一般項目	pH	6.8	6.8	6.6	9.8	11.4	7.0	7.0	7.0	6.8	-	-
	BOD	1.3	ND	ND	1.0	ND	ND	1.3	22	0.8	-	0.5
	COD	7.9	3.5	4.2	8.4	7.2	5.2	6.3	49	11	-	0.5
	大腸菌群数	350	2	7.8	ND	ND	280	11	ND	ND	-	-
	油分	ND	ND	0.7	1.1	0.6	ND	0.8	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.090	0.21	0.56	0.49	0.26	0.16	0.22	0.68	29	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	0.0035	0.0032	ND	ND	0.0022	0.0018	0.012	0.018	0.0059	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0033	0.0037	0.0050	0.0020	0.0031	0.0010	0.016	0.0072	0.016	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	0.002	0.002	ND	ND	0.005	ND	0.008	0.010	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	0.010	0.022	0.015	ND	0.022	0.054	0.12	0.056	0.082	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.0011	0.0055	0.0049	ND	0.0021	0.016	0.041	0.011	0.029	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.007	0.020	0.015	0.002	0.016	0.033	0.098	0.058	0.091	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	0.0006	0.0007	ND	ND	0.0020	0.0053	0.0059	0.0092	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	0.059	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
	砒素	0.2	ND	0.1	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	1	0.1
	1,4-ジオキサン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.008	0.05	0.005
	その他の項目	全窒素	1	1	ND	ND	2	1	ND	2	2	-
全燐		0.1	0.2	ND	ND	ND	ND	0.4	0.4	-	0.1	
塩化物イオン		41	38	40	48	57	53	54	50	46	-	1
電気伝導率		32	30	31	32	87	40.9	50.3	43.7	30.8	-	0.1
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
モリブデン		0.016	0.013	0.019	0.12	0.098	0.023	0.007	0.049	ND	-	0.007
アンチモン		ND	0.001	ND	0.004	ND	ND	ND	0.002	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。

(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表1 地下水調査結果（A3地点の推移）

調査地点		A3									地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日	H27.9.17	H27.11.24	H28.2.9	H28.5.24	H28.7.26	H28.11.8	H29.1.30	H29.5.23	H29.7.26			
一般項目	pH	7.5	7.0	6.8	6.7	7.8	7.1	7.5	7.1	6.8	-	-
	BOD	0.6	ND	1.4	0.6	1.8	1.8	0.5	1.4	2.7	-	0.5
	COD	6.5	5.6	5.7	5.0	6.7	5.1	9.0	7.5	4.3	-	0.5
	大腸菌群数	23	ND	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	ND	0.8	ND	ND	ND	0.6	0.9	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	0.010	0.014	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.64	0.38	0.45	1.1	7.6	0.20	0.47	3.9	0.38	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	0.017	0.0061	0.0076	0.0052	0.0054	0.0056	0.0014	0.012	0.0052	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0062	0.0083	0.0097	0.0094	0.015	0.0070	0.0035	0.0083	0.012	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.002	0.002	0.006	0.008	0.013	0.004	0.002	0.002	0.010	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	0.046	0.034	0.027	0.029	0.037	0.020	0.011	0.021	0.033	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.010	0.010	0.017	0.030	0.049	0.014	0.0087	0.011	0.026	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.062	0.049	0.078	0.10	0.15	0.065	0.039	0.059	0.063	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0015	0.0028	0.0026	0.0034	0.0044	0.0017	0.0007	0.0013	0.0038	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
トリ素	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.017	0.005	ND	0.005	0.005	ND	ND	ND	0.009	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	2	1	1	1	2	2	5	2	1	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	0.4	0.1	-	0.1
	塩化物イオン	61	49	48	47	50	33	37	70	33	-	1
	電気伝導率	52.5	41.3	39.2	38.4	38.0	34.0	39.6	48.0	37.0	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	0.009	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	0.032	0.014	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表1 地下水調査結果 (A3地点の推移)

調査地点	A3					地下水の 環境基準	検出 下限	
	H29.11.29	H30.2.14	H30.6.26	H30.9.3	H30.10.30			
一般項目	pH	7.2	7.2	6.7	6.8	6.7	-	-
	BOD	2.9	3.0	2.3	1.2	3.6	-	0.5
	COD	4.6	5.2	5.0	4.6	5.1	-	0.5
	大腸菌群数	49	2	ND	6.8	33	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全リン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	1.2	2.2	0.12	0.28	0.58	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	0.0045	0.0030	0.0032	0.0032	0.0031	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0090	0.0064	0.0071	0.0069	0.0065	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	0.005	0.002	ND	0.004	0.003	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	0.021	0.014	ND	0.020	0.017	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	0.017	0.0095	ND	0.015	0.013	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.066	0.044	0.056	0.070	0.061	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0023	0.0013	0.0020	0.0023	0.0018	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホリ素	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.005	ND	0.005	0.005	0.005	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	1	1	1	1	1	-	1
	全燐	0.1	0.1	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	32	32	34	54	52	-	1
	電気伝導率	44.0	45.9	37.0	26.0	47.0	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	0.022	0.015	ND	0.012	0.012	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年11月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点		B5									地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H12.12.4	H13.3.6	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9		
一般項目	pH	6.3	6.4	6.6	7.1	6.8	6.9	6.7	7.0	6.5	-	-
	BOD	120	55	50	44	43	41	36	29	21	-	0.5
	COD	530	300	370	300	310	220	240	420	300	-	0.5
	大腸菌群数	3.5×10 ²	2.4×10 ²	ND	ND	17	ND	2.0	ND	2.0	-	-
	油分	2.9	4.1	8.9	5.6	4.5	5.5	5.2	4.3	6.1	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	0.018	0.048	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.047	0.022	ND	0.008	0.013	0.012	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	0.085	0.039	0.018	0.006	0.003	0.002	0.003	ND	0.004	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0017	0.0014	ND	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	0.0016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.22	0.19	0.042	0.014	0.003	0.002	0.006	0.002	0.025	0.01	0.001
	セレン	ND	-	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	4.2	5.0	3.6	3.0	2.0	1.3	ND	0.8	0.8
トリ素	2.1	2.6	3.0	3.1	3.1	2.6	3.0	2.5	2.5	1	0.1	
1,4-ジオキサン	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	14	14	12	10	37	30	31	45	8	-	1
	全燐	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	2,300	1,840	2,000	1,520	1,550	1,330	1,470	1,400	1,400	-	1
	電気伝導率	635	462	694	542	478	314	274	280	560	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アジモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	0.020	ND	ND	ND	ND	0.010	0.010	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点		B5									地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22		
一般項目	pH	6.8	6.5	6.5	6.6	6.7	6.6	6.7	6.7	6.7	-	-
	BOD	33	43	24	27	15	34	13	4.2	12	-	0.5
	COD	223	240	210	260	160	204	186	179	194	-	0.5
	大腸菌群数	ND	23	ND	ND	ND	ND	49	ND	2.0	-	-
	油分	8.2	5.8	5.4	4.6	4.6	5.2	4.2	3.4	7.0	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	0.005	0.017	ND	0.011	0.007	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	0.004	ND	0.004	0.005	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	0.0004	0.0005	ND	ND	ND	0.0006	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.020	0.025	0.020	0.022	0.016	0.015	0.013	0.009	0.010	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	0.26	1.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	2.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.4	0.8	0.8
ホウ素	2.6	2.6	4.9	2.8	2.6	2.7	2.6	2.5	2.2	1	0.1	
1,4-ジオキサン	5.1	5.6	5.1	5.2	3.5	4.5	4.1	3.5	3.5	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	9	38	34	28	34	24	17	17	15	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	1,400	1,480	1,390	1,330	1,180	1,120	1,080	944	943	-	1
	電気伝導率	502	517	523	502	432	467	399	413	400	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点	B 5									地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25. 7. 29	H25. 11. 13	H26. 3. 4	H26. 5. 13	H26. 7. 29	H26. 11. 25	H27. 2. 16	H27. 5. 19	H27. 7. 27			
一般項目	pH	6.6	6.7	6.8	6.6	6.7	6.6	6.9	6.4	6.6	-	-
	BOD	10	8	16	13	3.2	6.2	17	12	23	-	0.5
	COD	228	215	120	200	100	130	100	110	58	-	0.5
	大腸菌群数	790	2.0	350	1700	33	49	59	170	ND	-	-
	油分	10	8.6	11	7.6	6.2	8.9	4.7	5.9	3.1	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.006	ND	0.006	ND	ND	ND	0.009	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	0.002	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.013	0.004	0.010	0.030	0.014	0.018	0.007	0.014	0.006	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	1.1	0.9	1.4	1.8	0.8	0.8	ND	ND	ND	0.8	0.8
	砒素	2.6	2.7	2.5	2.0	2.3	2.0	2.0	1.9	1.2	1	0.1
	1,4-ジオキサン	4.1	3.1	3.3	3.6	2.3	2.3	1.6	2.4	0.85	0.05	0.005
	その他の項目	全窒素	18	4	ND	12	3	8	3	3	5	-
全磷		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
塩化物イオン		1,020	690	704	901	603	967	585	773	330	-	1
電気伝導率		354	339	320	403	272	336	249	264	195	-	0.1
ニッケル		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
モリブデン		ND	0.018	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
アンチモン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。

(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果 (B5地点の推移)

調査地点		B5										地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H28.2.9	H28.5.24	H28.7.26	H28.11.8	H29.1.31	H29.5.23	H29.7.26	H29.11.29	H30.2.13	H30.6.26		
一般項目	pH	6.8	6.8	6.9	6.8	7.0	6.6	6.6	6.8	6.7	6.8	-	-
	BOD	24	20	14	8.9	22	16	17	6	5.8	6.4	-	0.5
	COD	65	67	69	74	92	77	60	57	61	72	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	4.0	11	ND	ND	4.5	ND	ND	790	-	-
	油分	4.0	5.7	4.4	4.9	5.8	3.8	4.6	2.9	1.8	3.4	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.1
	有機リン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.007	0.006	0.006	ND	0.008	0.011	0.009	0.013	0.011	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0007	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.007	0.008	0.008	0.008	0.005	0.006	0.008	0.006	0.003	0.004	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8	
ホウ素	1.5	1.7	1.6	1.7	1.8	1.7	1.6	1.7	1.6	1.5	1	0.1	
1,4-ジオキサン	1.0	1.2	1.5	1.4	1.1	1.3	2.3	1.4	0.84	1.1	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	4	3	4	4	3	4	3	3	3	3	-	1
	全リン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	390	447	430	425	457	460	340	350	340	340	-	1
	電気伝導率	197	194	183	210	203	190	170	201	180	140	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。

(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果（B5地点の推移）

調査地点		B5		地下水の 環境基準	検出 下限
		H30.9.3	H30.10.30		
一般項目	pH	6.8	6.8	-	-
	BOD	7.1	11	-	0.5
	COD	64	75	-	0.5
	大腸菌群数	22	23	-	-
	油分	3.5	5.4	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シソ	ND	ND	検出されないこと	0.1
	有機燐	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.007	0.011	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.004	0.002	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	0.8	0.8
ホウ素	1.4	1.5	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.96	1.3	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	2	3	-	1
	全燐	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	300	370	-	1
	電気伝導率	140	180	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	-	0.001
	フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	-	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果 (F1西地点の推移)

調査地点		F1西								地下水の	検出
調査年月日		H15.2.6	H16.2.5	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	環境基準	下限
一般項目	pH	7.0	7.0	7.0	6.9	7.3	6.9	7.2	7.7	-	-
	BOD	3.9	6.6	1.0	2.7	0.5	1.6	1.7	1.1	-	0.5
	COD	5.4	7.9	1.7	2.4	2.4	2.7	2.3	0.9	-	0.5
	大腸菌群数	22	4.5	2.0	22	33	3.7	7.8	2.0	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	0.024	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.016	0.016	ND	0.013	ND	0.010	ND	0.008	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホル素	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	—	—	—	—	—	—	—	—	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	1	4	ND	ND	1	ND	ND	ND	-	1
	全燐	ND	ND	ND	0.2	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	230	230	220	216	223	274	241	250	-	1
	電気伝導率	98.6	94	94.6	90	83.7	53.4	47.3	49	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	0.033	0.030	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果（F1西地点の推移）

調査地点	F1西										地下水の 環境基準	検出 下限
	H23. 2. 9	H23. 6. 14	H23. 8. 3	H23. 11. 22	H24. 2. 1	H24. 5. 16	H24. 8. 1	H24. 11. 19	H25. 2. 5			
一般項目	pH	6.8	6.9	6.9	7.2	6.9	6.8	6.8	7.1	7.1	-	-
	BOD	0.9	ND	ND	0.7	0.6	ND	ND	ND	2.1	-	0.5
	COD	1.8	2.8	1.9	1.9	1.9	2.0	3.0	2.2	0.9	-	0.5
	大腸菌群数	ND	13	22	540	7.8	11	11	70	ND	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.012	0.008	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.0013	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンソカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	ND	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
	ホル素	0.4	0.5	0.5	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	1	0.1
1,4-ジオキサン	ND	0.008	ND	ND	0.006	ND	0.010	0.010	0.010	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	1.6	1.2	1.2	4	ND	ND	ND	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	270	360	248	252	285	331	342	328	338	-	1
	電気伝導率	110	136	102	109	115	130	133	118	133	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果（F1西地点の推移）

調査地点		F1西									地下水の	検出
調査年月日		H25.5.22	H25.7.22	H25.11.13	H26.2.17	H26.5.13	H26.7.22	H26.11.25	H27.2.16	H27.5.19	環境基準	下限
一般項目	pH	6.7	6.7	7.1	6.9	7.1	6.7	6.7	6.7	6.4	-	-
	BOD	1.7	0.5	0.6	ND	ND	ND	0.6	1.3	ND	-	0.5
	COD	7.8	6.1	1.7	5.0	2.6	8.0	10	5.8	6.9	-	0.5
	大腸菌群数	69	33	ND	7.8	ND	ND	7.8	ND	ND	-	-
	油分	ND	ND	ND	0.5	ND	ND	0.5	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	0.0004	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.008	ND	0.016	0.009	0.019	0.011	0.011	0.020	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	0.0006	0.0003	ND	ND	0.0005	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.011	0.019	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.011	0.033	0.006	0.031	0.021	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	0.001	ND	0.010	0.012	0.007	0.006	0.012	0.015	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
鈣素	0.4	0.4	0.5	0.3	0.4	0.5	0.3	0.5	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.020	0.023	ND	0.017	0.027	0.045	0.025	0.026	0.039	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	436	426	280	314	309	539	456	522	545	-	1
	電気伝導率	168	176	100	127	117	207	174	193	197	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果 (F1西地点の推移)

調査地点		F1西										地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		H27.7.27	H27.11.24	H28.2.9	H28.5.24	H28.7.26	H28.11.8	H29.1.31	H29.5.23	H29.7.26	H29.11.29		
一般項目	pH	6.7	6.8	6.8	6.7	6.6	6.7	6.9	6.7	6.6	6.8	-	-
	BOD	0.7	ND	1.3	0.8	0.8	1.4	1.8	4.9	7.7	3.6	-	0.5
	COD	6.4	7.2	6.5	7.4	6.3	7.4	7.7	8.8	7.2	6.0	-	0.5
	大腸菌群数	2.0	7.8	2.0	13	79	ND	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	ND	1.2	ND	0.7	ND	0.9	ND	1.5	ND	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	0.003 ^(注6)	0.0003									
	全シソ	ND	0.1										
	有機燐	ND	-	0.1									
	鉛	ND	ND	ND	<u>0.012</u>	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	0.05	0.05									
	砒素	<u>0.024</u>	<u>0.030</u>	<u>0.039</u>	<u>0.038</u>	<u>0.030</u>	<u>0.033</u>	<u>0.045</u>	<u>0.048</u>	<u>0.040</u>	<u>0.034</u>	0.01	0.005
	総水銀	ND	0.0005	0.0005									
	アルキル水銀	ND	0.0005										
	PCB	ND	0.0005										
	ジクロロメタン	ND	0.02	0.002									
	四塩化炭素	ND	0.002	0.0002									
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	0.0002	0.0002	0.0002	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	0.004	0.0004									
	1,1-ジクロロエチレン	ND	0.1 ^(注4)	0.002									
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	0.012	ND	0.04	0.004						
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	1	0.0005									
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	0.006	0.0006									
	トリクロロエチレン	0.002	ND	0.009	ND	0.003	ND	0.003	0.001	0.001	ND	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	0.01	0.0005									
	1,3-ジクロロプロペン	ND	0.002	0.0002									
	チラム	ND	0.006	0.001									
	シマジン	ND	0.003	0.0003									
	チオベンカルブ	ND	0.02	0.002									
	ベンゼン	0.001	0.001	<u>0.012</u>	ND	0.01	0.001						
	セレン	ND	0.01	0.005									
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	10	10									
	フッ素	ND	0.8	0.8									
ホウ素	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.027	0.025	0.019	0.029	0.026	0.033	0.028	0.034	<u>0.053</u>	0.023	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	-	1									
	全燐	ND	-	0.1									
	塩化物イオン	554	539	496	555	498	588	584	660	540	440	-	1
	電気伝導率	204	202	191	205	181	220	208	200	194	188	-	0.1
	ニッケル	ND	-	0.05									
	モリブデン	ND	-	0.007									
	アンチモン	0.001	ND	-	0.001								
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。

(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果（F1西地点の推移）

調査地点	F1西				地下水の 環境基準	検出 下限	
	H30.2.13	H30.6.26	H30.9.3	H30.10.30			
一般項目	pH	6.8	6.7	6.6	6.9	-	-
	BOD	6.4	4.2	4.9	3.9	-	0.5
	COD	8.5	8.2	7.1	5.8	-	0.5
	大腸菌群数	ND	490	4.5	ND	-	1
	油分	ND	ND	0.6	ND	-	0.5
健康項目	カドミウム	ND	ND	ND	ND	0.003 ^(注6)	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.1
	有機磷	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.046	0.043	0.036	0.034	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注8)	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注4)	0.002
	1,2-ジクロロエチレン ^(注5)	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.003	ND	0.002	0.002	0.01 ^(注7)	0.001
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	ND	ND	0.001	0.001	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホウ素	0.4	0.5	0.4	0.4	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.025	0.035	0.026	0.038	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	-	1
	全磷	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	540	530	480	420	-	1
	電気伝導率	198	190	95	170	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)

(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)

(注7)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注8)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	C1北											地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.7.24	H26.2.18	H26.7.22	H27.2.25	H27.7.21	H28.2.1	H28.7.25	H29.1.30	H29.8.9	H30.2.13	H30.8.29			
一般項目	pH	6.9	6.7	6.9	6.9	6.9	7.0	6.9	7.0	7.0	7.0	6.9	-	-
	BOD	6.6	4.7	13	4.5	12	27	32	12	21	5.2	8.3	-	0.5
	COD	160	130	130	130	130	130	150	150	140	120	110	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	13	ND	ND	ND	790	ND	6.8	-	-
	油分	1.5	2.4	1.8	1.8	1.7	2.4	2.3	2.3	2.2	1.6	8.2	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0012	0.0008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン(注5)	0.0003	ND	0.0003	<u>0.0045</u>	0.0002	ND	ND	0.0002	0.0002	0.0002	ND	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	ND	0.004	0.005	<u>0.095</u>	ND	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	0.009	<u>0.017</u>	<u>0.093</u>	0.001	0.003	ND	ND	ND	0.002	ND	0.01(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>0.099</u>	<u>0.10</u>	<u>0.085</u>	<u>0.14</u>	<u>0.11</u>	<u>0.10</u>	<u>0.14</u>	<u>0.12</u>	<u>0.18</u>	<u>0.12</u>	<u>0.14</u>	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホル素	<u>7.2</u>	<u>6.5</u>	<u>7.3</u>	<u>7.1</u>	<u>7.6</u>	<u>8.4</u>	<u>7.8</u>	<u>8.1</u>	<u>7.9</u>	<u>7.7</u>	<u>7.6</u>	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>0.73</u>	<u>0.99</u>	<u>0.78</u>	<u>0.69</u>	<u>0.60</u>	<u>0.44</u>	<u>0.78</u>	<u>0.51</u>	<u>0.65</u>	<u>0.52</u>	<u>0.62</u>	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	23	18	11	12	14	12	12	13	40	41	39	-	1
	全磷	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	-	0.1
	塩化物イオン	1850	1880	1690	1630	1640	1650	1580	1430	1310	1500	1200	-	1
	電気伝導率	727	719	714	677	664	670	625	617	552	648	540	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点		C1南											地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		H25.7.24	H26.2.18	H26.7.22	H27.2.25	H27.7.21	H28.2.1	H28.7.25	H29.1.30	H29.8.9	H30.2.13	H30.8.29		
一般項目	pH	5.5	5.2	4.7	5.5	5.4	5.6	5.7	5.6	5.7	6.4	5.6	-	-
	BOD	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	ND	ND	1.9	ND	2	-	0.5
	COD	7.1	7.7	5.8	5.5	5.1	4.3	4.3	4.1	4.1	6.0	3.5	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5.5	ND	7.8	ND	79	-	-
	油分	ND	0.7	ND	ND	ND	1.2	0.5	ND	ND	0.6	1.0	-	0.5
健康項目	鉛	0.0011	0.0009	0.0028	0.0007	0.0012	0.0010	0.0004	0.0015	0.0017	0.0010	0.0037	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	ND	<u>0.010</u>	<u>0.0036</u>	<u>0.011</u>	0.0013	<u>0.0091</u>	<u>0.015</u>	<u>0.012</u>	<u>0.016</u>	<u>0.0027</u>	<u>0.012</u>	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	<u>0.088</u>	<u>0.088</u>	<u>0.041</u>	<u>0.12</u>	<u>0.086</u>	<u>0.076</u>	<u>0.11</u>	<u>0.080</u>	<u>0.11</u>	0.023	<u>0.11</u>	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0015	0.0007	0.0009	0.0009	0.0007	0.0006	0.0010	0.0007	0.0011	ND	0.0015	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	<u>0.25</u>	<u>0.28</u>	<u>0.13</u>	<u>0.33</u>	<u>0.30</u>	<u>0.24</u>	<u>0.37</u>	<u>0.26</u>	<u>0.40</u>	<u>0.084</u>	<u>0.35</u>	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>0.023</u>	<u>0.024</u>	<u>0.019</u>	<u>0.049</u>	<u>0.022</u>	<u>0.022</u>	<u>0.032</u>	<u>0.014</u>	<u>0.022</u>	0.010	<u>0.030</u>	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホル素	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>0.13</u>	<u>0.20</u>	<u>0.13</u>	<u>0.16</u>	<u>0.16</u>	<u>0.12</u>	<u>0.24</u>	<u>0.14</u>	<u>0.20</u>	<u>0.083</u>	<u>0.20</u>	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	ND	1	1	-	1	
	全磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	4890	5340	5350	5320	5250	5220	5320	5200	5040	4100	5100	-	1
	電気伝導率	1360	1440	1460	1510	1400	1390	1270	1430	1260	1170	1400	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND: 検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	C3北											地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.7.24	H26.2.19	H26.7.7	H27.2.18	H27.8.3	H28.2.2	H28.8.1	H29.2.7	H29.7.31	H30.2.7	H30.8.27			
一般項目	pH	6.6	6.6	6.7	6.6	6.5	6.8	6.4	6.7	6.5	6.4	6.5	-	-
	BOD	12	18	5.0	3.0	1.7	4.2	0.7	3.4	2.2	3.3	3.0	-	0.5
	COD	210	140	110	67	67	19	23	22	35	36	28	-	0.5
	大腸菌群数	2.0	31	2.0	11	ND	ND	ND	ND	ND	ND	22	-	-
	油分	7.6	10	3.8	4.1	2.4	3.5	1.6	2.2	2.9	1.1	2.2	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0004	0.0004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.006	ND	ND	<u>0.015</u>	ND	0.006	ND	0.010	<u>0.017</u>	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	メチル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエレン ^(注5)	<u>0.035</u>	0.0008	<u>0.0089</u>	0.0017	0.0010	<u>0.0079</u>	0.0011	<u>0.0045</u>	0.0017	0.0017	0.0009	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0014	ND	0.0005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエレン	0.033	ND	0.009	0.007	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエレン	<u>0.025</u>	ND	<u>0.065</u>	<u>0.022</u>	ND	0.002	0.002	0.008	0.002	ND	ND	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	<u>9.2</u>	<u>0.26</u>	<u>0.33</u>	<u>0.032</u>	<u>0.017</u>	<u>0.15</u>	0.008	<u>0.069</u>	<u>0.045</u>	0.006	<u>0.018</u>	0.01	0.001
	セレン	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
亜硫酸	<u>3.0</u>	<u>1.4</u>	<u>2.0</u>	<u>2.5</u>	<u>2.4</u>	0.3	0.8	0.8	<u>1.2</u>	<u>1.9</u>	0.2	1	0.1	
1,4-ジオキサン	<u>1.3</u>	<u>0.48</u>	<u>2.7</u>	<u>0.72</u>	<u>0.30</u>	0.036	<u>0.057</u>	<u>0.27</u>	<u>0.30</u>	<u>0.17</u>	0.018	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	11	7	19	27	35	8	15	12	24	10	6	-	1
	全燐	ND	0.4	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.2	-	0.1
	塩化物イオン	322	295	343	240	187	40	64	165	160	170	16	-	1
	電気伝導率	590	330	377	273	237	43.4	116	118	169	163	32	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	0.009	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点		C3南											地下水の 環境基準	検出 下限
調査年月日		H25.7.24	H26.2.19	H26.7.7	H27.2.18	H27.8.3	H28.2.2	H28.8.1	H29.2.7	H29.7.31	H30.2.7	H30.8.27		
一般項目	pH	6.3	6.1	6.1	6.2	6.2	6.1	6.1	6.1	6.1	6.1	6.2	-	-
	BOD	11	9.3	1.0	1.4	1.3	8.8	2.9	3.2	2.1	7.0	4.9	-	0.5
	COD	84	68	36	39	38	40	34	30	19	22	45	-	0.5
	大腸菌群数	4.5	ND	ND	4.5	ND	2.0	ND	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	4.0	4.3	2.6	2.6	2.3	3.7	2.4	1.8	2	1.9	3.5	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0008	0.0004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機リン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	0.002	0.002	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	0.12	0.15	0.24	0.035	0.043	0.020	0.035	0.032	0.059	0.031	0.022	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0024	0.0030	0.0042	ND	0.0031	0.0025	0.0035	ND	0.0021	0.0021	0.0052	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	0.67	0.65	0.23	0.12	0.10	0.090	0.12	0.099	0.34	0.088	0.064	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	0.0024	0.0023	0.0022	ND	0.0012	0.0010	0.0014	0.0011	0.0018	0.0013	0.0026	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.46	0.54	0.37	0.32	0.26	0.28	0.45	0.30	0.51	0.26	0.22	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チクロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シメジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.56	0.13	0.021	0.018	0.009	0.013	0.008	0.003	0.008	0.002	0.018	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8	
ホル素	2.9	2.4	2.0	2.5	2.1	2.1	1.7	1.2	1.1	1.2	3.1	1	0.1	
1,4-ジオキサン	1.3	1.1	1.3	0.65	0.62	0.43	0.55	0.32	0.44	0.40	0.78	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	9	6	6	4	3	4	3	3	3	3	3	-	1
	全リン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	1260	1440	1670	1670	1770	1760	1770	1860	1800	1700	1000	-	1
	電気伝導率	506	536	597	586	584	581	546	607	594	589	370	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フルオロエチルベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	F1東											地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25.7.22	H26.2.17	H26.7.22	H27.2.17	H27.7.27	H28.2.1	H28.7.25	H29.1.31	H29.8.9	H30.2.13	H30.8.29			
一般項目	pH	6.2	6.3	6.3	6.4	6.2	6.4	6.3	6.5	6.4	6.7	6.3	-	-
	BOD	9.3	10	3.7	14	7.1	16	13	10	5.4	3.3	6.7	-	0.5
	COD	136	96	72	73	77	65	71	67	71	65	89	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	2	ND	49	ND	4.5	ND	14	-	-
	油分	4.4	2.3	1.6	2.2	2.3	4.3	4.1	2.0	2.6	0.6	4.4	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0011	0.0008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン(注5)	0.0017	0.0045	0.0039	0.0041	0.0026	0.0027	0.0027	0.0036	0.0028	0.0028	0.0028	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	0.0009	0.0009	0.0015	0.0009	0.0009	0.0008	0.0010	0.0008	0.0011	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	0.002	ND	0.002	0.006	0.002	ND	0.002	ND	0.002	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	0.016	0.011	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	0.0022	ND	ND	ND	ND	ND	0.0020	ND	ND	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	0.002	ND	0.064	0.022	0.002	0.008	0.007	0.002	0.019	0.011	0.001	0.01(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.017	0.051	0.020	0.016	0.011	0.061	0.011	0.008	0.014	0.007	0.008	0.01	0.001
	セレン	ND	ND	ND	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホウ素	9.4	6.5	6.6	6.3	6.9	6.4	6.5	6.1	6.2	5.7	6.0	1	0.1	
1,4-ジオキサン	0.72	0.71	0.75	0.66	0.58	0.33	0.66	0.56	0.68	0.35	0.54	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	4	5	5	4	3	4	4	4	4	4	4	-	1
	全磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	塩化物イオン	1230	1270	1310	1310	1300	1320	1350	1370	1310	1200	1300	-	1
	電気伝導率	524	524	537	545	542	544	514	560	503	534	560	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	ND	0.007	0.017	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND: 検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果

調査地点	DE 1											地下水の 環境基準	検出 下限	
	H25. 7. 22	H26. 2. 19	H26. 7. 22	H27. 2. 17	H27. 7. 28	H28. 2. 2	H28. 7. 25	H29. 1. 30	H29. 8. 9	H30. 2. 7	H30. 8. 27			
一般項目	pH	5.9	6.1	6.3	6.3	5.9	6.0	5.8	6.3	5.9	6.1	6.2	-	-
	BOD	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.6	ND	1.6	7.0	4.9	-	0.5
	COD	2.5	4.3	4.8	2.8	2.3	1.5	2.5	4.3	1.8	22	45	-	0.5
	大腸菌群数	ND	ND	22	ND	12	ND	2.0	ND	ND	ND	ND	-	-
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	0.7	ND	ND	ND	1.9	3.5	-	0.5
健康項目	カドミウム	0.0026	<u>0.044</u>	<u>0.022</u>	0.0004	<u>0.0036</u>	0.0021	0.0011	ND	0.0030	ND	ND	0.003	0.0003
	全シアン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1
	鉛	0.005	<u>0.084</u>	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価クロム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	0.009	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	アルキル水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	クロロエチレン ^(注5)	ND	ND	0.0004	0.0006	ND	ND	0.0002	ND	ND	0.031	<u>0.022</u>	0.002	0.0002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0021	<u>0.0052</u>	0.004	0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.002
	1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	0.012	0.027	ND	ND	ND	ND	ND	0.088	<u>0.064</u>	0.04	0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0013	0.0026	0.006	0.0006
	トリクロロエチレン	ND	ND	<u>0.056</u>	<u>0.041</u>	ND	0.003	<u>0.011</u>	0.004	ND	0.26	<u>0.22</u>	0.01 ^(注4)	0.002
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ベンゼン	0.003	0.007	<u>0.014</u>	<u>0.023</u>	0.007	<u>0.013</u>	0.002	0.001	ND	0.002	<u>0.018</u>	0.01	0.001
	セレン	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	フッ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
ホル素	0.8	0.6	0.9	0.9	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	<u>1.2</u>	<u>3.1</u>	1	0.1	
1,4-ジオキサソ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	<u>0.40</u>	<u>0.78</u>	0.05	0.005	
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	3	-	1	
	全磷	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	
	塩化物イオン	9650	10200	9830	10000	9660	9590	9820	9750	9270	1700	1000	-	1
	電気伝導率	2650	2580	2560	2700	2300	2570	2170	2610	2490	589	370	-	0.1
	ニッケル	ND	ND	0.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.05
	モリブデン	0.008	0.008	ND	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.007
	アンチモン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.001
フタル酸ジエチルヘキシル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.006	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。(平成26年7月調査までの環境基準値は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、名称を変更した。(平成29年3月調査までは塩化ビニルモノマーである。)

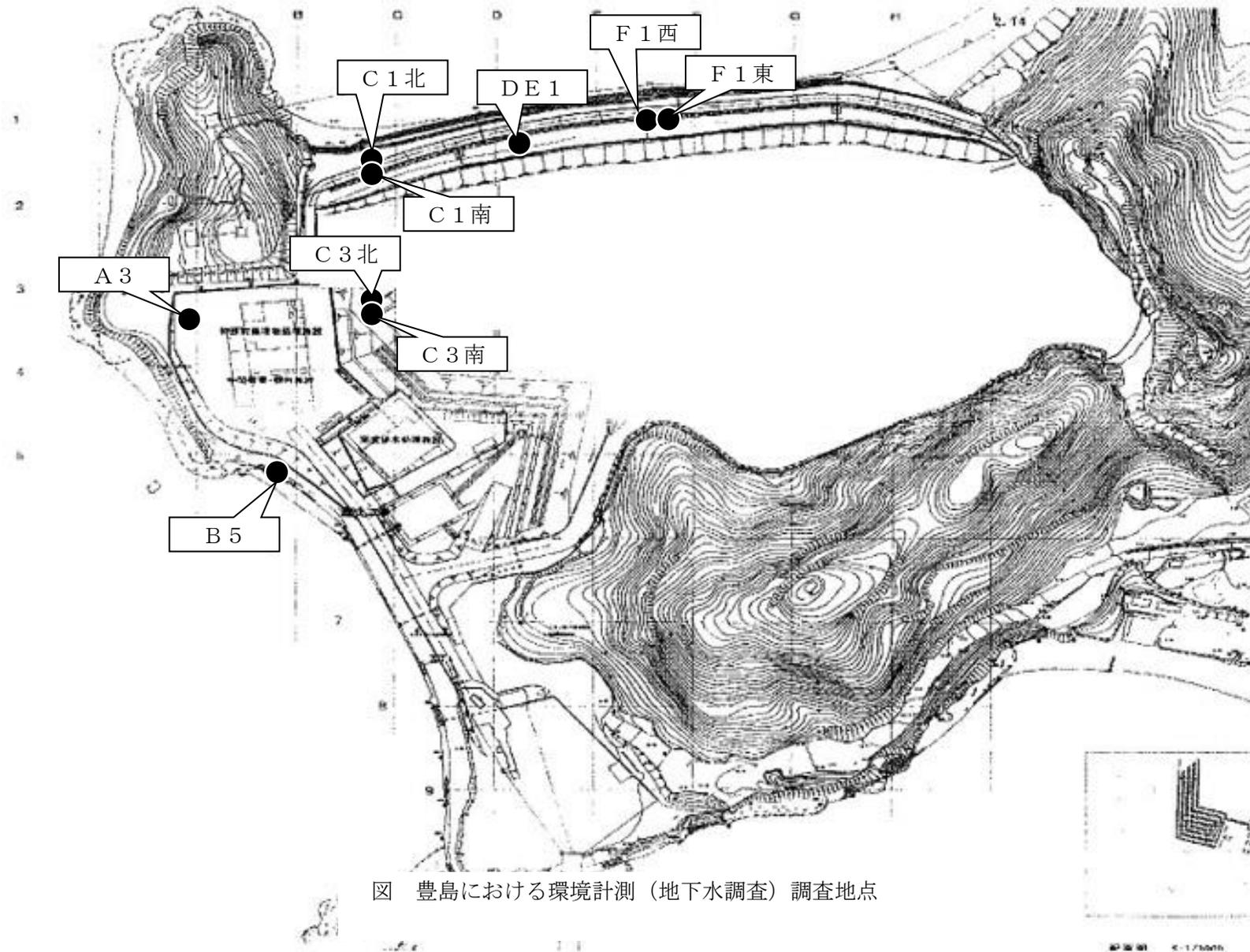


図 豊島における環境計測（地下水調査）調査地点

豊島における環境計測（地下水調査）結果について

地下水の環境計測は、工事の進捗に伴う水質の推移を把握することを目的としている。今回、平成30年10月、11月、12月及び平成31年2月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の概要

(1) 調査日

平成30年10月17日(水)、18日(木)

平成30年11月26日(月)、27日(火)、12月19日(水)

平成31年2月26日(火)、27日(火)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

観測井 6 地点

・ (B+40, 2+10) 付近 2 地点（浅井戸、深井戸）

・ (C, 2+40) 付近 3 地点（浅井戸、中間井戸、深井戸）

・ (C, 3+10) 付近

揚水井 4 地点

・ (B+40, 2+10) 付近 2 地点（浅井戸、深井戸）

・ (C, 2+40) 付近 2 地点（浅井戸 深井戸）

・ (C, 3+10) 付近

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

分析機関：環境保健研究センター

2 調査結果の概要（表1～11）

(1) (1) (C, 2+40) 浅井戸の観測孔は集水井の揚水に伴い、地下水量が減少し、水質検査に必要な水量が確保できないため、欠測となっている。その他、各観測井において、次の項目が環境基準値を満足しなかった。

(B+40, 2+10) 浅井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(B+40, 2+10) 深井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 2+40) 中間井戸：

ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 2+40) 深井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C, 3+10)：

1,4-ジオキサン

(2) (B+40, 2+10) 浅井戸、(C, 2+40) 浅井戸及び (C, 3+10) の揚水井は集水井の揚水に伴い、地下水量が減少し、水質検査に必要な水量が確保できないため、欠測となっている。(B+40, 2+10) 深井戸については、集水井施工により平成 30 年 7 月 3 日に削孔した横ボーリングが、(B+40, 2+10) の揚水井（深）を貫通したため、揚水ができず欠測である。(C, 2+40) 深井戸において、次の項目が環境基準を満足しなかった。

(C, 2+40) 深井戸：

クロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

表1 地下水調査結果 (B+40, 2+10)付近浅井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26. 4. 10	<u>0.0077</u>	<u>0.056</u>	<u>0.080</u>	<u>0.73</u>	<u>1.6</u>	-	-
H26. 6. 17	<u>0.022</u>	<u>0.28</u>	<u>1.1</u>	<u>0.79</u>	<u>2.9</u>	17	0.83
H26. 8. 25	<u>0.0046</u>	0.012	0.018	<u>0.75</u>	<u>1.4</u>	17	1.54
H26. 10. 22	<u>0.0028</u>	0.017	0.030	<u>0.32</u>	<u>0.34</u>	5.7	1.24
H26. 12. 10	<u>0.0024</u>	0.008	<u>0.021</u>	<u>0.22</u>	<u>0.54</u>	5.6	0.87
H27. 2. 18	0.0014	0.006	<u>0.029</u>	<u>0.28</u>	<u>0.58</u>	4.0	0.61
H27. 4. 22	0.0015	0.008	<u>0.011</u>	<u>0.28</u>	<u>0.78</u>	3.9	0.96
H27. 6. 17	<u>0.15</u>	<u>0.34</u>	<u>0.025</u>	<u>0.33</u>	<u>0.38</u>	5.9	0.67
H27. 8. 27	<u>0.027</u>	<u>0.10</u>	<u>0.097</u>	<u>0.27</u>	<u>0.35</u>	12	1.04
H27. 10. 7	<u>0.020</u>	<u>0.042</u>	<u>0.021</u>	<u>0.17</u>	<u>0.20</u>	8.5	0.85
H27. 12. 11	<u>0.030</u>	<u>0.043</u>	0.002	<u>0.16</u>	<u>0.18</u>	9.8	0.81
H28. 2. 3	<u>0.014</u>	<u>0.13</u>	<u>0.048</u>	<u>0.15</u>	<u>0.19</u>	6.4	0.79
H28. 4. 7	<u>0.0022</u>	ND	ND	<u>0.15</u>	<u>0.22</u>	11	0.67
H28. 6. 10	0.0010	0.004	<u>0.013</u>	<u>0.084</u>	<u>0.31</u>	5.0	0.70
H28. 8. 4	<u>0.017</u>	0.038	ND	<u>0.077</u>	<u>0.15</u>	3.1	1.12
H28. 10. 11	0.0012	0.018	<u>0.015</u>	<u>0.077</u>	<u>0.15</u>	3.5	1.03
H28. 12. 15	0.0016	ND	0.008	<u>0.081</u>	<u>0.16</u>	3.6	0.82
H29. 2. 6	<u>0.0073</u>	0.027	<u>0.024</u>	<u>0.10</u>	<u>0.16</u>	5.0	0.56
H29. 4. 10	<u>0.0025</u>	0.006	ND	<u>0.077</u>	<u>0.13</u>	4.3	0.71
H29. 6. 12	<u>0.044</u>	<u>0.25</u>	<u>0.014</u>	<u>0.13</u>	<u>0.20</u>	6.6	0.49
H29. 7. 31	<u>0.024</u>	<u>0.079</u>	0.005	<u>0.073</u>	<u>0.17</u>	5.0	0.74
H29. 10. 2	<u>0.0076</u>	0.023	0.010	<u>0.045</u>	<u>0.077</u>	3.9	0.80
H29. 11. 28	<u>0.0096</u>	0.022	0.002	<u>0.020</u>	0.028	3.2	0.79
H30. 2. 6	<u>0.0028</u>	0.018	0.002	<u>0.018</u>	<u>0.088</u>	3.2	0.36
H30. 5. 23	0.0016	0.002	0.002	<u>0.073</u>	<u>0.083</u>	3.7	0.85
H30. 6. 11	0.0013	ND	0.004	<u>0.062</u>	<u>0.093</u>	3.3	0.48
H30. 8. 27	0.0013	0.004	0.001	<u>0.030</u>	0.048	2.5	0.68
H30. 10. 17	0.0010	0.014	0.008	<u>0.013</u>	0.027	2.0	1.02
H30. 11. 26	ND	0.004	0.011	<u>0.018</u>	0.056	2.5	0.050
H31. 2. 26	<u>0.0058</u>	<u>0.074</u>	<u>0.31</u>	<u>0.042</u>	<u>0.11</u>	2.4	-1.17
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表2 地下水調査結果 (B+40, 2+10)付近深井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26. 4. 10	<u>0.016</u>	<u>3.0</u>	<u>3.4</u>	<u>1.3</u>	<u>4.1</u>	-	-
H26. 6. 17	<u>5.8</u>	<u>2.6</u>	<u>4.1</u>	<u>1.3</u>	<u>7.2</u>	5.3	0.86
H26. 8. 25	<u>0.70</u>	<u>2.7</u>	<u>2.6</u>	<u>1.3</u>	<u>4.3</u>	5.4	1.51
H26. 10. 22	<u>0.63</u>	<u>3.3</u>	<u>3.9</u>	<u>1.7</u>	<u>3.4</u>	6.4	1.02
H26. 12. 10	<u>0.81</u>	<u>3.1</u>	<u>3.6</u>	<u>1.7</u>	<u>3.8</u>	7.4	0.87
H27. 2. 18	<u>0.47</u>	<u>2.1</u>	<u>1.8</u>	<u>1.0</u>	<u>3.4</u>	5.5	0.61
H27. 4. 22	<u>0.29</u>	<u>1.6</u>	<u>1.8</u>	<u>1.9</u>	<u>4.0</u>	4.4	0.87
H27. 6. 17	<u>0.064</u>	<u>0.25</u>	<u>0.20</u>	<u>1.7</u>	<u>2.4</u>	4.5	-0.30
H27. 8. 27	<u>0.20</u>	<u>1.1</u>	<u>1.4</u>	<u>1.9</u>	<u>2.3</u>	5.9	1.06
H27. 10. 7	<u>0.13</u>	<u>0.45</u>	<u>0.67</u>	<u>1.9</u>	<u>2.3</u>	5.9	1.02
H27. 12. 11	<u>0.15</u>	<u>0.64</u>	0.89	<u>2.3</u>	<u>1.7</u>	5.2	-0.10
H28. 2. 4	<u>0.095</u>	<u>0.52</u>	<u>0.50</u>	<u>1.9</u>	<u>1.7</u>	4.5	0.78
H28. 4. 7	<u>0.29</u>	<u>0.82</u>	<u>1.0</u>	<u>2.5</u>	<u>1.9</u>	5.4	0.68
H28. 6. 14	<u>0.23</u>	<u>1.6</u>	<u>2.1</u>	<u>2.1</u>	<u>2.3</u>	4.9	0.74
H28. 8. 4	<u>0.31</u>	<u>1.9</u>	<u>1.8</u>	<u>2.5</u>	<u>2.1</u>	4.8	1.13
H28. 10. 11	<u>0.091</u>	<u>0.066</u>	<u>0.067</u>	<u>3.2</u>	<u>1.5</u>	4.8	1.02
H28. 12. 15	<u>0.42</u>	<u>1.2</u>	<u>1.4</u>	<u>1.6</u>	<u>2.3</u>	6.0	0.68
H29. 2. 6	<u>0.40</u>	<u>1.4</u>	<u>1.7</u>	<u>1.7</u>	<u>1.7</u>	5.1	0.53
H29. 4. 10	<u>0.080</u>	<u>0.30</u>	<u>0.48</u>	<u>1.9</u>	<u>1.3</u>	3.1	0.65
H29. 6. 12	<u>0.41</u>	<u>1.9</u>	<u>2.7</u>	<u>2.1</u>	<u>1.8</u>	3.7	0.65
H29. 7. 31	<u>0.0089</u>	0.015	<u>0.024</u>	<u>3.4</u>	<u>2.5</u>	5.7	-0.21
H29. 10. 2	<u>0.12</u>	<u>0.51</u>	<u>0.76</u>	<u>3.7</u>	<u>2.2</u>	3.8	1.19
H29. 11. 28	<u>0.12</u>	<u>0.50</u>	<u>0.69</u>	<u>2.7</u>	<u>1.7</u>	4.4	1.02
H30. 2. 6	<u>0.0090</u>	0.024	<u>0.017</u>	<u>2.8</u>	<u>1.7</u>	4.1	0.54
H30. 5. 24	<u>0.043</u>	<u>0.057</u>	<u>0.075</u>	<u>1.2</u>	<u>1.7</u>	4.3	0.89
H30. 6. 11	<u>0.0093</u>	0.011	<u>0.014</u>	<u>1.8</u>	<u>2.2</u>	6.6	0.52
H30. 8. 27	ND	0.006	0.006	<u>0.41</u>	<u>1.0</u>	4.1	-3.7
H30. 10. 17	<u>0.04</u>	<u>0.077</u>	<u>0.20</u>	<u>0.12</u>	<u>0.81</u>	3.7	1.26
H30. 11. 26	<u>0.018</u>	<u>0.027</u>	<u>0.072</u>	<u>0.065</u>	<u>0.75</u>	3.6	0.31
H31. 2. 26	<u>0.0041</u>	<u>0.071</u>	<u>0.54</u>	<u>0.055</u>	<u>0.39</u>	3.0	-1.76
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表3 地下水調査結果 (C, 2+40)付近浅井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26. 4. 10	<u>0.26</u>	<u>0.042</u>	0.028	<u>0.61</u>	<u>5.2</u>	-	-
H26. 6. 17	<u>0.023</u>	0.037	<u>0.040</u>	<u>0.82</u>	<u>0.94</u>	22	0.83
H26. 8. 25	<u>0.025</u>	<u>0.063</u>	<u>0.16</u>	<u>0.49</u>	<u>0.42</u>	6.7	1.54
H26. 10. 22	<u>0.0033</u>	0.019	0.023	<u>0.47</u>	<u>0.27</u>	5.0	1.24
H26. 12. 10	<u>0.0037</u>	0.016	<u>0.042</u>	<u>0.15</u>	<u>0.12</u>	4.9	0.87
H27. 2. 18	<u>0.0034</u>	0.012	<u>0.041</u>	<u>0.23</u>	<u>0.26</u>	4.0	0.61
H27. 4. 21	<u>0.0033</u>	0.005	<u>0.015</u>	<u>0.14</u>	<u>0.21</u>	3.1	0.99
H27. 6. 18	0.0012	0.007	0.008	<u>0.15</u>	<u>0.18</u>	4.6	0.83
H27. 8. 26	0.0003	ND	0.005	<u>0.071</u>	<u>0.17</u>	4.8	1.15
H27. 10. 6	0.0003	ND	0.006	<u>0.063</u>	<u>0.14</u>	4.6	1.07
H27. 12. 10	0.0006	ND	0.008	<u>0.029</u>	<u>0.12</u>	4.9	0.93
H28. 2. 3	0.0004	0.004	<u>0.012</u>	<u>0.031</u>	<u>0.12</u>	4.8	0.85
H28. 4. 6	0.0002	ND	0.004	<u>0.033</u>	<u>0.16</u>	4.4	0.74
H28. 6. 10	ND	ND	ND	<u>0.038</u>	<u>0.10</u>	3.7	0.93
H28. 8. 3	0.0013	ND	ND	<u>0.038</u>	<u>0.15</u>	4.0	1.18
H28. 10. 11	0.0004	ND	ND	<u>0.014</u>	<u>0.097</u>	1.8	0.97
H28. 12. 14	<u>0.011</u>	0.033	0.006	<u>0.038</u>	<u>0.15</u>	2.6	0.76
H29. 2. 6	<u>0.0025</u>	ND	0.001	<u>0.048</u>	<u>0.10</u>	2.7	0.64
H29. 4. 10	0.0010	ND	0.002	<u>0.043</u>	<u>0.10</u>	2.6	0.70
H29. 6. 12	0.0016	ND	ND	<u>0.081</u>	<u>0.14</u>	3.2	0.70
H29. 7. 31	0.0007	ND	0.006	<u>0.049</u>	<u>0.20</u>	3.0	0.62
H29. 10. 2	0.0016	ND	0.002	<u>0.055</u>	<u>0.17</u>	3.8	1.03
H29. 11. 28	0.0009	ND	0.004	<u>0.043</u>	<u>0.12</u>	1.7	1.01
H30. 2. 6	0.0005	ND	ND	<u>0.022</u>	<u>0.080</u>	3.7	0.61
H30. 5. 23	0.0003	ND	0.001	<u>0.012</u>	<u>0.058</u>	1.5	0.97
H30. 6. 11	0.0006	ND	0.001	<u>0.015</u>	<u>0.058</u>	1.8	0.50
H30. 8. 27	ND	ND	0.001	0.007	<u>0.065</u>	2.0	0.72
H30. 10. 17	0.0002	ND	ND	<u>0.016</u>	<u>0.094</u>	2.7	1.22
H30. 11. 26	0.0011	ND	0.003	<u>0.027</u>	<u>0.093</u>	3.0	0.23
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表4 地下水調査結果 (C, 2+4)付近中間井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26.4.10	<u>0.45</u>	<u>0.13</u>	0.030	<u>3.8</u>	<u>4.8</u>	-	-
H26.6.17	<u>0.011</u>	<u>0.090</u>	<u>0.46</u>	<u>8.5</u>	<u>11</u>	19	0.91
H26.8.25	<u>0.31</u>	<u>0.49</u>	<u>0.14</u>	<u>4.7</u>	<u>4.0</u>	17	1.58
H26.10.22	<u>0.020</u>	<u>0.045</u>	<u>0.034</u>	<u>4.9</u>	<u>3.8</u>	16	1.35
H26.12.10	<u>0.0051</u>	0.026	<u>0.051</u>	<u>4.2</u>	<u>3.7</u>	19	0.95
H27.2.18	<u>0.0033</u>	0.018	<u>0.047</u>	<u>2.1</u>	<u>2.2</u>	5.3	0.74
H27.4.21	<u>0.0021</u>	0.009	<u>0.017</u>	<u>0.41</u>	<u>1.8</u>	1.9	0.97
H27.6.18	0.0012	0.004	0.006	<u>0.77</u>	<u>1.7</u>	4.3	0.82
H27.8.26	<u>0.0052</u>	0.009	0.003	<u>0.095</u>	<u>1.5</u>	5.3	1.13
H27.10.6	0.0007	ND	0.005	<u>0.051</u>	<u>0.68</u>	5.0	1.07
H27.12.10	0.0019	ND	0.004	<u>0.062</u>	<u>0.62</u>	5.5	0.92
H28.2.3	<u>0.0062</u>	0.005	0.009	<u>0.047</u>	<u>0.47</u>	5.1	0.83
H28.4.6	<u>0.014</u>	ND	ND	<u>0.084</u>	<u>0.56</u>	5.2	0.72
H28.6.10	0.0015	ND	ND	<u>0.083</u>	<u>1.1</u>	2.9	0.96
H28.8.3	<u>0.033</u>	<u>0.082</u>	<u>0.015</u>	<u>0.066</u>	<u>0.41</u>	3.8	1.15
H28.10.11	<u>0.050</u>	<u>0.073</u>	0.007	<u>0.26</u>	<u>0.68</u>	3.9	0.97
H28.12.14	<u>1.7</u>	<u>6.5</u>	<u>3.1</u>	<u>0.58</u>	<u>1.6</u>	5.3	0.72
H29.2.6	<u>0.41</u>	<u>2.3</u>	<u>0.043</u>	<u>0.32</u>	<u>0.99</u>	4.7	0.63
H29.4.10	<u>0.067</u>	<u>0.17</u>	0.006	<u>0.18</u>	<u>0.42</u>	1.6	0.67
H29.6.12	<u>0.030</u>	<u>0.042</u>	ND	<u>0.26</u>	<u>0.96</u>	4.7	0.68
H29.7.31	<u>0.0093</u>	0.012	0.005	<u>0.12</u>	<u>1.2</u>	3.1	0.60
H29.10.2	<u>0.0034</u>	ND	0.001	<u>0.12</u>	<u>1.2</u>	2.8	1.21
H29.11.28	<u>0.039</u>	<u>0.090</u>	<u>0.024</u>	<u>0.11</u>	<u>0.76</u>	1.6	0.98
H30.2.6	<u>0.0031</u>	ND	ND	<u>0.048</u>	<u>1.0</u>	2.5	0.55
H30.5.23	0.0002	ND	0.001	<u>0.029</u>	<u>0.19</u>	2.4	0.91
H30.6.11	<u>0.037</u>	<u>0.057</u>	0.001	<u>0.41</u>	<u>0.30</u>	2.1	0.38
H30.8.27	<u>0.18</u>	<u>0.25</u>	0.003	<u>0.39</u>	<u>0.17</u>	1.8	0.56
H30.10.17	0.0016	ND	0.001	<u>0.031</u>	<u>0.088</u>	2.7	1.21
H30.11.26	<u>0.0027</u>	0.006	0.004	<u>0.061</u>	<u>0.26</u>	4.5	0.22
H31.2.26	ND	ND	0.001	<u>0.028</u>	<u>0.29</u>	2.9	-2.08
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表5 地下水調査結果 (C, 2+40)付近深井戸 (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26.4.10	<u>0.0037</u>	<u>2.0</u>	<u>3.1</u>	<u>3.3</u>	<u>5.4</u>	-	-
H26.6.17	<u>2.0</u>	<u>20</u>	<u>30</u>	<u>4.6</u>	<u>7.0</u>	19	0.91
H26.8.25	<u>0.52</u>	<u>5.8</u>	<u>4.9</u>	<u>4.2</u>	<u>4.1</u>	17	1.58
H26.10.22	<u>0.31</u>	<u>3.0</u>	<u>3.0</u>	<u>4.1</u>	<u>3.5</u>	16	1.38
H26.12.10	<u>1.9</u>	<u>15</u>	<u>16</u>	<u>3.6</u>	<u>4.7</u>	17	0.96
H27.2.18	<u>3.6</u>	<u>21</u>	<u>11</u>	<u>4.0</u>	<u>3.0</u>	6.7	0.66
H27.4.22	<u>1.2</u>	<u>10</u>	<u>2.5</u>	<u>1.6</u>	<u>2.5</u>	4.1	0.81
H27.6.18	<u>1.4</u>	<u>11</u>	<u>2.8</u>	<u>1.9</u>	<u>2.0</u>	8.2	0.71
H27.8.26	<u>1.2</u>	<u>12</u>	<u>7.2</u>	<u>1.2</u>	<u>1.6</u>	7.3	1.11
H27.10.6	<u>1.0</u>	<u>7.3</u>	<u>2.0</u>	<u>0.88</u>	<u>1.1</u>	5.6	0.82
H27.12.11	<u>1.2</u>	<u>7.1</u>	<u>1.9</u>	<u>0.95</u>	<u>0.96</u>	6.3	0.80
H28.2.3	<u>1.2</u>	<u>8.9</u>	<u>1.3</u>	<u>0.84</u>	<u>0.84</u>	5.3	0.83
H28.4.7	<u>2.9</u>	<u>16</u>	<u>5.1</u>	<u>1.4</u>	<u>1.1</u>	6.5	0.78
H28.6.14	<u>2.9</u>	<u>27</u>	<u>15</u>	<u>2.0</u>	<u>2.0</u>	6.3	1.04
H28.8.3	<u>1.6</u>	<u>13</u>	<u>13</u>	<u>1.0</u>	<u>1.4</u>	3.8	1.14
H28.10.11	<u>2.7</u>	<u>22</u>	<u>8.9</u>	<u>2.0</u>	<u>1.4</u>	5.7	0.92
H28.12.15	<u>5.0</u>	<u>25</u>	<u>21</u>	<u>1.8</u>	<u>1.9</u>	5.9	0.70
H29.2.6	<u>3.1</u>	<u>17</u>	<u>4.0</u>	<u>1.6</u>	<u>1.4</u>	5.8	0.63
H29.4.11	<u>2.4</u>	<u>17</u>	<u>7.9</u>	<u>1.4</u>	<u>0.94</u>	1.7	0.69
H29.6.12	<u>4.4</u>	<u>26</u>	<u>8.3</u>	<u>2.1</u>	<u>1.9</u>	5.3	0.69
H29.8.1	<u>1.2</u>	<u>10</u>	<u>2.7</u>	<u>0.96</u>	<u>1.4</u>	4.6	0.61
H29.10.2	<u>3.0</u>	<u>22</u>	<u>5.1</u>	<u>1.7</u>	<u>1.7</u>	3.9	1.01
H29.11.28	<u>2.6</u>	<u>18</u>	<u>5.2</u>	<u>1.5</u>	<u>1.3</u>	3.8	0.99
H30.2.6	<u>1.8</u>	<u>11</u>	<u>3.1</u>	<u>1.0</u>	<u>1.4</u>	4.9	0.52
H30.5.23	<u>0.012</u>	<u>0.071</u>	<u>0.021</u>	<u>0.10</u>	<u>0.23</u>	3.0	0.51
H30.6.11	<u>0.014</u>	<u>0.093</u>	<u>0.22</u>	<u>0.32</u>	<u>0.31</u>	2.3	0.05
H30.8.27	<u>0.071</u>	<u>0.12</u>	<u>0.035</u>	<u>0.20</u>	<u>0.19</u>	2.0	0.14
H30.10.17	<u>0.81</u>	<u>7.0</u>	<u>1.4</u>	<u>0.96</u>	<u>0.63</u>	6.1	1.20
H30.11.26	<u>0.20</u>	<u>1.8</u>	<u>1.0</u>	<u>0.24</u>	<u>0.43</u>	5.7	0.22
H31.2.26	<u>2.8</u>	<u>22</u>	<u>28</u>	<u>3.3</u>	<u>1.1</u>	5.2	-2.13
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表6 地下水調査結果 (C, 3+10) (観測井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)	水位
H26. 6. 17	0.0006	0.007	0.007	<u>0.11</u>	<u>1.8</u>	3.8	0.91
H26. 8. 25	0.0004	ND	ND	<u>0.024</u>	<u>0.41</u>	3.5	1.57
H26. 10. 22	ND	ND	ND	0.010	<u>0.67</u>	3.3	1.36
H26. 12. 10	0.0004	ND	ND	0.008	<u>0.56</u>	3.9	0.97
H27. 2. 18	0.0007	ND	ND	<u>0.014</u>	<u>0.93</u>	5.1	0.70
H27. 4. 22	ND	ND	ND	0.005	<u>0.39</u>	1.2	0.82
H27. 6. 17	0.0009	ND	ND	0.002	<u>0.17</u>	1.2	0.75
H27. 8. 26	ND	ND	ND	0.003	<u>0.19</u>	1.5	1.11
H27. 10. 7	ND	ND	ND	0.001	0.033	1.3	1.02
H27. 12. 10	0.0003	ND	0.002	0.002	<u>0.13</u>	1.5	0.91
H28. 2. 3	0.0010	0.006	0.005	0.002	<u>0.19</u>	1.9	0.84
H28. 4. 7	0.0008	ND	ND	0.002	<u>0.47</u>	2.5	0.75
H28. 6. 9	0.0005	ND	0.001	0.002	<u>0.38</u>	1.2	0.95
H28. 8. 4	ND	ND	ND	0.001	<u>0.18</u>	1.5	1.13
H28. 10. 12	ND	ND	ND	0.001	0.037	2.2	0.85
H28. 12. 15	0.0005	ND	ND	0.001	<u>0.25</u>	2.1	0.68
H29. 2. 6	0.0005	ND	ND	0.003	<u>0.50</u>	2.6	0.62
H29. 4. 10	0.0007	ND	0.001	0.003	<u>0.39</u>	2.8	0.66
H29. 6. 13	0.001	ND	0.001	0.003	<u>0.21</u>	3.2	0.70
H29. 8. 1	0.0003	ND	ND	0.003	<u>0.48</u>	2.9	0.70
H29. 10. 3	0.0005	ND	ND	0.001	<u>0.096</u>	1.2	1.24
H29. 11. 29	0.0002	ND	ND	0.001	<u>0.12</u>	4.2	1.00
H30. 2. 6	0.0009	ND	ND	0.001	<u>0.19</u>	4.8	0.58
H30. 5. 23	0.0005	ND	ND	0.002	<u>0.25</u>	1.4	0.93
H30. 6. 11	ND	ND	ND	0.002	<u>0.44</u>	1.7	0.39
H30. 8. 28	ND	ND	ND	0.002	<u>0.32</u>	2.5	0.60
H30. 10. 18	0.0007	ND	ND	0.002	<u>0.24</u>	2.1	1.22
H30. 11. 27	0.0002	ND	ND	0.001	<u>0.30</u>	1.7	0.23
H31. 2. 27	0.0013	ND	0.001	0.003	<u>0.55</u>	2.3	-1.46
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5	-

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表7 地下水調査結果 (B+40, 2+10)付近浅井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)
H26. 6. 17	<u>0.025</u>	0.040	0.003	<u>0.32</u>	<u>0.77</u>	25
H26. 8. 25	<u>0.0044</u>	0.013	ND	<u>1.0</u>	<u>1.2</u>	20
H26. 10. 22	<u>0.0025</u>	0.009	0.007	<u>0.65</u>	<u>0.56</u>	8.0
H26. 12. 10	<u>0.0021</u>	ND	ND	<u>0.33</u>	<u>0.73</u>	14
H27. 2. 18	<u>0.022</u>	<u>0.066</u>	<u>0.13</u>	<u>0.53</u>	<u>0.54</u>	8.0
H27. 4. 22	<u>0.0066</u>	0.010	ND	<u>0.27</u>	<u>0.48</u>	3.9
H27. 6. 17	<u>0.026</u>	<u>0.054</u>	ND	<u>0.46</u>	<u>0.43</u>	5.7
H27. 10. 20	<u>0.0024</u>	0.005	ND	<u>0.81</u>	<u>1.5</u>	7.3
H27. 12. 11	<u>0.0044</u>	0.009	0.010	<u>0.19</u>	<u>0.34</u>	9.4
H28. 2. 4	0.0014	ND	ND	<u>0.27</u>	<u>0.47</u>	8.0
H28. 4. 7	0.017	<u>0.079</u>	<u>0.020</u>	<u>0.075</u>	<u>0.40</u>	12
H28. 6. 9	<u>0.0055</u>	ND	ND	<u>0.17</u>	<u>0.49</u>	8.4
H28. 8. 4	<u>0.0021</u>	ND	ND	<u>0.10</u>	<u>0.21</u>	3.7
H28. 10. 12	<u>0.0025</u>	0.005	0.003	<u>0.076</u>	<u>0.17</u>	5.6
H28. 12. 14	<u>0.018</u>	0.004	0.003	<u>0.071</u>	<u>0.21</u>	4.6
H29. 2. 7	<u>0.0022</u>	0.005	ND	<u>0.16</u>	<u>0.40</u>	4.8
H29. 4. 11	0.0007	ND	0.001	<u>0.066</u>	<u>0.15</u>	1.4
H29. 6. 13	<u>0.0047</u>	0.008	0.003	<u>0.58</u>	<u>2.6</u>	3.4
H29. 8. 1	<u>0.0086</u>	<u>0.047</u>	0.009	<u>0.013</u>	<u>0.15</u>	3.4
H29. 10. 3	0.0007	ND	ND	<u>0.55</u>	<u>1.3</u>	2.7
H29. 11. 29	0.0008	ND	ND	<u>0.011</u>	<u>0.12</u>	1.6
H30. 2. 7	0.0004	ND	ND	<u>0.12</u>	<u>0.73</u>	2.4
H30. 5. 24	<u>0.0033</u>	0.004	0.001	<u>0.12</u>	<u>0.095</u>	3.8
H30. 6. 12	0.0014	0.005	0.002	<u>0.046</u>	<u>0.096</u>	2.2
H30. 8. 28	0.0006	0.005	ND	<u>0.016</u>	<u>0.089</u>	2.0
H30. 10. 18	ND	ND	ND	0.006	<u>0.063</u>	3.8
H30. 11. 27	ND	ND	ND	<u>0.028</u>	<u>0.18</u>	3.3
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表8 地下水調査結果 (B+40, 2+10)付近深井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質 (油分等)
H27. 4. 21	<u>0.45</u>	<u>3.8</u>	<u>3.2</u>	<u>2.2</u>	<u>2.7</u>	4.4
H27. 6. 17	<u>0.60</u>	<u>3.7</u>	<u>3.9</u>	<u>2.4</u>	<u>2.8</u>	5.3
H27. 10. 20	<u>0.23</u>	<u>2.9</u>	<u>1.9</u>	<u>1.6</u>	<u>3.3</u>	7.5
H27. 12. 11	<u>0.54</u>	<u>3.8</u>	<u>2.0</u>	<u>1.9</u>	<u>2.1</u>	6.9
H28. 2. 4	<u>0.58</u>	<u>4.1</u>	<u>2.0</u>	<u>2.4</u>	<u>2.5</u>	6.9
H28. 4. 7	<u>0.91</u>	<u>2.5</u>	<u>0.75</u>	<u>1.4</u>	<u>2.4</u>	6.7
H28. 6. 9	<u>0.46</u>	<u>3.5</u>	<u>1.0</u>	<u>2.0</u>	<u>2.4</u>	6.0
H28. 8. 4	<u>2.5</u>	<u>0.35</u>	<u>0.065</u>	<u>3.3</u>	<u>1.9</u>	4.5
H28. 10. 12	<u>1.6</u>	<u>2.4</u>	<u>0.72</u>	<u>5.5</u>	<u>4.2</u>	4.6
H28. 12. 15	<u>2.6</u>	0.024	<u>0.011</u>	<u>3.2</u>	<u>2.4</u>	4.8
H29. 2. 7	<u>1.1</u>	<u>0.95</u>	<u>0.30</u>	<u>1.5</u>	<u>1.7</u>	4.7
H29. 4. 11	<u>0.47</u>	<u>2.0</u>	<u>0.67</u>	<u>1.3</u>	<u>1.1</u>	1.4
H29. 6. 13	<u>0.69</u>	<u>2.2</u>	<u>0.54</u>	<u>3.0</u>	<u>2.4</u>	3.2
H29. 8. 1	<u>0.34</u>	<u>3.4</u>	<u>0.91</u>	<u>0.13</u>	<u>2.3</u>	5.3
H29. 10. 3	<u>1.3</u>	<u>1.9</u>	<u>0.38</u>	<u>1.9</u>	<u>1.9</u>	3.1
H29. 11. 29	<u>0.52</u>	<u>2.3</u>	<u>0.67</u>	<u>1.5</u>	<u>1.3</u>	3.6
H30. 2. 7	<u>0.51</u>	<u>1.8</u>	<u>0.36</u>	<u>1.3</u>	<u>1.6</u>	3.2
H30. 5. 24	<u>0.87</u>	<u>2.2</u>	<u>0.21</u>	<u>1.8</u>	<u>1.9</u>	4.2
H30. 6. 12	<u>0.60</u>	<u>3.0</u>	<u>0.19</u>	<u>2.3</u>	<u>1.8</u>	3.7
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表9 地下水調査結果 (C,2+40)付近浅井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)
H26.6.17	<u>0.025</u>	0.040	0.003	<u>0.32</u>	<u>0.77</u>	17
H26.8.25	0.0020	ND	ND	<u>0.037</u>	<u>0.29</u>	6.4
H26.10.22	0.0003	ND	ND	<u>0.057</u>	<u>0.055</u>	5.3
H26.12.10	0.0012	0.005	0.005	<u>0.022</u>	0.031	4.9
H27.2.18	<u>0.0022</u>	0.015	<u>0.053</u>	<u>0.046</u>	0.044	2.0
H27.4.21	ND	0.004	ND	<u>0.021</u>	<u>0.086</u>	3.9
H27.6.18	<u>0.028</u>	<u>0.31</u>	<u>0.16</u>	<u>0.045</u>	<u>0.19</u>	3.3
H27.10.20	ND	ND	0.002	0.007	0.013	5.9
H28.4.6	<u>0.0037</u>	0.019	<u>0.027</u>	<u>0.022</u>	<u>0.064</u>	3.9
H28.6.9	0.0005	0.012	<u>0.038</u>	0.004	0.012	4.4
H28.8.3	0.0013	0.010	<u>0.013</u>	<u>0.016</u>	0.034	2.6
H28.10.12	0.0016	0.009	0.008	0.002	0.009	2.5
H28.12.15	0.0010	ND	0.002	<u>0.014</u>	<u>0.14</u>	2.1
H29.2.6	0.0009	0.004	0.008	<u>0.014</u>	<u>0.054</u>	2.3
H29.4.11	<u>0.0025</u>	0.017	<u>0.026</u>	<u>0.021</u>	<u>0.084</u>	2.2
H29.6.13	0.0016	ND	0.008	<u>0.026</u>	0.020	3.3
H29.8.1	0.0011	ND	0.004	0.009	<u>0.067</u>	4.5
H29.10.3	0.0002	ND	ND	<u>0.015</u>	0.048	3.8
H29.11.29	ND	ND	ND	<u>0.031</u>	<u>0.13</u>	3.4
H30.2.9	<u>0.014</u>	<u>0.41</u>	<u>0.47</u>	<u>0.053</u>	<u>0.23</u>	2.3
H30.5.24	0.0003	ND	0.006	0.005	0.034	3.6
H30.6.12	0.0004	ND	0.003	0.003	<u>0.10</u>	2.7
H30.8.28	ND	ND	0.002	0.001	<u>0.061</u>	2.9
H30.10.18	ND	ND	ND	0.006	<u>0.063</u>	3.8
H30.12.19	<u>0.020</u>	<u>0.12</u>	<u>0.61</u>	<u>0.033</u>	<u>0.058</u>	2.5
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表10 地下水調査結果 (C, 2+40)付近深井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)
H27. 4. 21	<u>1.1</u>	<u>12</u>	<u>24</u>	<u>2.6</u>	<u>3.0</u>	4.8
H27. 6. 18	<u>1.4</u>	<u>13</u>	<u>26</u>	<u>2.4</u>	<u>2.0</u>	6.8
H27. 10. 20	<u>0.32</u>	<u>4.7</u>	<u>8.7</u>	<u>0.80</u>	<u>1.3</u>	7.3
H27. 12. 11	<u>0.75</u>	<u>6.1</u>	<u>11</u>	<u>0.96</u>	<u>1.1</u>	6.7
H28. 2. 4	<u>0.47</u>	<u>6.7</u>	<u>12</u>	<u>0.96</u>	<u>1.3</u>	6.2
H28. 4. 6	<u>1.1</u>	<u>6.7</u>	<u>12</u>	<u>1.0</u>	<u>1.1</u>	7.0
H28. 6. 9	<u>1.5</u>	<u>18</u>	<u>7.9</u>	<u>0.97</u>	<u>1.8</u>	5.4
H28. 8. 3	<u>1.4</u>	<u>12</u>	<u>10</u>	<u>1.0</u>	<u>1.9</u>	4.6
H28. 10. 12	<u>0.76</u>	<u>7.4</u>	<u>11</u>	<u>0.97</u>	<u>1.4</u>	5.5
H28. 12. 14	<u>2.9</u>	<u>17</u>	<u>2.4</u>	<u>0.74</u>	<u>1.7</u>	4.8
H29. 2. 6	<u>0.80</u>	<u>6.3</u>	<u>8.9</u>	<u>0.73</u>	<u>1.2</u>	5.3
H29. 4. 11	<u>0.81</u>	<u>4.5</u>	<u>9.1</u>	<u>0.60</u>	<u>1.1</u>	1.0
H29. 6. 13	<u>0.77</u>	<u>7.3</u>	<u>16</u>	<u>0.89</u>	<u>1.2</u>	4.2
H29. 8. 1	<u>0.69</u>	<u>5.9</u>	<u>14</u>	<u>0.79</u>	<u>1.8</u>	5.9
H29. 10. 3	<u>0.90</u>	<u>5.3</u>	<u>11</u>	<u>0.60</u>	<u>0.86</u>	2.6
H29. 11. 29	<u>0.65</u>	<u>4.5</u>	<u>9.7</u>	<u>0.51</u>	<u>1.1</u>	3.1
H30. 2. 6	<u>0.79</u>	<u>4.8</u>	<u>10</u>	<u>0.49</u>	<u>1.3</u>	3.3
H30. 5. 24	<u>0.32</u>	<u>2.8</u>	<u>6.0</u>	<u>0.40</u>	<u>1.6</u>	3.3
H30. 6. 12	<u>0.19</u>	<u>1.7</u>	<u>5.0</u>	<u>0.39</u>	<u>0.69</u>	2.4
H30. 8. 28	<u>0.20</u>	<u>0.42</u>	<u>0.31</u>	<u>0.19</u>	<u>0.46</u>	2.5
H30. 10. 18	<u>0.29</u>	<u>2.1</u>	<u>6.4</u>	<u>0.42</u>	<u>0.55</u>	5.2
H30. 11. 27	<u>0.32</u>	<u>2.0</u>	<u>6.2</u>	<u>0.40</u>	<u>0.57</u>	5.3
H31. 2. 27	<u>0.54</u>	<u>4.4</u>	<u>16</u>	<u>0.85</u>	<u>0.075</u>	4.5
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)

表11 地下水調査結果 (C, 3+10)付近浅井戸 (揚水井) の推移

調査年月日	クロロエチレン (注5)	1,2-ジクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	1,4-ジオキサン	ノルマルヘキサン 抽出物質(油分等)
H27. 4. 22	0.0005	ND	ND	<u>0.056</u>	<u>0.26</u>	3.8
H27. 6. 17	0.0012	ND	ND	<u>0.018</u>	<u>0.20</u>	2.8
H27. 12. 11	0.0005	ND	0.004	<u>0.049</u>	0.034	5.2
H28. 2. 4	ND	ND	<u>0.018</u>	<u>0.031</u>	0.005	8.2
H28. 4. 7	0.0006	ND	0.008	0.003	0.009	8.8
H28. 6. 9	ND	ND	0.001	0.005	ND	7.5
H28. 8. 4	0.0014	0.009	<u>0.015</u>	0.003	0.018	3.4
H28. 10. 12	ND	ND	0.002	0.005	ND	6.5
H28. 12. 15	0.0012	0.006	<u>0.032</u>	0.002	ND	7.9
H29. 2. 7	0.0008	0.006	0.002	0.002	<u>0.057</u>	14
H29. 4. 11	ND	ND	0.003	0.004	0.008	8.0
H29. 6. 13	ND	ND	ND	0.001	ND	8.8
H29. 10. 3	0.0020	ND	0.001	0.006	<u>0.15</u>	1.8
H29. 11. 29	0.0004	ND	0.008	0.001	0.025	1.4
H30. 2. 7	0.0012	ND	ND	0.002	<u>0.12</u>	1.5
H30. 5. 24	ND	ND	ND	ND	0.015	3.4
H30. 6. 12	ND	ND	ND	ND	<u>0.10</u>	2.5
H30. 8. 28	ND	ND	ND	ND	0.010	2.9
H30. 10. 17	0.0007	ND	0.001	0.002	<u>0.17</u>	3.0
H30. 11. 27	0.0006	ND	0.008	0.001	<u>0.25</u>	2.6
地下水の 環境基準	0.002	0.04	0.01 ^(注4)	0.01	0.05	-
定量下限	0.0002	0.004	0.001	0.001	0.005	0.5

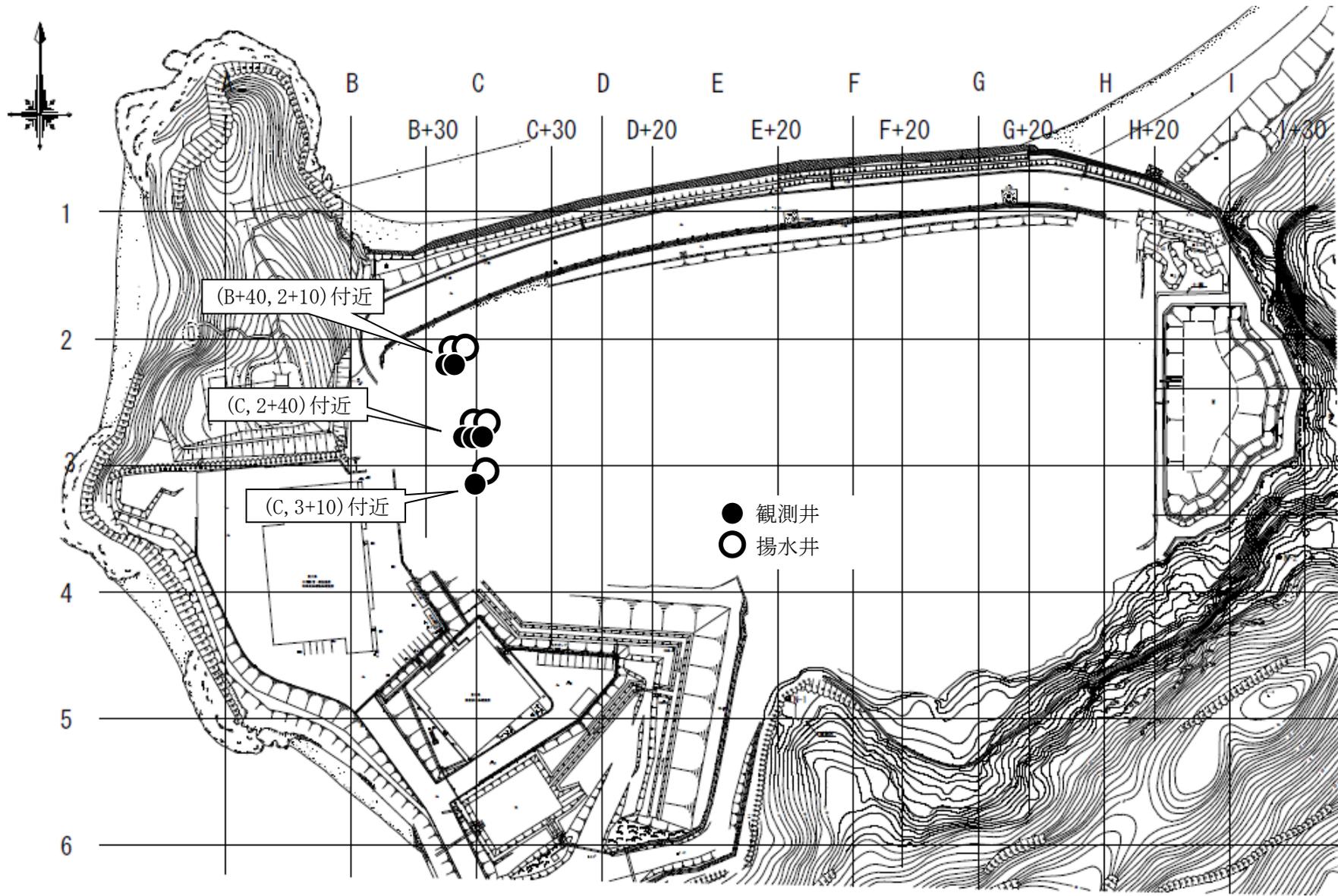
(注1)単位は、mg/Lである。

(注2)ND：定量下限値未満

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

(注4)環境省通知に基づき、基準を変更した。(平成26年11月調査までの基準は0.03mg/Lである。)

(注5)環境省通知に基づき、項目名を変更した。(平成29年3月調査までの項目名は塩化ビニルモノマーである。)



調査地点図

豊島における環境計測（北揚水井）結果について

高度排水処理施設の環境計測は、高度排水処理施設の運転期間中に地下水・浸出水の処理を行うことによる環境面を把握することを目的としている。なお、高度排水処理施設は、北揚水井からの揚水を原水として、地下水・浸出水の浄化を行っている。

今回、平成 30 年 9 月及び 10 月に実施した高度排水処理施設の原水である北揚水井の水質及び高度排水処理施設の処理水の調査結果についてとりまとめた。

1. 調査の概要

(1) 調査日

平成 30 年 9 月 3 日(月)

平成 30 年 10 月 30 日(火)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

高度排水処理施設の原水流入槽（北揚水井）

(3) 検体採取機関及び分析機関

採取機関：環境保健研究センター、廃棄物対策課

分析機関：環境保健研究センター

2. 結果の概要

- ・北揚水井（表 1）、高度排水処理施設（表 2）

高度排水処理施設において処理した処理水は、全ての項目において管理基準を満足していた。

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

検査項目	北揚水井									管理基準値 (参考)	検出下限
	平成15年度			平成16年度			平成17年度				
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均		
水素イオン濃度 (pH)	7.4	7.4	7.4	7.2	7.5	7.3	7.2	7.4	7.3	5.0~9.0	-
生物化学的酸素要求量 (BOD)	56	93	75	32	120	66	28	41	32	30 (日間平均20)	0.5
化学的酸素要求量 (COD)	170	340	255	170	270	208	110	320	185	30 (日間平均20)	0.5
浮遊物質 (SS)	4	15	10	7	17	11	5	7	6	50 (日間平均40)	1
大腸菌群数	0	0	0	4	80	41	2	280	125	(日間平均3000)	-
油分 (1,1,1-トリクロロエチレン抽出物質含有量)	8.7	13	11	4.2	9.0	5.6	1.7	3.5	2.6	35	0.5
フェノール類含有量	ND	0.7	0.36	0.11	1.9	1.0	0.57	3.5	2.2	5	0.02
銅含有量	ND	ND	ND	ND	0.65	0.39	ND	ND	ND	3	0.3
亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	0.8	0.6	ND	ND	ND	2	0.5
溶解性鉄含有量	4.5	5.0	4.8	0.55	1.5	0.88	0.20	4.4	2.3	10	0.05
溶解性マンガン含有量	0.48	0.80	0.64	ND	1.5	1.0	ND	0.7	0.6	10	0.4
クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
窒素含有量	150	150	150	98	150	110	83	180	120	120 (日間平均60)	1
リン含有量	0.2	0.4	0.3	0.2	0.5	0.3	0.1	0.6	0.4	16 (日間平均8)	0.1
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	0.01	0.01	ND	0.03	0.02	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02
トリス(1,2-ジクロロエチレン)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
ベンゼン	0.19	1.3	0.75	0.13	0.66	0.34	0.08	1.4	0.49	0.1	0.01
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	16	22	19	13	21	16	12	23	15	230	0.1
ふっ素及びその化合物	0.9	1.0	1.0	ND	2.3	1.2	0.9	1.3	1.0	15	0.8
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	40	57	49	40	55	44	30	68	44	100	10
1,4ジオキサン	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0.5	0.05
ニッケル	0.01	0.17	0.09	0.06	0.30	0.17	0.06	0.08	0.07	0.1	0.05
モリブデン	ND	ND	ND	ND	0.10	0.08	ND	ND	ND	-	0.07
全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4
ウラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
ダイオキシン類	0.7	1.9	1.3	0.29	1.8	1.0	0.58	2.8	1.4	10	-

(注1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2) ND : 検出せず

(注3) 環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成13年度：H13.7.11、H14.2.1実施、平成14年度：H14.10.21、H15.3.24実施、平成15年度：H15.10.16、
H16.2.5実施、平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施、平成17年度：H17.5.10、
H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施、平成26年度：H26.5.13、H26.7.29、H26.10.16、H27.2.16実施、
平成27年度：H27.5.19、H27.7.27、H27.11.25、H28.2.9実施、平成28年度：H28.5.24、H28.7.25、H28.11.15、
H29.2.7実施

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

検査項目	北揚水井							管理基準値 (参考)	検出下限
	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21	H21.10.27	H22.10.20	H23.10.20	H24.11.1		
水素イオン濃度 (pH)	7.0	7.2	7.2	7.4	7.1	7.8	7.2	5.0~9.0	-
生物化学的酸素要求量 (BOD)	17	96	41	66	63	37	ND	30 (日間平均20)	0.5
化学的酸素要求量 (COD)	110	370	250	350	220	77	100	30 (日間平均20)	0.5
浮遊物質 (SS)	7	7	10	10	4	20	3	50 (日間平均40)	1
大腸菌群数	17	44	180	20	20	1	0	(日間平均3000)	-
油分 (ノマルヘキサン抽出物質含有量)	1.5	3.1	2.5	1.8	3.9	0.8	0.9	35	0.5
フェノール類含有量	0.14	0.10	0.02	ND	0.02	0.14	0.13	5	0.02
銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5
溶解性鉄含有量	0.64	1.2	ND	0.35	0.46	0.19	0.26	10	0.05
溶解性マンガン含有量	0.6	0.8	0.7	0.5	0.5	0.7	0.6	10	0.4
クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
窒素含有量	80	220	140	140	230	27	23	120 (日間平均60)	1
リン含有量	0.4	0.6	0.5	0.6	0.8	0.3	0.6	16 (日間平均8)	0.1
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	0.01	ND	0.02	ND	0.1	0.01
有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	ND	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
ベンゼン	0.14	0.99	0.73	0.49	0.67	ND	0.89	0.1	0.01
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	10	22	17	17	16	10	9.4	230	0.1
ふっ素及びその化合物	1.1	1.1	ND	1.0	0.9	ND	ND	15	0.8
アゾ、アゾノ化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	71	85	99	110	140	ND	23	100	10
1,4ジオキサン							0.07	0.5	0.05
ニッケル	0.05	0.06	ND	0.05	ND	ND	ND	0.1	0.05
モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
全マンガン	0.6	0.8	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	-	0.4
ウラン	0.0008	0.0008	0.0008	0.0012	0.0008	0.0006	0.0003	-	0.0001
ダイオキシン類	1.4	0.25	0.068	0.058	0.63	23	0.57	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/ℓ)を除いて、mg/ℓである。

(注2)ND：検出せず

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成13年度：H13.7.11、H14.2.1実施、平成14年度：H14.10.21、H15.3.24実施、平成15年度：H15.10.16、
H16.2.5実施、平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施、平成17年度：H17.5.10、
H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施、平成26年度：H26.5.13、H26.7.29、H26.10.16、H27.2.16実施、
平成27年度：H27.5.19、H27.7.27、H27.11.25、H28.2.9実施、平成28年度：H28.5.24、H28.7.25、H28.11.15、
H29.2.7実施

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

検査項目	北揚水井										管理基準値 (参考)	検出下限
	平成25年度	平成26年度			平成27年度			平成28年度				
	H25.11.18	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均		
水素イオン濃度 (pH)	7.2	7.3	7.5	7.4	7.1	7.6	7.4	7.3	7.7	7.5	5.0~9.0	-
生物化学的酸素要求量 (BOD)	4.1	8.0	31	18	15	90	43	28	58	45	30 (日間平均20)	0.5
化学的酸素要求量 (COD)	41	63	170	120	77	180	140	110	160	140	30 (日間平均20)	0.5
浮遊物質 (SS)	7	1	14	9	6	120	48	42	95	59	50 (日間平均40)	1
大腸菌群数	0	0	84	22	270	1900	770	58	94000	770	(日間平均3000)	-
油分(ノマルヘキサン抽出物質含有量)	1.8	ND	2.4	1.0	ND	4.0	2.7	ND	3.2	2.5	35	0.5
フェノール類含有量	0.02	0.02	0.09	0.06	0.04	0.21	0.11	0.04	0.17	0.10	5	0.02
銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5
溶解性鉄含有量	0.10	0.15	0.32	0.21	0.10	0.23	0.18	0.15	0.20	0.17	10	0.05
溶解性マンガン含有量	ND	0.5	1.7	1.0	ND	2.8	2.1	ND	3.9	2.3	10	0.4
クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
窒素含有量	16	12	38	24	15	36	21	14	26	18	120 (日間平均60)	1
有機含有量	ND	ND	1.1	0.4	0.4	1.2	0.9	0.8	1.1	1.0	16 (日間平均8)	0.1
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物	ND	ND	0.02	0.01	0.01	0.02	0.02	0.01	0.02	0.02	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
P C B	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	0.007	ND	0.04	0.004						
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
ベンゼン	0.02	0.02	0.27	0.14	0.03	0.26	0.12	0.04	0.57	0.20	0.1	0.01
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	3.8	4.4	12	8.7	5.8	10	8.7	7.4	11	9.4	230	0.1
ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	ND	ND	20	15	ND	19	19	ND	ND	ND	100	10
1,4ジオキサン	ND	0.11	0.46	0.29	0.15	0.32	0.25	0.20	0.33	0.27	0.5	0.05
ニッケル	0.06	ND	ND	ND	ND	0.10	0.10	ND	ND	ND	0.1	0.05
モリブデン	0.07	ND	-	0.07								
全マンガン	ND	0.6	0.6	0.6	-	-	-	1.9	1.9	1.9	-	0.4
ウラン	0.0017	0.0013	0.0013	0.0013	0.0025	0.0025	0.0025	0.0070	0.0070	0.0070	-	0.0001
ダイオキシン類	4.7	3.0	6.6	4.3	3.0	44	24	22	350	120	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2) ND : 検出せず

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成13年度 : H13.7.11、H14.2.1実施、平成14年度 : H14.10.21、H15.3.24実施、平成15年度 : H15.10.16、
H16.2.5実施、平成16年度 : H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施、平成17年度 : H17.5.10、
H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施、平成26年度 : H26.5.13、H26.7.29、H26.10.16、H27.2.16実施、
平成27年度 : H27.5.19、H27.7.27、H27.11.25、H28.2.9実施、平成28年度 : H28.5.24、H28.7.25、H28.11.15、
H29.2.7実施

表1 豊島における環境計測結果（北揚水井）

検査項目	北海岸浸出水						管理基準値 (参考)	検出下限
	平成29年度			平成30年度				
	最小	最大	平均	H30. 6. 26	H30. 9. 3	H30. 10. 30		
水素イオン濃度 (pH)	7.3	7.6	7.4	7.5	7.4	7.1	5.0~9.0	-
生物化学的酸素要求量 (BOD)	18	44	32	<u>45</u>	<u>37</u>	-	30 (日間平均20)	0.5
化学的酸素要求量 (COD)	56	130	140	<u>90</u>	<u>120</u>	<u>89</u>	30 (日間平均20)	0.5
浮遊物質 (SS)	37	72	48	45	<u>150</u>	<u>84</u>	50 (日間平均40)	1
大腸菌群数	0	150	770	850	0	0	(日間平均3000)	-
油分 (ノマルキサン抽出物質含有量)	ND	5.0	2.4	3.2	2.6	2.0	35	0.5
フェノール類含有量	0.04	0.06	0.05	0.04	0.07	ND	5	0.02
銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5
溶解性鉄含有量	0.09	0.17	0.12	0.13	0.12	0.23	10	0.05
溶解性マンガン含有量	ND	6.4	5.6	5.5	10	10	10	0.4
クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
窒素含有量	97	110	102	100	<u>130</u>	<u>130</u>	120 (日間平均60)	1
磷含有量	0.3	1.3	0.7	0.2	0.5	0.1	16 (日間平均8)	0.1
カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
P C B	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.003	0.0005
トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1 ^(注3)	0.03
テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	0.01
ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.2	0.02
四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	-	1	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	-	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.02	0.002
チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.06	0.006
シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.03	0.003
チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.2	0.02
ベンゼン	0.05	0.19	0.13	0.06	<u>1.1</u>	<u>0.34</u>	0.1	0.01
セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	5.2	8.9	7.1	7.7	6.6	7.0	230	0.1
ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	0.9	1	-	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	ND	ND	ND	43	46	57	100	10
1,4ジオキサン	0.16	0.30	0.24	0.20	0.15	0.16	0.5	0.05
ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.07
全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	0.4
ウラン	-	-	-	-	0.0029	-	-	0.0001
ダイオキシン類	4	38	19	9.9	3.2	5.1	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成29年度：H29.5.23、H29.7.26、H29.11.29、H30.2.13実施

表2 豊島における環境計測結果（高度排水処理施設）

検査項目	高度排水処理施設									管理基準値	検出下限	
	平成15年度			平成16年度			平成17年度					
	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	6.6	7.2	6.8	7.0	7.1	7.1	6.6	7.1	6.9	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	3.0	3.6	3.4	1.3	3.1	2.4	0.5	1.6	0.9	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.7	13	9.2	1.1	10	4.4	2.4	7.8	4.9	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	ND	1	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	0	24	8	0	2	1	0	28	8	(日間平均3000)	-
	油分 (ノマルヘキサン抽出物質含有量)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	35	0.5
	フェノール類含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	ND	ND	ND	0.13	0.07	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	7	45	23	4	20	10	2	22	13	120 (日間平均60)	1
	リン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16 (日間平均8)	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03
シアン化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機リン化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
六価クロム及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
P C B		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03
テトラクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
四塩化炭素		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
チウラム		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
シマジン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
ベンゼン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
セレン及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		7.4	15	11	10	18	15	10	15	13	230	0.1
ふっ素及びその化合物	0.8	1.0	0.9	ND	ND	ND	ND	1.1	0.9	15	0.8	
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物	ND	41	17	ND	18	12	11	20	14	100	10	
1,4ジオキサン	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0.5	0.05	
その他	ニッケル	ND	0.05	0.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0	0.014	0.0047	0.00012	0.019	0.0050	0.00062	9.1	2.3	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/c m³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

平成15年度：H15.7.22、H15.10.16、H16.2.5実施

平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施

平成17年度：H17.5.10、H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施

表2 豊島における環境計測結果（高度排水処理施設）

	検査項目	高度排水処理施設							管理基準値	検出下限	
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度			
		H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21	H21.10.27	H22.10.20	H23.10.20	H24.11.1			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	6.7	6.6	6.4	7.0	6.8	6.7	6.8	5.0~9.0	-	
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	0.6	1.0	0.5	ND	ND	0.8	0.8	30 (日間平均20)	0.5	
	化学的酸素要求量 (COD)	0.7	12	4.0	12	4.6	3.9	4.0	30 (日間平均20)	0.5	
	浮遊物質 (SS)	1	ND	ND	ND	1	ND	2	50 (日間平均40)	1	
	大腸菌群数	0	0	0	0	2	0	0	(日間平均3000)	-	
	油分 (リキド抽出物質含有量)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	35	0.5	
	フェノール類含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02	
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5	
	溶解性鉄含有量	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	10	0.05	
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4	
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
	窒素含有量	3	33	17	18	36	27	8	120 (日間平均60)	1	
	磷含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16 (日間平均8)	0.1	
	健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
		シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
有機磷化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
六価クロム及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05	
砒素及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005	
アルキル水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
P C B		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005	
トリクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03	
テトラクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ジクロロメタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
四塩化炭素		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
1,2-ジクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
1,1-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02	
トリス(1,2-ジクロロエチレン)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04	
1,1,1-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
1,1,2-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
1,3-ジクロロプロペン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
チウラム		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
シマジン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003	
チオベンカルブ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
ベンゼン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
セレン及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ほう素及びその化合物		6.3	12	8.8	11	10	9.3	4.9	230	0.1	
ふっ素及びその化合物		ND	1.0	ND	0.9	0.8	ND	ND	15	0.8	
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物		ND	24	17	10	21	26	ND	100	10	
1,4ジオキサン								ND	0.5	0.05	
その他	ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05	
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07	
	全マンガン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.4	
	ウラン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0001	
	ダイオキシン類	0.00013	0.00060	0.00035	0.00037	0	0.00081	0.0026	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表2 豊島における環境計測結果（高度排水処理施設）

	検査項目	高度排水処理施設					管理基準値	検出下限		
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			平成30年度	
		H25. 11. 18	H26. 11. 16	H27. 11. 25	H28. 11. 15	H29. 11. 29			H30. 10. 30	
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	6.9	7.2	7.2	7.2	7.5	7.0	5.0~9.0	-	
	生物学的酸素要求量 (BOD)	0.7	2.7	1.4	1.4	1.1	-	30 (日間平均20)	0.5	
	化学的酸素要求量 (COD)	4.2	12	4.7	5.5	2.6	4.2	30 (日間平均20)	0.5	
	浮遊物質 (SS)	ND	ND	1	ND	ND	ND	50 (日間平均40)	1	
	大腸菌群数	0	0	23	84	0	0	(日間平均3000)	-	
	油分(ノルマヘキサン抽出物質含有量)	ND	ND	ND	0.6	ND	ND	35	0.5	
	フェノール類含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02	
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5	
	溶解性鉄含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.05	
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4	
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
	窒素含有量	ND	18	6	36	25	40	120 (日間平均60)	1	
	リン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16 (日間平均8)	0.1	
	健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
シアン化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
有機リン化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1	
六価クロム及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05	
砒素及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005	
アルキル水銀化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005	
P C B		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005	
トリクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1 ^(注3)	0.03	
テトラクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ジクロロメタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
四塩化炭素		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
1,2-ジクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004	
1,1-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02	
トリス-1,2-ジクロロエチレン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04	
1,1,1-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3	
1,1,2-トリクロロエタン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
1,3-ジクロロプロペン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002	
チウラム		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006	
シマジン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003	
チオベンカルブ		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02	
ベンゼン		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
セレン及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
ほう素及びその化合物		4.0	8.9	6.2	6.0	3.2	4.0	230	0.1	
ふっ素及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8	
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物 及び硝酸化合物		ND	ND	ND	ND	25	12	100	10	
1,4ジオキサン		ND	ND	0.05	0.05	ND	ND	0.5	0.05	
その他		ニッケル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
		モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.4	
	ウラン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.0001	
	ダイオキシン類	0	0	0	0	0.000063	0.00020	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)



図 豊島における環境計測（高度排水処理施設）調査地点

豊島における環境計測（沈砂池）結果について

豊島の沈砂池の環境計測は、放流による環境面を把握することを目的としている。今回、平成30年10月及び11月に実施した沈砂池の水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の概要

(1) 調査日

平成30年7月12日(木) (沈砂池1)

平成30年11月14日(水) (沈砂池2)

(2) 調査地点（調査地点図参照）

沈砂池1及び沈砂池2

(3) 検体採取機関及び分析機関

廃棄物対策課、環境保健研究センター

2 結果の概要（表1及び表2）

- ・検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限	
	H16.5.17	H16.7.5	H16.10.5	H18.5.30	H18.6.30	H18.7.28	H18.9.14	H19.6.5			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.2	<u>9.4</u>	7.0	8.9	8.1	8.5	8.2	9.1 ¹⁾	5.0~9.0	-
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	3.1	2.8	2.3	1.2	1.5	1.0	0.6	1.9	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.2	12	5.3	6.5	3.0	2.4	3.1	14	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	9	16	8	2	2	4	2	2	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	0	0	4	-	-	-	-	0	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	ND	0.30	ND	0.20	0.20	0.11	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	1	ND	1.7	3	2	ND	ND	1	120 (日間平均60)	1
	磷含有量	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	シアン化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
	P C B	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロパン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	ND	0.2	0.1	-	-	-	-	0.2	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	-	-	0.0001	-	0.0001
	ダイオキシン類	3.2	3.3	<u>15</u>	0.20	1.4	1.2	0.33	0.40	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分地排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

	検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限
		H19.7.19	H19.10.4	H20.2.12	H20.4.4	H20.5.1	H20.6.5	H20.9.10	H20.10.29		
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.9	8.8	7.2	8.1	9.1 ¹⁾	7.5	8.8	8.7	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	1.9	1.0	2.2	0.5	1.1	0.9	1.3	0.8	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.3	6.8	4	2.6	3.2	5.2	5.8	4.3	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	2	1	2	2	1	1	ND	1	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	-	-	-	19	-	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	-	-	-	-	ND	-	-	35	0.5
	フェノール類	-	-	-	-	-	ND	-	-	5	0.02
	銅含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.05	ND	0.1	0.16	0.10	0.10	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	10	0.4
	クロム含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	2	0.2
	窒素含有量	ND	1	1	1	ND	ND	ND	ND	120 (日間平均60)	1
	磷含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	シアン化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	ジス-1,2-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
	チウラム	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
	シマジン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	100	10	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	ND	-	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	0.0003	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	1.6	0.081	1.8	8.3	1.3	0.41	0.060	0.012	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/ℓ) を除いて、mg/ℓである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

	検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限
		H21.3.24	H21.5.12	H21.7.16	H21.7.29	H21.8.19	H21.12.9	H22.4.8	H22.6.2		
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	8.0	8.9	9.0	8.0	8.4	7.7	7.9	8.7	5.0~9.0	-
	生物化学的酸素要求量(BOD)	0.6	0.7	0.8	0.7	0.5	1.1	ND	2.2	30(日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量(COD)	4.7	5.0	5.6	4.8	3.6	4.1	4.4	5.5	30(日間平均20)	0.5
	浮遊物質(SS)	2	3	2	ND	ND	ND	ND	ND	50(日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	-	-	0	-	-	1	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	-	-	-	ND	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	-	-	-	-	ND	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	-	-	-	-	ND	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.08	ND	ND	ND	0.07	0.08	0.16	0.20	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	-	-	ND	-	-	ND	10	0.4
	クロム含有量	-	-	-	-	ND	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	1	1	ND	ND	ND	ND	5	ND	120(日間平均60)	1
	磷含有量	-	-	-	-	ND	-	-	ND	16(日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	シアン化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機磷化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	1	0.1
	六価クロム化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
	1,1,2-ジクロロエチレン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.02	0.002
	チウラム	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.06	0.006
	シマジン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	-	-	ND	-	-	ND	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	ND	-	-	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	0.0002	-	-	0.0002	-	0.0001
	ダイオキシン類	1.1	4.2	0.14	2.2	0.15	0.57	0.58	1.0	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類(pg-TEQ/0)を除いて、mg/0である。

(注2)ND: 検出せず

(注3)下線: 管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限	
	H22.7.6	H22.10.14	H23.3.17	H23.5.19	H23.6.3	H23.6.23	H23.7.14	H23.7.25			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.5	7.4	6.8	7.7	6.9	7.4	7.5	7.6	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	0.7	1.2	0.9	1.0	ND	0.5	ND	ND	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.6	5.8	5.5	7.2	4.3	8.0	9.8	12	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	3	1	ND	ND	3	3	3	3	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	-	-	-	-	-	2	(日間平均3000)	-
	油分 (n-ヘキサン抽出物質)	-	-	-	-	-	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	-	-	-	-	-	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	-	-	-	-	-	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.15	0.15	0.13	ND	0.15	ND	0.29	0.10	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	-	-	-	-	-	ND	10	0.4
	クロム含有量	-	-	-	-	-	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	1	5	1	2	1	3	5	7	120 (日間平均60)	1
	炭素含有量	-	-	-	-	-	-	-	ND	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	シアン化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	0.1	0.01
	有機リン化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	1	0.1
	六価クロム化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	トリス-1,2-ジクロロエチレン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
	チウラム	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
	シマジン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	0.9	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	-	-	-	-	-	ND	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	-	-	0.0016	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.41	0.70	0.22	2.9	2.1	5.1	0.69	0.083	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H23.9.8	H23.9.18	H23.9.26	H23.10.18	H23.10.31	H23.11.24	H24.6.4	H24.6.22			
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	7.6	7.7	7.1	7.3	7.6	8.1	8.3	8.0	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量（BOD）	0.5	0.9	0.8	ND	ND	0.9	ND	ND	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	8.0	7.2	6.2	12	11	11	18	9.7	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（SS）	3	3	4	4	1	ND	4	3	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	-	-	-	-	-	0	-	-	（日間平均3000）	-
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	-	-	-	-	-	ND	-	-	35	0.5
	フェノール類	-	-	-	-	-	ND	-	-	5	0.02
	銅含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.28	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.20	0.16	0.16	0.29	0.47	1.8	ND	0.20	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	10	0.4
	クロム含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	2	0.2
	窒素含有量	3	1	2	7	7	7	5	4	120（日間平均60）	1
	磷含有量	-	-	-	-	-	ND	-	-	16（日間平均8）	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1
シアン化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機磷化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	1	0.1
六価クロム化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.5	0.05
砒素及びその化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	検出されないこと	0.0005
P C B		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
テトラクロロエチレン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
ジクロロメタン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
四塩化炭素		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
トリス(1,2-ジクロロエチレン)		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		-	-	-	-	-	ND	-	-	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
チウラム		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
シマジン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.03	0.003
チオベンカルブ		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
ベンゼン		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
セレン及びその化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		-	-	-	-	-	1.9	-	-	230	0.1
ふっ素及びその化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物		-	-	-	-	-	ND	-	-	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	ND	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.19	3.8	0.58	2.8	2.4	6.0	0.70	10	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H24.7.10	H24.10.1	H25.1.24	H25.3.21	H25.6.3	H25.7.8	H25.9.10	H25.9.20			
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	8.0	8.2	7.4	8.2	8.7	8.1	7.6	7.6	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量(BOD)	ND	ND	1.1	ND	0.7	0.5	ND	1.3	30(日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量(COD)	8.6	5.8	4.2	7.6	8.4	5.8	6.8	18	30(日間平均20)	0.5
	浮遊物質(SS)	1	ND	ND	ND	ND	1	3	ND	50(日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	0	-	-	-	-	0	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	-	ND	-	-	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	-	-	ND	-	-	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	0.13	ND	ND	0.11	0.10	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	ND	-	-	-	-	0.5	10	0.4
	クロム含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	4	ND	1	3	2	2	2	10	120(日間平均60)	1
	磷含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	16(日間平均8)	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.03
シアン化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
六価クロム化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
PCB		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1 ^(注5)	0.03
テトラクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
四塩化炭素		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	1	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
チウラム		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
シマジン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
ベンゼン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
セレン及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	1.5	230	0.1
ふっ素及びその化合物	-	-	ND	-	-	-	-	ND	15	0.8	
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	ND	-	-	-	-	ND	100	10	
1,4-ジオキサン	-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.07
	全マンガン	-	-	ND	-	-	-	-	0.5	-	0.4
	ウラン	-	-	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	5.8	4.6	6.1	7.9	0.29	0.68	9.5	8.5	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND: 検出せず

(注3)下線: 管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/lである。)

表1 豊島における環境計測結果(沈砂池1)

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H25.10.28	H26.1.14	H26.3.17	H26.4.8	H26.5.22	H26.7.14	H26.8.19	H26.9.8			
生活環境項目	水素イオン濃度(pH)	7.8	8.0	8.1	8.4	8.4	8.0	7.8	8.2	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量(BOD)	ND	0.7	ND	1.3	ND	0.5	ND	ND	30(日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量(COD)	12	8.5	8.7	7.1	9.4	7.4	5.9	6.4	30(日間平均20)	0.5
	浮遊物質(SS)	3	ND	ND	ND	3	1	1	2	50(日間平均40)	1
	大腸菌群数	1	-	-	-	-	-	-	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	ND	-	-	-	-	-	-	-	35	0.5
	フェノール類	0.06	-	-	-	-	-	-	-	5	0.02
	銅含有量	ND	-	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	0.2	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	0.15	0.05	0.18	0.05	0.05	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	0.7	-	-	-	-	-	-	-	10	0.4
	クロム含有量	ND	-	-	-	-	-	-	-	2	0.2
	窒素含有量	6	5	4	2	2	1	2	2	120(日間平均60)	1
	燐含有量	ND	-	-	-	-	-	-	-	16(日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	シアン化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	P C B	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	1	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロパン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	チウラム	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	シマジン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	0.8	-	-	-	-	-	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	15	0.8
	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	-	-	-	-	-	-	-	100	10
1,4-ジオキサン	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	ウラン	0.0019	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.43	1.2	6.0	0.79	9.9	1.5	0.041	0.12	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類(pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND: 検出せず

(注3)下線: 管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果

検査項目	沈砂池1								管理基準値	検出下限	
	H26.10.23	H26.11.13	H26.12.10	H27.2.3	H27.3.23	H27.4.21	H27.5.26	H27.7.8			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.9	8.3	8.0	8.1	8.2	8.2	8.7	8.3	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	ND	ND	0.7	ND	ND	1.1	ND	ND	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	5.8	6.4	6.2	4.9	5.7	4.1	5.0	5.2	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	ND	ND	2	ND	2	ND	ND	ND	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	0	-	-	-	-	-	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	ND	-	-	-	-	-	-	35	0.5
	フェノール類	-	ND	-	-	-	-	-	-	5	0.02
	銅含有量	-	ND	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	ND	ND	0.07	0.07	0.14	0.14	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	ND	-	-	-	-	-	-	10	0.4
	クロム含有量	-	ND	-	-	-	-	-	-	2	0.2
	窒素含有量	2	2	2	2	2	2	1	1	120 (日間平均60)	1
	燐含有量	-	ND	-	-	-	-	-	-	16 (日間平均8)	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	シアン化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.1
	六価クロム化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	0.0005
	P C B	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
	テトラクロロエチレン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ジクロロメタン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	四塩化炭素	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	-	ND	-	-	-	-	-	-	1	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	-	ND	-	-	-	-	-	-	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロパン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.02	0.002
	チウラム	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.06	0.006
	シマジン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.03	0.003
	チオベンカルブ	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.2	0.02
	ベンゼン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	-	0.5	-	-	-	-	-	-	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	-	ND	-	-	-	-	-	-	100	10	
1,4-ジオキサン	-	ND	-	-	-	-	-	-	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.16	ND	-	0.07
	全マンガン	-	ND	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	ウラン	-	0.0010	-	-	-	-	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.44	0.95	2.1	0.97	2.5	1.4	0.018	0.18	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表1 豊島における環境計測結果

検査項目	沈砂池1									管理基準値	検出下限
	H27.7.21	H27.9.28	H27.10.28	H28.1.4	H28.5.18	H28.6.27	H28.7.19	H28.9.29			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.0	8.6	8.9	8.0	8.5	8.0	8.4	7.7	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	1.7	ND	1.2	1.7	1.0	2.0	1.8	0.9	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	4.0	7.2	7.5	0.5	5.4	4.3	5.7	3.0	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	5	3	2	3	1	2	1	1	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	10	-	-	53	-	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	-	ND	-	-	ND	-	-	35	0.5
	フェノール類	-	-	ND	-	-	ND	-	-	5	0.02
	銅含有量	-	-	ND	-	-	ND	-	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	0.10	ND	ND	0.16	0.06	0.11	ND	0.21	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	ND	-	-	ND	-	-	10	0.4
	クロム含有量	-	-	ND	-	-	ND	-	-	2	0.2
	窒素含有量	2	1	1	2	ND	ND	1	ND	120 (日間平均60)	1
	燐含有量	-	-	ND	-	-	ND	-	-	16 (日間平均8)	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.03
シアン化合物		-	-	ND	-	-	ND	-	-	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物		-	-	ND	-	-	-	-	-	1	0.1
六価クロム化合物		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.5	0.05
砒素及びその化合物		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		-	-	ND	-	-	ND	-	-	検出されないこと	0.0005
P C B		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1 ^(注5)	0.03
テトラクロロエチレン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
ジクロロメタン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.2	0.02
四塩化炭素		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	1	0.02
シス-1,2-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロパン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.02	0.002
チウラム		-	-	ND	-	-	-	-	-	0.06	0.006
シマジン		-	-	ND	-	-	-	-	-	0.03	0.003
チオベンカルブ		-	-	ND	-	-	-	-	-	0.2	0.02
ベンゼン		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
セレン及びその化合物		-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		-	-	0.5	-	-	0.1	-	-	230	0.1
ふっ素及びその化合物		-	-	ND	-	-	ND	-	-	15	0.8
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		-	-	ND	-	-	ND	-	-	100	10
1,4-ジオキサン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	0.5	0.05	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	ND	-	-	ND	-	-	-	0.4
	ウラン	-	-	0.0007	-	-	0.0001	-	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	1.6	3.2	1.9	1.2	1.2	3.8	3.0	6.8	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/lである。)

表1 豊島における環境計測結果（沈砂池1）

	検査項目	沈砂池1					管理基準値	検出下限	
		H29.7.18	H29.10.24	H29.11.21	H30.7.12	H30.10.11			
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	7.7	7.8	6.7	7.7	7.8	5.0～9.0	-	
	生物化学的酸素要求量（BOD）	2.6	1.6	1.4	3.2	4.3	30（日間平均20）	0.5	
	化学的酸素要求量（COD）	5.3	4.0	3.0	5.0	5.0	30（日間平均20）	0.5	
	浮遊物質（SS）	2	3	1	8	1	50（日間平均40）	1	
	大腸菌群数	-	-	0	0	-	（日間平均3000）	-	
	油分（n-ヘキサン抽出物質）	-	-	ND	1.3	-	35	0.5	
	フェノール類	-	-	ND	ND	-	5	0.02	
	銅含有量	-	-	ND	ND	-	3	0.3	
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2	
	溶解性鉄含有量	ND	0.08	ND	1.0	ND	10	0.05	
	溶解性マンガン含有量	-	-	ND	ND	-	10	0.4	
	クロム含有量	-	-	ND	ND	-	2	0.2	
	窒素含有量	ND	ND	ND	2.7	ND	120（日間平均60）	1	
	燐含有量	-	-	ND	ND	-	16（日間平均8）	0.1	
健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	ND	ND	-	0.03	0.003	
	シアン化合物	-	-	ND	ND	-	1	0.1	
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01	
	有機燐化合物	-	-	ND	ND	-	1	0.1	
	六価クロム化合物	-	-	ND	ND	-	0.5	0.05	
	砒素及びその化合物	-	-	ND	ND	-	0.1	0.01	
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	-	-	ND	ND	-	0.005	0.0005	
	アルキル水銀化合物	-	-	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005	
	P C B	-	-	ND	ND	-	0.003	0.0005	
	トリクロロエチレン	-	-	ND	ND	-	0.1 ^(注5)	0.03	
	テトラクロロエチレン	-	-	ND	ND	-	0.1	0.01	
	ジクロロメタン	-	-	ND	ND	-	0.2	0.02	
	四塩化炭素	-	-	ND	ND	-	0.02	0.002	
	1,2-ジクロロエタン	-	-	ND	ND	-	0.04	0.004	
	1,1-ジクロロエチレン	-	-	ND	ND	-	1	0.02	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	-	-	ND	ND	-	0.4	0.04	
	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	ND	ND	-	3	0.3	
	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	ND	ND	-	0.06	0.006	
	1,3-ジクロロプロパン	-	-	ND	ND	-	0.02	0.002	
	チウラム	-	-	ND	ND	-	0.06	0.006	
	シマジン	-	-	ND	ND	-	0.03	0.003	
	チオベンカルブ	-	-	ND	ND	-	0.2	0.02	
	ベンゼン	-	-	ND	ND	-	0.1	0.01	
	セレン及びその化合物	-	-	ND	ND	-	0.1	0.01	
	ほう素及びその化合物	-	-	ND	ND	-	230	0.1	
	ふっ素及びその化合物	-	-	ND	ND	-	15	0.8	
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	ND	ND	-	100	10	
	1,4-ジオキサン	-	-	ND	ND	-	0.5	0.05	
	その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
		全マンガン	-	-	ND	ND	-	-	0.4
ウラン		-	-	0.0001	0.0008	-	-	0.0001	
ダイオキシン類		0.098	0.89	0.00047	0.89	0.015	10	-	

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/l) を除いて、mg/lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

(注5)環境省通知に基づき、排水基準を変更した。(平成27年10月調査までの排水基準値は0.3mg/Lである。)

表2 豊島における環境計測結果（沈砂池2）

検査項目	沈砂池2								管理基準値	報告下限	
	H16.5.17	H16.7.9	H16.7.13	H18.5.30	H18.9.14	H19.2.27	H19.6.27	H19.9.21			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.5	<u>9.5</u>	8.3	8.6	7.3	7.4	8.2	8.9	5.0~9.0	-
	生物学的酸素要求量 (BOD)	2.8	5.1	-	1.4	1.6	3.5	3.9	2.9	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	5.4	11	-	4.6	7.3	5.6	6.7	16	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質(S S)	8	<u>110</u>	5	4	3	2	2	7	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	42	0	-	-	-	0	0	-	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	35	0.5
	フェノール類	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	3	0.3
	亜鉛含有量	1.0	ND	-	ND	ND	2.7	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	1.3	-	0.05	0.47	0.06	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	0.4	ND	-	-	-	ND	ND	-	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	2	0.2
	窒素含有量	2	1.5	-	3	2	1	1	1	120 (日間平均60)	1
	リン含有量	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	16 (日間平均8)	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.1
シアン化合物		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	0.06	-	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	1	0.1
六価クロム化合物		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.5	0.05
砒素及びその化合物		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005
P C B		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.3	0.03
テトラクロロエチレン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.1	0.01
ジクロロメタン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.2	0.02
四塩化炭素		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.2	0.02
1,1,2-ジクロロエチレン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.02	0.002
チウラム		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.06	0.006
シマジン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.03	0.003
チオベンカルブ		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.2	0.02
ベンゼン		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.1	0.01
セレン及びその化合物		ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	0.1	0.01
ほう素及びその化合物	0.1	8.2	-	-	-	ND	ND	-	230	0.1	
ふっ素及びその化合物	ND	ND	-	-	-	ND	0.18	-	15	0.8	
アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	ND	-	-	-	ND	ND	-	100	10	
その他	モリブデン	ND	ND	-	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	ND	ND	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	0.0007	0.0008	-	-	0.0001
	ダイオキシソキソソ類	6.4	<u>14</u>	-	0.52	0.98	2.6	0.60	0.026	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシソキソソ類 (pg-TEQ/L)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分地排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表2 豊島における環境計測結果（沈砂池2）

検査項目	沈砂池2								管理基準値	報告下限	
	H19.10.31	H20.1.9	H20.5.22	H20.7.9	H20.10.17	H21.3.2	H21.5.12	H21.8.19			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	8.3	7.8	8.6	8.8	8.7	7.8	9.3 ¹⁾	8.7	5.0~9.0	-
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	1.7	1.0	2.9	1.5	1.6	0.6	0.9	0.7	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	6.6	5.0	7.3	8.4	8.6	7.0	6.3	9.1	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質(S S)	3	2	3	3	3	3	3	3	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	0	-	-	-	-	0	(日間平均3000)	-
	油分(n-ヘキサン抽出物質)	-	-	ND	-	-	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	-	-	ND	-	-	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	0.06	0.06	ND	0.18	0.22	ND	0.30	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	10	0.4
	クロム含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	ND	1	1	ND	2	3	2	ND	120 (日間平均60)	1
	磷含有量	-	-	ND	-	-	-	-	ND	16 (日間平均8)	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1
シアン化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機燐化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	1	0.1
六価クロム化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
P C B		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.3	0.03
テトラクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
四塩化炭素		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
1,1,1,2-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.02	0.002
チウラム		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.06	0.006
シマジン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.2	0.02
ベンゼン		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
セレン及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	0.1	230	0.1
ふっ素及びその化合物		-	-	ND	-	-	-	-	ND	15	0.8
7/モイ、7/モイ化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	-	-	ND	-	-	-	-	ND	100	10	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	ND	-	-	-	-	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	0.0006	-	-	-	-	0.0012	-	0.0001
	ダイオキシシン類	1.3	0.62	0.27	0.16	0.22	15	0.13	0.47	10	-

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシシン類 (pg-TEQ/L) を除いて、mg/Lである。

(注2) ND : 検出せず

(注3) 下線 : 管理基準を満足していない項目

(注4) 平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表2 豊島における環境計測結果（沈砂池2）

検査項目	沈砂池2									管理基準値	報告下限
	H21.12.9	H22.3.31	H22.10.7	H22.12.15	H23.11.11	H24.1.24	H24.5.9	H24.12.27			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.8	7.7	7.1	7.4	8.8	8.4	8.8	7.6	5.0~9.0	-
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	1.5	1.0	ND	1.2	ND	0.5	ND	1.5	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	7.2	7.7	6.3	7.9	7.6	7.5	8.4	19	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	3	1	1.6	1	1	ND	ND	2	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	-	-	0	-	0	-	-	0	(日間平均3000)	-
	油分 (n-ヘキサン抽出物質)	-	-	ND	-	ND	-	-	ND	35	0.5
	フェノール類	-	-	ND	-	ND	-	-	ND	5	0.02
	銅含有量	-	-	ND	-	ND	-	-	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	0.12	0.12	0.08	0.09	0.06	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	-	-	ND	-	ND	-	-	ND	10	0.4
	クロム含有量	-	-	ND	-	ND	-	-	ND	2	0.2
	窒素含有量	1	7	8	3	ND	1	ND	2	120 (日間平均60)	1
	磷含有量	-	-	ND	-	ND	-	-	ND	16 (日間平均8)	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.1
シアン化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
有機磷化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	1	0.1
六価クロム化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.5	0.05
砒素及びその化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	検出されないこと	0.0005
P C B		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.3	0.03
テトラクロロエチレン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
ジクロロメタン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
四塩化炭素		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
トリス(1,2-ジクロロエチレン)		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.02	0.002
チウラム		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.06	0.006
シマジン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.03	0.003
チオベンカルブ		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.2	0.02
ベンゼン		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
セレン及びその化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		-	-	ND	-	0.2	-	-	ND	230	0.1
ふっ素及びその化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	15	0.8
7/6/5、7/6/4化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物		-	-	ND	-	ND	-	-	ND	100	10
その他		モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-
	全マンガン	-	-	ND	-	ND	-	-	ND	-	0.4
	ウラン	-	-	0.0003	-	0.0008	-	-	0.0011	-	0.0001
	ダイオキシン類	1.0	2.3	1.4	0.73	3.4	0.0015	0.74	0.061	10	-

(注1) 単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L) を除いて、mg/Lである。

(注2) ND：検出せず

(注3) 下線：管理基準を満足していない項目

(注4) 平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表2 豊島における環境計測結果（沈砂池2）

検査項目	沈砂池2							管理基準値	報告下限	
	H25.12.4	H26.2.6	H26.9.30	H27.3.23	H27.8.26	H29.3.7	H30.11.14			
生活環境項目	水素イオン濃度 (pH)	7.0	7.1	8.0	7.5	8.4	7.9	8.1	5.0~9.0	-
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	0.7	ND	0.8	ND	1.7	0.9	-	30 (日間平均20)	0.5
	化学的酸素要求量 (COD)	8.5	5.0	8.3	9.4	9.6	7.0	9.5	30 (日間平均20)	0.5
	浮遊物質 (SS)	1	ND	ND	2	1	ND	1	50 (日間平均40)	1
	大腸菌群数	8	-	0	-	22	0	-	(日間平均3000)	-
	油分 (n-ヘキサン抽出物質)	ND	-	ND	-	ND	ND	-	35	0.5
	フェノール類	ND	-	ND	-	ND	ND	-	5	0.02
	銅含有量	ND	-	ND	-	ND	ND	-	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	2	0.2
	溶解性鉄含有量	0.18	ND	ND	0.17	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	-	ND	-	ND	ND	-	10	0.4
	クロム含有量	ND	-	ND	-	ND	ND	-	2	0.2
	窒素含有量	1	1	ND	2	1	1	-	120 (日間平均60)	1
	磷含有量	ND	-	ND	-	ND	ND	-	16 (日間平均8)	0.1
	健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.03
シアン化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	1	0.1
鉛及びその化合物		ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.1	0.01
有機燐化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	1	0.1
六価クロム化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.5	0.05
砒素及びその化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.1	0.01
水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.005	0.0005
アルキル水銀化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	検出されないこと	0.0005
P C B		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.003	0.0005
トリクロロエチレン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.3	0.03
テトラクロロエチレン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.1	0.01
ジクロロメタン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.2	0.02
四塩化炭素		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.02	0.002
1,2-ジクロロエタン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.04	0.004
1,1-ジクロロエチレン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	1	0.02
ジス-1,2-ジクロロエチレン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.4	0.04
1,1,1-トリクロロエタン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	3	0.3
1,1,2-トリクロロエタン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.06	0.006
1,3-ジクロロプロペン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.02	0.002
チウラム		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.06	0.006
シマジン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.03	0.003
チオベンカルブ		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.2	0.02
ベンゼン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.1	0.01
セレン及びその化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.1	0.01
ほう素及びその化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	230	0.1
ふっ素及びその化合物		ND	-	ND	-	ND	ND	-	15	0.8
1,4-ジオキサン		ND	-	ND	-	ND	ND	-	0.5	0.05
アモニア、アモニア化合物、亜硝酸 化合物及び硝酸化合物	ND	-	ND	-	ND	ND	-	100	10	
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	0.07
	全マンガン	ND	-	ND	-	ND	ND	-	-	0.4
	ウラン	0.0009	-	0.0004	-	0.0005	0.0011	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.18	0.011	0.13	2.1	2.5	0.14	0.025	10	-

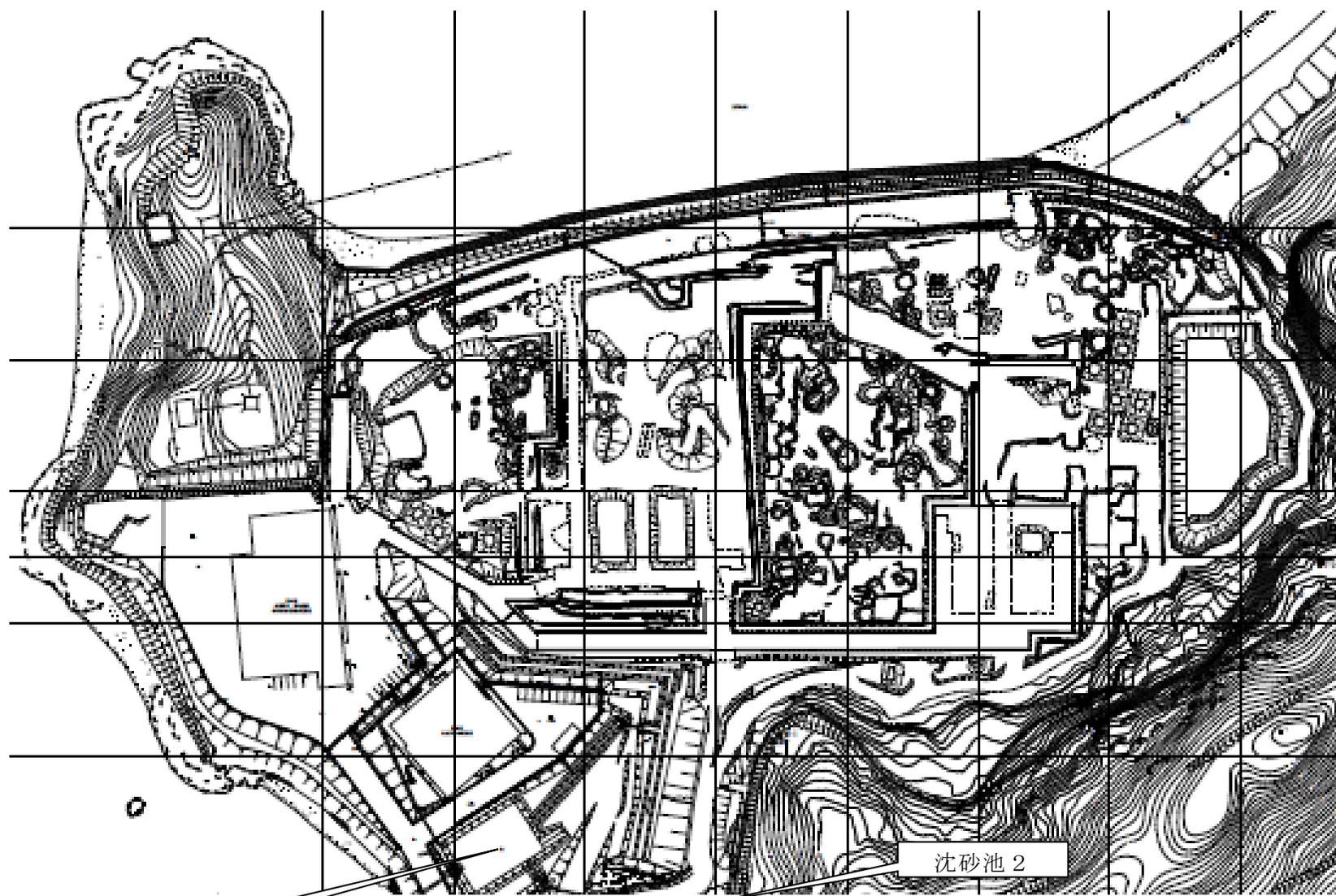
(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類 (pg-TEQ/L) を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

1) 植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。



沈砂池 1

調査地点図

沈砂池 2

豊島における周辺環境モニタリング（水質）結果について

豊島における周辺環境モニタリングは、暫定的な環境保全措置の実施、高度排水処理施設等の建設・運転時、廃棄物等の掘削・運搬の開始後のそれぞれの段階において、周辺環境への影響を把握することを目的としており、これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、工事前及び工事中、掘削・運搬の開始後の周辺地先海域及び海岸感潮域における調査を順次実施してきた。

今回、平成30年7月、11月及び平成31年2月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1 調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報 告 済	事前環境モニタリング	平成10年12月～平成11年12月 (4回実施)	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	暫定的な環境保全措置 工事前	平成12年7月27日(木)	事前環境モニタリング終了後、暫定工事開始前に実施した。
	暫定的な環境保全措置 工事中	平成13年7月18日(水)	北海岸では本矢板の打設が終了しており、東側のドレーン工を実施していた。また、東側雨水排水路、透気遮水シートの施工中であり、西海岸においては掘削作業を実施していた。
		平成14年2月1日(金)	西海岸では埋め戻し施工中、西海岸北東部では透気遮水シート、水路の施工中であった。
	中間保管梱包施設、高度 排水処理施設建設工事 中	平成14年7月23日(火)	中間保管梱包施設のピット部の基礎工事、高度排水処理施設の水槽部の基礎工事を実施していた。
		平成15年2月6日(木)	中間保管梱包施設の内部仕上げ及び外構工事、高度排水処理施設の無負荷運転を実施していた。
	廃棄物等の掘削・運搬 中、高度排水処理施設等 の運転中	平成15年5月15日(木) (水質調査)	中間処理施設試運転のため、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成15年7月14日(月) (水質調査、底質調査)	
		平成15年10月24日(金) (水質調査、底質調査)	中間処理施設本格稼働後、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年2月10日(火) (水質調査)	掘削現場の場内整備、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年6月1日(火) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年7月29日(木) (水質調査、底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年11月2日(火) (水質調査、底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年1月14日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
平成17年5月23日(月) (水質調査)		廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。	
平成17年7月21日(木) (水質調査、底質調査)		廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。	
平成17年11月7日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
		平成18年1月18日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成18年5月26日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年8月8日(金) (水質調査、底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年11月27日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年1月24日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年6月14日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年8月27日(月) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年11月15日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年1月25日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年5月21日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年8月27日(水) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年11月17日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年1月28日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年5月21日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年8月19日(水) 平成21年8月20日(木) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年11月6日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年1月20日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年5月27日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年8月30日(月) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年11月11日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成23年1月24日(月) 平成23年1月25日(火) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
		平成23年6月29日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成23年8月26日(金) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成23年11月17日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年1月27日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年5月16日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年8月2日(木) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年11月19日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年1月17日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年5月22日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年8月19日(月) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年11月8日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年1月22日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年5月26日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年8月7日(木) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年11月12日(水) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成27年1月26日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成27年5月25日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成27年7月30日(木) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
平成27年11月17日(火) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		
平成28年1月28日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		
平成28年5月19日(木) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。		

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
		平成28年8月2日(火) (水質調査・底質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成28年11月18日(金) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成29年1月16日(月) (水質調査)	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
	処分地内の構造物撤去中、高度排水処理施設等の運転中	平成29年5月25日(木) (水質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成29年7月24日(月) (水質調査・底質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成29年11月9日(木) (水質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成30年1月22日(月) (水質調査)	処分地内の構造物撤去工事、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
今回報告	高度排水処理施設等の運転中	平成30年5月14日(月) (水質調査)	高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成30年7月12日(木) (水質調査・底質調査)	高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成30年11月28日(水) (水質調査)	高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成31年1月23日(水) (水質調査)	高度排水処理施設等の運転を実施していた。

2 調査の概要

1) 調査地点 (調査地点図参照)

① 周辺地先海域

○水質調査

St-3 (西海岸沖)、St-4 (北海岸沖) 及び St-8 (北海岸沖)

② 海岸感潮域

○水質調査

St-A (西海岸)、St-B (北海岸) 及び St-E (北海岸)

2) 検体採取機関及び分析機関

① 検体採取機関：廃棄物対策課、環境保健研究センター

② 分析機関：環境保健研究センター、四国計測工業(株)

3 調査結果の概要

(1) 周辺地先海域

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目 (生活環境保全上の基準：8項目)

・全ての項目については、全ての地点において、環境基準値を満足していた。

○健康項目 (人の健康を保護する上での基準：26項目)

・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は全ての地点で検出されたが、環境基準値を満足していた。

・その他の項目は全ての地点で検出されず、環境基準値を満足していた。

(2) 海岸感潮域

○一般項目（7項目）

- ・全ての項目及び地点で、管理基準値を満足していた。

○健康項目（26項目）

- ・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が全ての地点において検出されたが、管理基準値を満足していた。
- ・その他の項目は全ての地点で検出されず、管理基準値を満足していた。

表1 豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100ml、ダケイソウ類：pg-TEQ/L、pHを除く単位：mg/L）

測定項目	調査日	pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン	
南海岸沖 St-1	H13.7.18	7.7	1.3	6.9	ND	2.0	0.12	0.021	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	H12.7.27	8.0	1.5	6.2	ND	ND	0.57	0.027	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
西海岸沖 St-3	平成30年度	H31.1.23	7.9	1.3	8.8	ND	ND	0.30	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30.11.28	8.0	1.5	7.6	ND	2.0	0.28	0.041	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30.7.12	8.0	2.4	7.4	ND	70	0.38	0.036	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30.5.14	8.0	2.2	9.1	ND	7.8	0.16	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7.9	1.1	6.9	ND	ND	0.12	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	10.8	ND	2.0	0.35	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.7	8.2	ND	2.0	0.23	0.031	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.0	1.5	7.0	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.5	ND	ND	0.32	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.3	ND	ND	0.21	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.9	1.0	7.1	ND	ND	0.16	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.9	ND	490	0.43	0.036	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.4	8.5	ND	120	0.26	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.8	1.4	6.1	ND	2.0	0.27	0.018	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.9	9.5	ND	23	0.41	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.6	7.7	ND	13	0.52	0.030	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.6	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.6	9.6	ND	13	0.36	0.038	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.3	ND	3.8	0.23	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	8.0	0.7	6.8	ND	ND	0.13	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	9.6	ND	7.8	0.35	0.031	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.4	ND	3.4	0.26	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	1.7	5.8	ND	ND	0.21	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.9	9.8	ND	ND	0.58	0.045	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.4	7.8	ND	ND	0.32	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.2	8.2	ND	ND	0.19	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.5	9.0	ND	ND	0.25	0.040	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.7	ND	ND	0.22	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.1	1.1	7.2	ND	ND	0.14	0.019	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.7	ND	33	0.28	0.038	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.2	ND	15	0.21	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.5	ND	ND	0.11	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	9.3	ND	2.0	0.26	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.8	ND	1.9	0.18	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.7	ND	ND	0.10	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.6	8.5	ND	13	0.19	0.042	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.5	ND	5.3	0.15	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.2	1.0	7.6	ND	ND	0.16	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.8	8.7	ND	4.5	0.27	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.3	1.4	8.1	ND	ND	0.22	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平成17年度	最小	8.1	1.5	7.1	ND	1.8	0.10	0.019	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.3	2.9	9.4	ND	220	0.27	0.049	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.2	2.1	8.0	ND	57	0.18	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	ND	0.12	0.018	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.1	2.2	9.7	ND	23	0.30	0.046	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.0	1.9	7.9	ND	7.1	0.19	0.031	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成15年度	最小	7.7	1.1	6.7	ND	ND	0.11	0.014	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.4	1.8	8.6	ND	40	0.40	0.045	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	1.5	7.6	ND	11	0.22	0.029	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度	7.9~8.1	1.6~2.1	6.6~9.2	ND	ND	0.10~0.63	0.022~0.030	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度	7.9~8.0	1.4~1.6	7.0~9.1	ND	ND	0.12~0.13	0.020~0.021	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度	8.0	1.6	6.2	ND	ND	0.42	0.025	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	8.0~ 8.1 (8.0)	1.4~ 2.0 (1.7)	6.3~ 8.9 (7.5)	ND	—	—	0.13~ 0.28 (0.22)	0.027~ 0.044 (0.036)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
環境基準 (海域A・II類型)	7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁴⁾	—	ND	≤0.0005	≤0.003 ⁸⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02	
検出下限値 (ND)	—	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	—	<0.0005	<0.0005	<0.0003 ⁷⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン		
北海岸沖 St-4	平成30年度	H31.1.23	8.0	1.1	8.9	ND	ND	0.27	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H30.11.28	8.0	1.7	7.6	ND	2.0	0.29	0.041	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30.7.12	8.0	1.9	6.9	ND	70	0.25	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30.5.14	8.1	2.8	9.4	ND	2.0	0.17	0.022	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	8.0	0.9	7.0	ND	ND	0.14	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.9	10.9	ND	4.0	0.42	0.049	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.4	ND	2.4	0.26	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	8.1	1.5	7.0	ND	ND	0.16	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.5	ND	4.0	0.29	0.038	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.9	8.3	ND	2.0	0.20	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	8.0	1.2	7.2	ND	ND	0.16	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.7	10	ND	490	0.50	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.5	8.6	ND	120	0.33	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.9	1.0	5.7	ND	2.0	0.15	0.016	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.7	ND	23	0.57	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.5	7.7	ND	13	0.37	0.030	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.8	ND	ND	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	11	ND	13	0.34	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.6	ND	3.8	0.24	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.0	7.7	ND	ND	0.15	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.2	ND	4.5	0.40	0.043	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.4	ND	2.6	0.25	0.022	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.0	1.3	7.4	ND	ND	0.13	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.8	ND	7.8	0.25	0.042	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.2	ND	4.8	0.22	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.6	ND	ND	0.15	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.1	9.7	ND	4.5	0.25	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.1	ND	2.6	0.19	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.9	ND	ND	0.12	0.024	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.8	ND	23	0.29	0.044	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.8	7.7	ND	8.6	0.22	0.031	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	1.2	8.0	ND	ND	0.19	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.6	ND	1.8	0.26	0.038	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.4	ND	ND	0.21	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
平成17年度	最小	8.0	1.9	7.4	ND	ND	0.14	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.3	3.1	9.4	ND	2.0	0.30	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.2	2.3	8.2	ND	1.9	0.19	0.028	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	2.0	0.14	0.016	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.2	2.4	8.5	ND	540	0.27	0.049	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	2.0	7.5	ND	140	0.21	0.030	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成15年度	最小	7.9	1.1	6.8	ND	ND	0.11	0.015	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.4	2.0	8.9	ND	17	0.28	0.048	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平均	8.1	1.7	7.9	ND	6.2	0.21	0.031	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度	8.0~8.3	1.4~2.0	7.0~9.4	ND	ND	0.11~0.19	0.019~0.027	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度	7.9~8.1	1.4~1.7	7.0~9.1	ND	ND	0.13~0.14	0.020~0.022	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度	8.0	1.9	6.7	ND	ND	0.17	0.025	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	8.0~ 8.1 (8.1)	1.5~ 2.2 (1.9)	6.5~ 8.9 (7.6)	ND	—	0.12~ 0.38 (0.23)	0.026~ 0.044 (0.034)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)	7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁴⁾	ND	≤0.0005	≤0.003 ⁸⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02			
検出下限値 (ND)	—	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 ⁷⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002			

測定項目	調査日	pH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ジクロロメタン		
北海岸沖 St-8	平成30年度	H31.1.23	8.0	1.2	8.9	ND	ND	0.22	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H30.11.28	8.0	1.6	7.7	ND	ND	0.36	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30.7.12	8.0	2.0	6.9	ND	49	0.25	0.036	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	H30.5.14	8.1	1.9	9.5	ND	2.0	0.18	0.022	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.0	0.8	7.2	ND	ND	0.14	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	10.7	ND	2.0	0.34	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	平均	8.1	1.6	8.4	ND	1.9	0.22	0.031	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.1	1.4	7.0	ND	ND	0.15	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	9.4	ND	ND	0.37	0.038	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	平均	8.1	1.7	8.3	ND	ND	0.23	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.0	1.6	7.4	ND	ND	0.17	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	11	ND	240	0.71	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	平均	8.1	2.0	8.7	ND	61	0.35	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	7.9	1.3	5.6	ND	23	0.25	0.018	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.1	10	ND	23	0.69	0.041	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	平均	8.0	1.7	7.7	ND	23	0.44	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.1	1.1	6.9	ND	ND	0.19	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.9	10	ND	7.8	0.35	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	平均	8.1	1.5	8.6	ND	2.0	0.24	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	7.9	2.3	6.3	ND	ND	0.20	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.9	ND	2.0	0.51	0.050	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	平均	8.0	2.5	8.1	ND	1.9	0.30	0.034	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	7.9	2.3	6.3	ND	ND	0.20	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.9	ND	2.0	0.51	0.050	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	平均	8.0	2.5	8.1	ND	1.9	0.30	0.034	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.1	1.4	8.1	ND	ND	0.19	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.1	ND	2.0	0.24	0.036	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	平均	8.1	1.7	8.6	ND	ND	0.22	0.014	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.1	1.4	7.3	ND	ND	0.11	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.6	9.8	ND	23	0.24	0.046	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	平均	8.2	1.6	8.3	ND	8.2	0.20	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.0	1.0	6.6	ND	ND	0.17	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.4	ND	2.0	0.27	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	平均	8.1	1.6	8.1	ND	1.9	0.20	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.0	1.1	7.0	ND	ND	0.09	0.023	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.6	8.7	ND	11	0.37	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	平均	8.2	2.1	7.7	ND	4.2	0.20	0.031	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.1	0.5	8.1	ND	ND	0.17	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.8	8.5	ND	4.5	0.27	0.037	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	平均	8.2	1.7	8.3	ND	2.0	0.22	0.029	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.1	1.9	7.2	ND	ND	0.11	0.019	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.0	9.3	ND	2.0	0.27	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	平均	8.2	2.2	8.0	ND	1.9	0.18	0.030	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.0	1.6	6.4	ND	ND	0.14	0.018	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	8.5	ND	130	0.28	0.046	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	平均	8.1	1.9	7.5	ND	34	0.20	0.030	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最小	8.0	1.4	6.9	ND	ND	0.14	0.014	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
最大		8.4	1.8	9.6	ND	25	0.31	0.047	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度	平均	8.1	1.6	8.0	ND	7.7	0.23	0.030	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成14年度	8.0~8.2	1.3~2.0	6.8~9.5	ND	ND	0.10~0.20	0.019~0.026	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	平成13年度	8.1	1.7	9.0	ND	ND	0.14	0.020	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	最小	8.0~ (8.0)	1.5~ (1.8)	6.5~ (7.6)	ND	ND~ (ND)	0.12~ (0.21)	0.027~ (0.035)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	最大	8.1	2.1	9.0	ND	2.0	0.28	0.044	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
家浦港沖 St-5	H13.7.18	8.0	2.1	7.3	ND	2.0	0.15	0.023	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
	H12.7.27	8.0	1.7	6.7	ND	1.8	0.19	0.029	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
環境基準 (海域A・II類型)		7.8~ 8.3	≤2	≥7.5	ND	≤1000	≤0.3	≤0.03	≤0.01 ⁴⁾	ND	≤0.0005	≤0.003 ⁸⁾	≤0.01	≤0.05	≤0.01	ND	ND	≤0.03	≤0.01	≤0.02		
検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 ⁷⁾	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002		

測定項目 測定場所	調査日	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ²⁾		
南海岸沖 St-1	H13.7.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300	0.078		
	H12.7.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,500	0.086		
西海岸沖 St-3	平成30年度	H31.1.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	—	—	—	17,700	—	
		H30.11.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.071	
		H30.7.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	0.009	ND	15,600	0.060	
		H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	17,600	—	
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,100	0.073	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	18,100	0.081	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.077	
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,200	0.065	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	18,300	0.072	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,600	0.069	
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.065	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.078	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,400	0.072	
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	16,700	0.081	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,900	0.090	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,400	0.086	
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.068	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.29	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.18	
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,200	0.070	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.016	ND	18,000	0.21	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND	17,500	0.14	
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,300	0.084	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.10	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.092	
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.054	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.10	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.077	
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,200	0.063	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	19,000	0.094	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	18,500	0.079	
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.071	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	18,700	0.074	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	18,600	0.073	
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,000	0.068	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	19,100	0.17	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	18,500	0.12	
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,700	0.072	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	18,900	0.095	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	18,300	0.084	
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,000	0.076	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	19,000	0.077	
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	18,700	0.077	
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,200	0.079	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	—	ND	0.010	ND	19,200	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	0.009	ND	18,500	0.20
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,400	0.091	
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	ND	0.001	18,800	0.12
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	0.001	17,800	0.11
	平成14年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900~19,200	0.077~0.087	
	平成13年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300~18,800	0.079~0.25	
	平成12年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,500	0.075	
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	<0.007~ 0.013 (0.009)	ND	17,400~ 18,600 (18,000)	0.065	
	環境基準 (海域A・II類型)		≤0.002	≤0.004	≤0.1 ⁶⁾	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	—	≤10	≤0.05	—	0.07 ³⁾	0.02 ³⁾	—	≤1	
検出下限値 (ND)		<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—		

測定項目	調査日	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ²⁾	
測定場所 北海岸沖 St-4	平成30年度	H31.1.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	—	—	—	17,700	—	
		H30.11.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	0.010	ND	17,100	0.065
		H30.7.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.010	ND	15,600	0.066
		H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	17,700	—
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.009	ND	18,200	0.12
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.094
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,100	0.063
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.010	ND	18,000	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.010	ND	17,400	0.07
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	16,600	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.011	ND	17,900	0.079
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,300	0.075
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.009	ND	16,700	0.080
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.009	ND	17,900	0.13
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.009	ND	17,400	0.11
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.051
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.062
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.057
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,100	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.013	ND	17,900	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.012	ND	17,500	0.077
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,300	0.081
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	ND	ND	17,800	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	17,600	0.084
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.056
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	ND	18,900	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	18,600	0.073
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,100	0.064
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,900	0.090
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	18,600	0.077
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.073
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	ND	18,900	0.074
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,700	0.074
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	17,800	0.067
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	19,300	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	17,500	0.095
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	—	ND	ND	ND	18,500	0.097
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	18,200	0.096
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	17,500	0.075
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	—	ND	ND	ND	18,700	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,000	0.082
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,800	0.078
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	—	ND	0.007	ND	18,800	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	0.007	ND	18,300	0.081
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,000	0.086
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	ND	ND	19,000	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	17,700	0.12
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900~19,300	0.077~0.08
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,200~18,800	0.081~0.14
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,300	0.086
	事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	0.008~ 0.012 (0.009)	ND	17,200~ 18,600 (17,900)	0.065
	環境基準 (海域A・II類型)		≤0.002	≤0.004	≤0.1 ⁶⁾	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	—	≤10	≤0.05	—	0.07 ³⁾	0.02 ³⁾	—	≤1
検出下限値 (ND)		<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目	調査日	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	1,1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイキソシン類 ²⁾	
北海岸沖 St-8	平成30年度	H31.1.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	—	—	—	17,900	—	
		H30.11.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	ND	ND	0.010	ND	17,100	0.068
		H30.7.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.009	ND	15,400	0.067
	平成29年度	H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	17,700	—
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,000	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	18,100	0.073
	平成28年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.071
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,200	0.064
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	18,000	0.064
	平成27年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,500	0.064
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	16,700	0.061
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,800	0.094
	平成26年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,300	0.078
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	16,600	0.065
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.078
	平成25年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,300	0.072
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.054
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.013	ND	18,000	0.32
	平成24年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	17,700	0.19
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	17,100	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	17,900	0.071
	平成23年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.012	ND	17,500	0.071
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	17,300	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	17,800	0.073
	平成22年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	17,600	0.071
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.055
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.080
	平成21年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.068
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,200	0.058
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.10
	平成20年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.079
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.074
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,900	0.087
	平成19年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,700	0.081
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,700	0.061
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	19,000	0.11
	平成18年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.086
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.082
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.094
	平成17年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,300	0.088
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,300	0.088
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,700	0.095
	平成16年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.092
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	19,600	0.55
	平成15年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,400	0.31
		最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16,600	0.080
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.004	19,000	0.18
平成14年度	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,600	0.14	
	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,900~19,300	0.077~0.079	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,700	0.079	
	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	17,300~18,500 (17,900)	0.065	
家浦港沖 St-5	H13.7.18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900	0.41	
	H12.7.27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,200	0.084	
環境基準 (海域A・II類型)		≤0.002	≤0.004	≤0.1 ⁶⁾	≤0.04	≤1	≤0.006	≤0.002	≤0.01	≤0.006	≤0.003	≤0.02	≤0.01	—	≤10	≤0.05	—	0.07 ³⁾	0.02 ³⁾	—	≤1	
検出下限値 (ND)		<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ⁵⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

1) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施 平成12年度：H12.7.27実施 (St-3、St-4) 平成13年度：H13.7.18 (St-3、St-4)、H14.2.1実施 平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施 平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施 平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施 平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施
平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施 平成20年度：H20.5.21、H20.8.27、H20.11.17、H21.1.28実施 平成21年度：H21.5.21、H21.8.19、H21.11.6、H22.1.20実施 平成22年度：H22.5.27、H22.8.30、H22.11.11、H23.1.25実施
平成23年度：H23.6.29、H23.8.26、H23.11.17、H24.1.27実施 平成24年度：H24.5.16、H24.8.2、H24.11.19、H25.1.17実施 平成25年度：H25.5.22、H25.8.19、H25.11.8、H26.1.22実施 平成26年度：H26.5.26、H26.8.7、H26.11.12、H27.1.22実施
平成27年度：H27.5.15、H27.7.30、H27.11.17、H28.1.28実施 平成28年度：H28.5.19、H28.8.2、H28.11.18、H29.1.16実施 平成29年度：H29.5.25、H29.7.24、H29.11.9、H30.1.22実施

2) ダイキソシン類 (コブナ-PCBを含む) は、事前環境モニタリングについては1回分 (H11.11.29) の測定データである。
3) 要監視項目指針値
4) 生物特A類型 (生物A類型の水域のうち、水生生物の産卵場 (繁殖場) 又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域) の基準値
5) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。 (平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
6) 環境省通知に基づき、環境基準を変更した。 (平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。)
7) 環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。 (平成24年1月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。)
8) 環境省通知に基づき、環境基準を変更した。 (平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。)
9) 赤字は海域の環境基準を超過したものを示す。

表2 豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域間隙水水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100ml、タリキソ類：pg-TEQ/L、pHを除く単位：mg/L）

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキ ル水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価 クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素		
西海岸St-A	平成30年度	H31.1.23	8.0	2.0	ND	ND	0.35	0.047	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H30.11.28	7.7	1.2	ND	ND	0.35	0.049	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30.7.12	7.8	1.9	0.7	ND	0.65	0.040	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30.5.14	7.9	2.1	ND	ND	0.25	0.033	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7.7	1.3	ND	ND	0.11	0.036	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	1.5	ND	ND	0.49	0.055	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.4	ND	ND	0.31	0.043	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7.7	1.1	ND	ND	0.19	0.025	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.5	0.6	ND	0.58	0.052	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.8	0.5	ND	0.37	0.038	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.8	1.0	ND	ND	0.19	0.034	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	2.6	ND	ND	0.35	0.049	0.079	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.8	ND	ND	0.27	0.038	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.7	0.8	ND	2.0	0.24	0.027	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	2.6	ND	2.0	0.47	0.033	0.085	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.4	ND	2.0	0.33	0.030	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7.6	1.2	ND	ND	0.24	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	2.1	ND	4.5	0.48	0.88	0.016	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.7	ND	ND	0.35	0.45	0.008	ND	ND	0.0003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.8	1.0	ND	ND	0.15	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.7	ND	ND	0.39	0.073	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.5	ND	ND	0.25	0.036	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.6	1.1	ND	ND	0.17	0.024	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	11	ND	2.0	0.48	0.032	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	3.7	ND	1.9	0.34	0.028	0.022	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7.5	0.5	ND	ND	0.25	0.025	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	1.8	ND	ND	0.31	0.036	0.036	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	0.9	ND	ND	0.27	0.032	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7.5	0.7	ND	ND	0.15	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.7	1.7	ND	2.0	1.5	0.042	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	1.1	ND	1.9	0.59	0.031	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.17	0.024	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	ND	ND	4.5	0.32	0.047	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	ND	ND	2.5	0.25	0.035	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.17	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	0.6	ND	2.0	0.81	0.052	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.7	0.5	ND	1.9	0.41	0.040	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	7.6	ND	ND	ND	0.27	0.037	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.3	ND	ND	0.47	0.096	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	0.8	ND	ND	0.37	0.068	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	7.8	1.2	ND	ND	0.13	0.028	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.7	ND	2.0	0.43	0.057	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.5	ND	1.9	0.31	0.039	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	7.6	0.6	ND	ND	0.21	0.035	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.9	1.9	ND	2.0	0.44	0.043	—	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.8	1.4	ND	1.9	0.29	0.039	—	ND	ND	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.8	0.7	ND	ND	0.08	0.032	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
最大		8.3	1.4	ND	ND	0.43	0.042	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平均		8.0	1.1	ND	ND	0.26	0.036	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度		7.7~8.4	1.3~1.4	ND	ND	0.11~0.40	0.045~0.060	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度		7.4~8.0	1.2~1.7	ND	ND	0.12~0.25	0.040~0.052	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度		7.7	1.0	ND	ND	0.27	0.041	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		7.6~ 8.0 (7.8)	1.0~ 1.7 (1.3)	ND	—	0.16~ 0.40 (0.27)	0.026~ 0.065 (0.047)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
管理基準値		5.0~ 9.0	≤30	鉱油類等 ≤35	1,000	≤120	≤16	≤2 ⁶⁾	ND	≤0.005	≤0.03 ⁵⁾	≤0.1	≤0.5	≤0.1	≤1	≤0.003	≤0.3	≤0.1	≤0.2	≤0.02		
検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002		

測定項目	調査日	pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価 クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素		
北海岸 St-B	平成30年度	H31. 1. 23	7. 7	4. 9	ND	4. 5	1. 4	0. 20	0. 003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H30. 11. 28	7. 5	4. 6	ND	11	3. 4	0. 14	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30. 7. 12	7. 6	5. 0	0. 7	920	0. 89	0. 12	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30. 5. 14	7. 6	4. 8	0. 7	ND	0. 64	0. 100	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7. 4	4. 8	ND	ND	0. 7	0. 061	0. 005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	5. 4	1. 0	170	1. 2	0. 21	0. 011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 5	5. 1	0. 63	44	0. 93	0. 118	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7. 5	3. 4	ND	ND	0. 44	0. 078	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 9	6. 4	0. 5	460	1. 6	0. 15	0. 034	ND	ND	ND	ND	ND	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 65	4. 9	0. 5	120	0. 80	0. 11	0. 021	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7. 5	3. 2	ND	ND	0. 68	0. 072	0. 010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	5. 0	ND	13	0. 96	0. 19	0. 062	ND	ND	ND	ND	ND	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	4. 1	ND	6. 2	0. 83	0. 12	0. 030	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7. 4	3. 4	ND	4. 5	0. 48	0. 056	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 7	5. 9	ND	11	1. 00	0. 18	0. 050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 6	5. 2	ND	7. 8	0. 73	0. 11	0. 016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7. 3	4. 1	ND	ND	0. 88	0. 049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	4. 8	ND	ND	1. 5	0. 88	0. 024	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 5	4. 5	ND	ND	1. 1	0. 49	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7. 1	6. 7	ND	ND	1. 4	0. 066	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 4	16	ND	ND	5. 4	0. 17	0. 020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	10	ND	ND	3. 1	0. 094	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7. 3	2. 8	ND	ND	0. 58	0. 075	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 7	50	0. 9	7. 8	4. 1	0. 17	0. 047	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 4	17	0. 5	3. 4	2. 5	0. 11	0. 023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7. 4	4. 3	ND	ND	1. 2	0. 075	0. 009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 5	50	0. 9	7. 8	7. 7	0. 15	0. 017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	22	0. 7	3. 3	3. 6	0. 11	0. 012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7. 1	8. 1	ND	ND	1. 4	0. 12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 4	41	ND	7. 8	6. 1	0. 19	0. 021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 3	24	ND	8. 4	4. 5	0. 15	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7. 1	4. 8	ND	ND	1. 5	0. 061	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 5	21	0. 5	49	7. 0	0. 41	0. 028	ND	ND	ND	ND	ND	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 2	16	0. 5	15	4. 9	0. 18	0. 018	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	6. 9	7. 4	ND	ND	3. 0	0. 059	0. 002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 6	31	0. 6	2. 0	11	0. 20	0. 040	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 2	20	0. 5	2. 0	6. 7	0. 13	0. 013	ND	ND	ND	ND	ND	0. 005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	6. 8	8. 9	ND	ND	3. 2	0. 13	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 4	52	1. 4	4. 5	23	0. 50	0. 022	ND	ND	ND	ND	ND	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 0	39	0. 7	2. 8	11. 8	0. 23	0. 008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	6. 8	19	1. 3	ND	12	0. 15	0. 010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 0	110	2. 9	2. 8	20	0. 24	0. 020	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	6. 9	70	2. 1	19	15	0. 19	0. 015	ND	ND	ND	ND	ND	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	6. 8	61	ND	ND	15	0. 095	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7. 2	89	4. 1	16000	26	0. 16	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7. 0	75	1. 9	4000	19	0. 13	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	6. 8	75	ND	ND	13	0. 11	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
最大		7. 0	92	1. 8	45	19	0. 23	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平均		6. 9	80	1. 3	15	16	0. 16	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度	6. 8~6. 9	100~140	2. 4~6. 0	ND~7. 8	15~36	0. 21~0. 29	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度	6. 9~7. 1	130~170	2. 2~6. 3	4. 0~4. 0	23~41	0. 24~0. 26	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度	6. 8	170	1. 3	2. 0	22	0. 31	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	6. 4~ 6. 8 (6. 7)	190~ 240 (210)	1. 4~ 3. 7 (2. 4)	—	23~ 32 (29)	0. 24~ 0. 36 (0. 31)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~ 0. 007 (0. 006)	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
管理基準値		5. 0~ 9. 0	≤30	鉱油類等 ≤35	1, 000	≤120	≤16	≤2 ⁶⁾	ND	≤0. 005	≤0. 03 ⁵⁾	≤0. 1	≤0. 5	≤0. 1	≤1	≤0. 003	≤0. 3	≤0. 1	≤0. 2	≤0. 02		
検出下限値 (ND)		—	<0. 5	<0. 5	<1. 8	<0. 05	<0. 003	<0. 002	<0. 0005	<0. 0005	<0. 001	<0. 005	<0. 02	<0. 005	<0. 1	<0. 0005	<0. 002	<0. 0005	<0. 002	<0. 0002		

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	油分等	大腸菌 群数	全窒素	全リン	全亜鉛	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	六価 クロム	ヒ素	全シアン	PCB	トリクロロ エレン	テトラクロロ エレン	ジクロロ メタン	四塩化 炭素		
北海岸 St-E	平成30年度	H31. 1. 23	7.4	2.7	ND	ND	1.9	0.042	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
		H30. 11. 28	7.6	2.3	ND	4.5	1.4	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30. 7. 12	7.6	3.1	0.7	17000	0.92	0.036	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H30. 5. 14	7.6	2.5	ND	1.5	1.5	0.026	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成29年度	最小	7.4	2.5	ND	ND	1.1	0.022	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.5	2.7	0.8	11	2.2	0.039	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.5	2.6	0.6	4.1	1.6	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成28年度	最小	7.3	2.1	ND	ND	0.8	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	3.6	0.6	17	1.5	0.061	0.033	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	3.0	0.5	5.65	1.1	0.047	0.01375	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成27年度	最小	7.4	2.3	ND	ND	0.9	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.8	3.1	ND	9.3	2.1	0.048	0.060	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	2.7	ND	3.7	1.4	0.037	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成26年度	最小	7.4	2.1	ND	2.0	1.1	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.6	5.1	ND	22	3.0	0.046	0.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.5	3.6	ND	8.7	2.0	0.034	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	7.3	1.1	ND	ND	1.2	0.029	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.6	3.7	0.5	7.8	1.7	0.62	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.5	2.7	ND	3.5	1.6	0.33	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.8	1.0	ND	ND	0.15	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.0	1.7	ND	ND	0.39	0.073	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.9	1.5	ND	ND	0.25	0.036	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.4	2.9	ND	ND	1.8	0.040	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.7	3.7	ND	2.0	3.3	0.060	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.6	3.2	ND	1.9	2.7	0.047	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	7.1	2.2	ND	ND	2.2	0.020	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.5	12.0	ND	2.0	7.0	0.051	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	5.0	ND	ND	4.5	0.030	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	7.3	3.9	ND	ND	4.1	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.3	7.5	ND	4.5	9.5	0.056	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	4.9	ND	2.5	6.1	0.036	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	7.2	4.1	ND	ND	8.6	0.020	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.3	5.4	ND	ND	13	0.044	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.2	4.9	ND	ND	10	0.031	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	7.1	4.9	ND	ND	7.7	0.006	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.3	6.2	ND	2.0	10	0.057	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.3	5.5	ND	1.9	9.0	0.033	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	7.0	5.2	ND	ND	4.2	0.019	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.2	6.8	ND	2.0	10	0.10	0.033	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.1	6.2	ND	ND	6.3	0.060	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	7.0	8.8	ND	ND	13	0.056	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.2	16.0	0.5	2.0	24	0.10	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.1	14.0	0.5	1.9	19	0.075	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	0.009	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	7.0	16.0	ND	ND	21	0.064	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	7.1	25.0	0.5	28	44	0.15	—	ND	ND	ND	0.005	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	7.0	22.0	0.5	8.4	36	0.11	—	ND	ND	ND	0.005	ND	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.1	14.0	ND	ND	25	0.071	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
最大		7.2	21.0	ND	4.5	32	0.17	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平均		7.1	18.0	ND	2.5	29	0.099	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成14年度	7.0~7.0	15~29	ND	ND	19~46	0.10~0.28	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成13年度	7.2~7.2	1.3~21	ND~0.5	ND~1.8	14~40	0.13~0.20	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
平成12年度	6.9	230	3.5	ND	170	0.84	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.049	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	6.6~ 7.1 (6.9)	140~ 420 (250)	1.6~ 9.2 (4.4)	—	98~ 280 (190)	0.33~ 0.90 (0.70)	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.019~ 0.06 (0.043)	ND	ND	ND	ND	ND	ND		
管理基準値		5.0~ 9.0	≤30	鉱油類等 ≤35	1,000	≤120	≤16	≤2 ⁶⁾	ND	≤0.005	≤0.03 ⁵⁾	≤0.1	≤0.5	≤0.1	≤1	≤0.003	≤0.3	≤0.1	≤0.2	≤0.02		
検出下限値 (ND)		—	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.001	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0002		

測定項目 測定場所	調査日	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	オホペンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ²⁾	
西海岸St-A	平成30年度	H31.1.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	—	—	—	16,900	—
		H30.11.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	ND	ND	0.009	ND	16,300	3.4
		H30.7.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.57	ND	ND	0.008	ND	11,500	2.1
		H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	—	—	—	18,500	—
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.007	ND	16,600	1.8
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.28	ND	ND	0.01	ND	18,000	10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.009	ND	17,400	5.9
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	ND	ND	17,500	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	0.49	ND	ND	0.008	ND	18,300	2.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.28	ND	ND	0.008	ND	18,000	1.9
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	17,500	0.86
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.22	ND	ND	0.011	0.004	18,400	9.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.14	ND	ND	0.009	0.003	17,800	5.3
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.013	ND	17,500	3.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	ND	ND	0.025	0.002	18,600	4.1
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.019	0.002	18,100	3.6
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.016	ND	17,100	1.5
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	ND	ND	0.049	ND	18,700	2.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	0.033	ND	18,100	1.9
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.007	ND	17,500	1.0
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.27	ND	ND	0.011	ND	18,000	1.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.009	ND	17,700	1.2
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	16,100	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	ND	ND	0.015	0.003	18,100	0.52
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	ND	0.013	0.001	17,300	0.48
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.008	ND	15,400	1.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	ND	ND	0.010	0.002	18,900	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.009	0.002	17,500	1.8
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	0.002	16,500	0.49
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	—	ND	ND	0.002	19,400	0.50
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	—	ND	ND	0.002	18,500	0.50
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,800	0.12
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	0.009	ND	19,600	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	0.008	ND	19,200	0.66
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	0.001	18,500	2.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	—	ND	ND	0.003	18,900	3.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	ND	0.002	18,700	3.3
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	0.001	16,700	1.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	—	ND	0.009	0.001	18,700	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	—	ND	0.005	0.001	18,000	1.8
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	0.007	ND	17,300	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	—	ND	0.014	0.005	18,700	7.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	0.011	0.003	18,300	4.6
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	0.001	16,000	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	—	ND	0.008	0.015	17,700	5.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	—	ND	0.008	0.008	16,700	3.9
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	14,100	2.6
最大		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	—	ND	0.008	0.004	18,800	6.6	
平均		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	0.007	0.001	16,700	4.8	
平成14年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,000~19,200	5.3~9.6	
平成13年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	0.001~0.001	17,500~18,700	3.6~15	
平成12年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.008	0.001	17,900	9.4	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND~ (0.009)	ND~ (0.001)	17,100~ (17,900)	37	
管理基準値		≤0.04	≤ ¹⁾	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	≤1	≤100	≤0.5	—	—	—	—	≤10	
検出下限値 (ND)		<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ³⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目 測定場所	調査日	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロパン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオペンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類 ²⁾	
北海岸 St-B	平成30年度	H31.1.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	16,000	—	
		H30.11.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.006	ND	ND	ND	15,100	0.30
		H30.7.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.007	ND	12,400	0.55
		H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	—	—	—	18,000	—
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	13,700	0.44
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.008	ND	18,100	0.75
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.008	ND	15,700	0.60
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,500	0.48
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,300	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	16,400	0.84
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,700	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.027	ND	17,500	0.58
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.022	ND	16,600	0.51
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,700	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.027	ND	17,500	0.58
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.022	ND	16,600	0.51
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,200	0.34
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,800	0.53
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16,700	0.44
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,800	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.015	ND	0.008	ND	17,200	0.34
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.010	ND	0.007	ND	15,500	0.27
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,800	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.015	ND	0.008	ND	17,200	0.34
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.010	ND	0.007	ND	15,500	0.27
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5,070	0.16
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND	0.012	0.002	17,500	0.54
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	0.010	0.001	13,000	0.35
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	ND	ND	ND	2,800	0.66
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.035	ND	ND	ND	17,500	1.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.019	ND	ND	ND	12,900	1.0
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,000	0.32
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	16,800	0.47
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	12,200	0.40
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,400	0.23
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	0.008	ND	17,100	0.24
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	0.008	ND	11,900	0.24
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,000	0.47
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	16,600	0.93
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	11,900	0.70
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0	6,000	1.2
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	0.001	15,400	2.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	0.001	9,880	2.0
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	4,600	0.57
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.005	11,500	1.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.003	8,680	0.94
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	5,790	0.27
最大		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	0.010	0.011	9,520	1.8	
平均		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	0.009	0.006	7,500	1.0	
平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	3,920	0.19	
	最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	12,000	1.9	
	平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	7,400	0.96	
平成14年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	6,300~9,300	0.21~1.0	
平成13年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.002	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND~0.012	ND	6,800~11,100	0.56~0.97	
平成12年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	11,100	0.43	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND~0.001 (0.001)	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND~0.041 (0.016)	ND	8,700~ 10,600 (9,800)	0.25	
管理基準値		≤0.04	≤ ¹⁾	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	≤1	≤100	≤0.5	—	—	—	—	≤10	
検出下限値 (ND)		<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ³⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—	

測定項目	調査日	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	タ イキ シン類 ²⁾	
北海岸 St-E	平成30年度	H31.1.23	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.42	0.006	—	—	—	14,200	—	
		H30.11.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.41	ND	ND	ND	ND	14,500	0.10
		H30.7.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	ND	ND	0.007	ND	12,900	0.31
		H30.5.14	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	ND	—	—	—	18,300	—
	平成29年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	ND	ND	ND	ND	14,300	0.15
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.72	ND	ND	0.007	ND	17,100	0.24
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.43	ND	ND	0.007	ND	16,100	0.20
	平成28年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	ND	ND	ND	ND	16,200	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.72	0.005	ND	ND	0.002	16,800	0.21
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.50	0.005	ND	ND	0.002	16,500	0.18
	平成27年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	ND	ND	15,500	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.62	0.006	ND	0.007	0.001	17,000	0.43
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	0.005	ND	0.007	0.001	16,300	0.29
	平成26年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	ND	ND	ND	16,100	0.18
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.79	0.006	ND	0.021	ND	17,000	0.38
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.43	0.006	ND	0.018	ND	16,500	0.28
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.011	ND	16,000	0.16
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.41	ND	ND	0.050	ND	17,400	0.39
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	ND	ND	0.031	ND	17,000	0.28
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.29	ND	ND	ND	ND	16,200	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.64	ND	ND	0.008	ND	17,300	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.42	ND	ND	0.007	ND	16,600	0.16
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	ND	15,400	0.069
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	0.008	ND	0.016	0.001	16,300	0.19
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	0.007	ND	0.010	0.001	15,900	0.13
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	0.006	ND	ND	ND	14,700	0.62
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.48	0.014	ND	0.007	ND	17,500	0.75
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	0.009	ND	0.007	ND	16,600	0.69
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	16,500	0.092
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	ND	0.002	17,800	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	0.002	16,900	0.21
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	16,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.78	—	ND	ND	0.001	17,300	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.30	—	ND	ND	0.001	16,800	0.080
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	16,700	0.37
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	ND	0.001	16,800	0.78
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	—	ND	ND	0.001	16,800	0.58
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,700	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.44	—	ND	ND	ND	17,400	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	ND	16,125	2.2
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,600	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	0.007	ND	15,500	2.5
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	—	ND	0.007	ND	15,200	1.0
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	13,600	0.24
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	—	ND	ND	0.008	15,100	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	0.005	14,500	0.72
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,300	0.69
最大		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	—	ND	ND	0.001	17,400	1.0	
平均		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	—	ND	ND	0.001	15,725	0.88	
平成14年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	15,800~18,300	0.39~0.88	
平成13年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,200~17,200	0.48~1.7	
平成12年度	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	7,900	1.1	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)	ND~ 0.010 (0.0028)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004~ 0.13 (0.037)	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND	ND	6,300~ 12,800 (8,700)	0.096	
管理基準値	≤0.04	≤1 ⁴⁾	≤0.4	≤3	≤0.06	≤0.02	≤0.1	≤0.06	≤0.03	≤0.2	≤0.1	≤1	≤100	≤0.5	—	—	—	—	≤10		
検出下限値 (ND)	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006 ³⁾	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—		

1) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施 平成12年度：H12.7.27実施 平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施 平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施 平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施 平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施
平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施 平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施 平成20年度：H20.5.21、H20.8.27、H20.11.17、H21.1.28実施
平成21年度：H21.5.21、H21.8.19(H21.8.20)、H21.11.6、H22.1.20実施 平成22年度：H22.5.27、H22.8.30、H22.11.11、H23.1.25実施 平成23年度：H23.6.29、H23.8.26、H23.11.17、H24.1.27実施
平成24年度：H24.5.16、H24.8.2、H24.11.19、H25.1.17実施 平成25年度：H25.5.22、H25.8.19、H25.11.8、H26.1.22実施 平成26年度：H26.5.26、H26.8.7、H26.11.12、H27.1.26実施
平成27年度：H27.5.15、H27.7.30、H27.11.17、H28.1.28実施 平成28年度：H28.5.19、H28.8.2、H28.11.18、H29.1.16実施 平成29年度：H29.5.25、H29.7.24、H29.11.9、H30.1.22実施

表3 豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域底質）

（強熱減量：％、ダイオキシン類：pg-TEQ/g・dry、COD、硫化物、油分等：mg/g・dry、pHを除く単位：mg/kg・dry）

測定項目 測定場所	調査日	pH	COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	全ソーン	PCB	トクカロ イソソ	トクカロ イソソ	銅	亜鉛	ニッケル	総 クロム	総 鉄	総 マンガ	有機 リン	ダイオ キシン類
南海岸沖 St-1	H13.7.18	7.5	9.2	0.06	5.1	0.1	0.09	0.1	21	5.3	ND	ND	ND	ND	26	120	21	52	21,000	540	ND	4.6
	H12.7.27	7.8	4.8	0.01	3.8	ND	0.08	0.1	23	5.1	ND	ND	ND	ND	27	100	18	51	16,000	540	ND	2.8
西海岸沖 St-3	平成30年度	H30.7.12	7.8	3.4	0.15	4.0	0.2	0.06	ND	8.4	4.8	ND	ND	ND	14	71	17	27	14,000	760	ND	2.3
	平成29年度	H29.7.24	7.6	4.0	0.22	4.6	0.4	0.06	ND	22	4.6	ND	ND	ND	19	95	39	46	18,000	600	ND	5.5
	平成28年度	H28.8.2	7.5	3.7	0.21	4.3	0.2	0.09	ND	17	5.7	ND	ND	ND	20	91	17	44	19,000	640	ND	3.6
	平成27年度	H27.7.30	7.5	4.9	0.21	6.1	0.4	0.09	ND	16	4.5	ND	ND	ND	25	100	20	24	20,000	710	ND	4.1
	平成26年度	H26.8.7	7.5	4.9	0.13	5.5	0.4	0.11	0.1	21	3.4	ND	ND	ND	26	100	15	56	22,000	710	ND	5.2
	平成25年度	H25.8.19	7.4	3.7	0.26	3.2	0.3	0.06	0.1	14	4.3	ND	ND	ND	21	79	12	39	17,000	480	ND	6.1
	平成24年度	H24.8.2	7.6	5.7	0.25	6.4	0.7	0.08	0.1	26	5.2	ND	ND	ND	35	130	30	49	25,000	910	ND	6.9
	平成23年度	H23.8.26	7.5	4.1	0.20	4.5	0.2	0.05	0.1	24	4.1	ND	ND	ND	17	84	17	31	17,000	650	ND	5.0
	平成22年度	H22.8.30	7.7	5.8	0.04	3.5	0.2	0.05	0.1	9.5	1.4	ND	ND	ND	16	55	6.9	8	9,900	390	ND	2.9
	平成21年度	H21.8.19	8.3	4.3	0.03	3.0	0.1	0.03	0.2	9.8	2.0	ND	ND	ND	19	66	9.1	11	12,000	440	ND	2.4
	平成20年度	H20.8.27	7.7	1.6	0.01	3.7	ND	0.01	ND	3.3	1.6	ND	ND	ND	3.8	35	3.0	5.3	4,400	330	ND	1.4
	平成19年度	H19.8.27	8.2	4.8	0.04	3.4	0.3	0.03	0.1	12	4.6	ND	ND	ND	19	61	7.7	49	12,000	380	ND	4.4
	平成18年度	H18.8.8	7.6	5.2	0.03	3.6	0.2	0.02	ND	9.4	3.2	ND	ND	ND	16	41	4.8	48	13,000	530	ND	5.8
	平成17年度	H17.7.21	7.5	4.6	0.05	4.0	0.2	0.03	0.1	16	5.2	ND	ND	ND	25	83	15	60	13,000	450	ND	13
	平成16年度	最小	7.5	7.5	0.19	3.1	0.1	0.08	ND	17	6.1	ND	ND	ND	29	80	19	48	18,000	520	ND	5.5
		最大	7.7	11	0.22	3.9	0.2	0.10	ND	20	7.0	ND	ND	ND	33	89	31	63	20,000	550	ND	7.8
		平均	7.6	9.3	0.21	3.5	0.2	0.09	ND	19	6.6	ND	ND	ND	31	85	25	56	19,000	540	ND	6.7
	平成15年度	最小	7.5	7.1	0.08	4.3	ND	0.03	ND	13	4.6	ND	ND	ND	19	92	20	35	16,000	570	ND	4.0
		最大	7.9	7.4	0.10	5.1	0.1	0.10	ND	15	6.1	ND	ND	ND	22	99	28	66	18,000	620	ND	5.3
		平均	7.7	7.3	0.09	4.7	0.1	0.07	ND	14	5.4	ND	ND	ND	21	96	24	51	17,000	600	ND	4.7
	平成14年度		7.6~7.6	9.8~9.9	0.040~0.11	4.1~5.1	ND~0.1	0.06~0.12	0.1~0.1	18~19	5.4~6.1	ND	ND	ND	23~25	85~100	13~15	48~50	20,000~20,000	530~620	ND	4.7~4.7
	平成13年度		7.6~7.6	9.0~9.3	0.10~0.12	4.1~4.2	0.2~0.2	0.07~0.08	ND	17~21	5.0~5.5	ND	ND	ND	21~30	93~110	16~18	42~47	14,000~19,000	540~550	ND	4.5~5.7
	平成12年度		7.8	8.7	0.010	5.1	0.1	0.09	0.1	27	6.2	ND	ND	ND	35	120	20	53	21,000	810	ND	5.3
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		7.6~ 7.8 [7.7]	4.1~ 8.7 [6.2]	0.059~ 0.084 [0.070]	3.0~ 4.6 [3.7]	0.1~ 0.2 [0.1]	0.08~ 0.09 [0.09]	ND~ 0.1 [0.1]	16~ 24 [19]	4.6~ 7.4 [6.0]					23~ 98 [47]	85~ 110 [95]	13~ 91 [34]	42~ 54 [46]	16,000~ 20,000 [18,000]	480~ 710 [620]	ND	

測定項目 測定場所	調査日		pH	COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	全ソーン	PCB	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	銅	亜鉛	ニッケル	総クロム	総鉄	総マンガン	有機リン	ダイオキシン類
	調査日	調査日																					
北海岸沖 St-4	平成30年度	H30.7.12	7.8	3.4	0.10	4.2	0.2	0.07	ND	7.7	5.1	ND	ND	ND	ND	18	77	19	35	15,000	670	ND	5.4
	平成29年度	H29.7.24	7.7	3.1	0.13	3.6	0.3	0.05	ND	15	3.3	ND	ND	ND	ND	9.4	70	24	32	12,000	490	ND	1.6
	平成28年度	H28.8.2	7.5	3.2	0.09	4.2	0.2	0.08	ND	14	5.2	ND	ND	ND	ND	17	83	13	40	15,000	620	ND	3.3
	平成27年度	H27.7.30	7.7	3.4	0.08	3.1	0.2	0.08	ND	8.7	3.1	ND	ND	ND	ND	12	74	10	14	14,000	520	ND	2.0
	平成26年度	H26.8.7	7.4	4.5	0.16	4.5	0.5	0.13	ND	15	3.3	ND	ND	ND	ND	17	87	12	50	19,000	650	ND	2.3
	平成25年度	H25.8.19	7.5	5.2	0.12	3.2	0.2	0.06	ND	12	4.0	ND	ND	ND	ND	13	78	9.7	29	17,000	560	ND	4.0
	平成24年度	H24.8.2	7.6	5.4	0.38	4.2	0.5	0.07	0.1	17	4.4	ND	ND	ND	ND	16	84	17	38	16,000	580	ND	3.7
	平成23年度	H23.8.26	7.5	3.7	0.14	3.3	0.1	0.04	ND	14	3.2	ND	ND	ND	ND	13	77	13	27	15,000	520	ND	1.6
	平成22年度	H22.8.30	7.6	6.6	0.06	4.6	0.5	0.06	ND	11	1.3	ND	ND	ND	ND	16	65	8.0	10	12,000	580	ND	4.1
	平成21年度	H21.8.19	8.1	7.3	0.01	3.5	0.2	0.05	0.1	16	1.8	ND	ND	ND	ND	23	95	12	17	18,000	740	ND	2.9
	平成20年度	H20.8.27	7.7	4.2	0.07	3.9	ND	0.06	ND	14	3.7	ND	ND	ND	ND	23	73	9.5	34	14,000	640	ND	5.3
	平成19年度	H19.8.27	8.3	4.1	0.02	3.2	0.2	0.06	0.1	12	5.8	ND	ND	ND	ND	16	74	6.0	39	13,000	530	ND	3.5
	平成18年度	H18.8.8	7.7	7.3	0.06	5.2	0.3	0.05	0.1	24	4.6	ND	ND	ND	ND	23	100	12	60	17,000	770	ND	5.8
	平成17年度	H17.7.21	7.6	5.1	0.07	4.0	0.2	0.05	0.1	11	5.7	ND	ND	ND	ND	17	85	12	51	13,000	500	ND	4.6
	平成16年度	最小	7.5	5.4	0.09	4.2	0.1	0.04	ND	17	3.4	ND	ND	ND	ND	19	86	9.1	36	15,000	550	ND	3.5
		最大	7.6	6.3	0.19	4.7	0.1	0.10	ND	17	5.0	ND	ND	ND	ND	19	90	32	56	20,000	620	ND	7.1
		平均	7.6	5.9	0.14	4.5	0.1	0.07	ND	17	4.2	ND	ND	ND	ND	19	88	21	46	18,000	590	ND	5.3
	平成15年度	最小	7.7	7.4	0.03	4.4	ND	0.03	ND	12	4.3	ND	ND	ND	ND	14	94	27	46	18,000	530	ND	2.6
		最大	7.9	8.9	0.04	6.2	ND	0.06	0.1	14	6.6	ND	ND	ND	ND	15	98	27	82	21,000	720	ND	3.1
		平均	7.8	8.2	0.03	5.3	ND	0.04	0.1	13	5.5	ND	ND	ND	ND	15	96	27	64	19,500	630	ND	2.9
平成14年度		7.6~7.6	11~11	0.01~0.09	5.2~5.5	ND~0.1	0.06~0.10	ND~0.1	18~21	5.5~6.2	ND	ND	ND	ND	21~27	100~110	15~19	52~53	18,000~21,000	560~620	ND	3.3~5.2	
平成13年度		7.6~7.7	8.0~11	0.01~0.14	4.3~4.8	ND~0.1	0.08~0.08	0.1~0.1	18~20	5.1~5.7	ND	ND	ND	ND	20~26	100~110	18~28	51~74	19,000~19,000	620~710	ND	3.1~4.4	
平成12年度		7.8	9.3	0.02	5.4	0.1	0.13	0.1	31	5.8	ND	ND	ND	ND	41	140	19	67	24,000	700	ND	3.8	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		7.0~ 7.9 [7.6]	7.0~ 9.6 [7.8]	0.06~ 0.45 [0.19]	3.4~ 6.3 [4.7]	0.1~ 0.5 [0.3]	0.09~ 0.11 [0.10]	0.1~ 0.1 [0.1]	20~ 27 [24]	4.7~ 7.9 [6.3]	ND	ND	ND	ND	24~ 43 [30]	86~ 120 [110]	15~ 22 [19]	52~ 55 [54]	20,000~ 23,000 [22,000]	670~ 840 [750]	ND	6.5	
家浦港沖 St-5	H13.7.18	7.6	4.6	0.04	2.5	ND	0.07	ND	21	4.7	ND	ND	ND	ND	15	81	19	51	14,000	330	ND	1.9	
	H12.7.27	7.8	4.4	0.03	3.2	ND	0.09	ND	22	6.4	ND	ND	ND	ND	21	93	12	56	16,000	370	ND	1.8	
県内底質 ³⁾	平均値	7.6	6.6	0.18	3.7	0.4	0.44	0.2	25	5.3	ND	ND	-	-	-	-	-	32	-	-	ND	4.2	
	最小~最大	6.6~ 8.2	0.32~ 23	ND~ 1.5	1.0~ 11	ND~ 1.4	0.01~ 5.1	ND~ 1.1	5.3~ 120	1.0~ 12	ND~ 0.2	ND	-	-	-	-	-	5~ 65	-	-	ND	0.52~ 9.4	
環境基準、暫定除去基準			-	-	-	-	12	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150	
検出下限値(ND)			<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	-

1) 事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施 平成12年度：H12.7.27実施 平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施 平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施

平成15年度：H15.7.14、H15.10.24実施 平成16年度：H16.7.29、H16.11.2実施

2) ダイオキシン類(コブダイ-PCBを含む)は、事前環境モニタリングについては1回分(H11.11.29)の測定データである。

3) 県及び市町が平成8年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。但し、ダイオキシン類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等のダイオキシン類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

表4 豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域底質）

（強熱減量：％、ダイオキシン類：pg-TEQ/g・dry、COD、硫化物、油分等：mg/g・dry、pHを除く単位：mg/kg・dry）

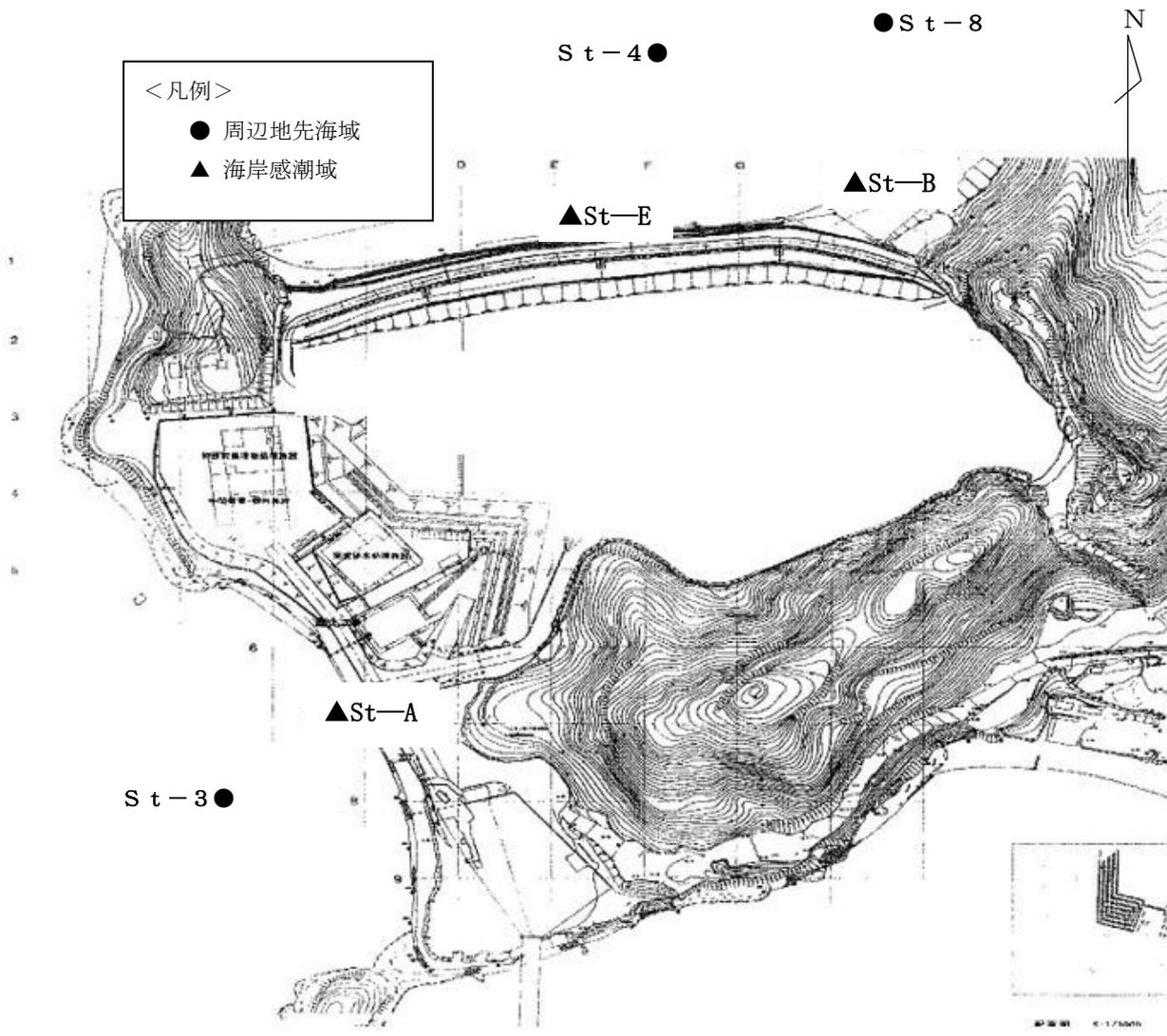
測定項目 測定場所	調査日		COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	カドミウム	鉛	ヒ素	全ソーン	PCB	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン	銅	亜鉛	ニッケル	総 クロム	総 鉄	総 マンガ ン	有機 リン	ダイオ キシン 類
西海岸 St-A	平成30年度	H30.7.12	0.2	ND	0.4	ND	ND	ND	5.9	2.2	ND	ND	ND	ND	32	47	1.9	ND	5,300	160	ND	150
	平成29年度	H29.7.24	0.3	ND	0.6	ND	ND	ND	6.3	2.0	ND	ND	ND	ND	30	57	1.9	ND	3,800	110	ND	13
	平成28年度	H28.8.2	ND	ND	0.6	ND	ND	ND	3.5	2.6	ND	ND	ND	ND	20	28	0.8	ND	3,300	150	ND	63
	平成27年度	H27.7.30	0.4	ND	0.5	ND	ND	ND	31	3.4	ND	ND	ND	ND	100	120	3.2	ND	4,900	120	ND	52
	平成26年度	H26.8.7	0.3	ND	0.7	ND	ND	ND	18	0.3	ND	ND	ND	ND	50	47	7.1	7	3,600	160	ND	73
	平成25年度	H25.8.19	0.1	ND	0.8	ND	ND	ND	1.5	0.4	ND	ND	ND	ND	37	50	3.5	6	3,800	130	ND	2.5
	平成24年度	H24.8.2	ND	ND	0.7	ND	ND	0.1	12	3.2	ND	ND	ND	ND	62	55	2.5	5	5,300	130	ND	13
	平成23年度	H23.8.26	ND	ND	0.6	ND	ND	ND	17	6.3	ND	ND	ND	ND	84	150	1.8	ND	5,300	95	ND	3.6
	平成22年度	H22.8.30	0.1	ND	0.7	ND	ND	ND	4.1	2.3	ND	ND	ND	ND	57	56	2.0	ND	4,300	130	ND	10
	平成21年度	H21.8.19	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	3.9	1.6	ND	ND	ND	ND	14	27	2.2	ND	3,300	110	ND	29
	平成20年度	H20.8.27	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	9.5	4.3	ND	ND	ND	ND	130	87	2.5	ND	4,800	120	ND	38
	平成19年度	H19.8.27	0.5	ND	0.4	ND	ND	ND	6.8	1.8	ND	ND	ND	ND	81	71	4.2	ND	5,700	125	ND	4.1
	平成18年度	H18.8.8	0.2	ND	0.7	ND	ND	0.1	27	1.9	ND	ND	ND	ND	95	85	5.5	8	5,800	150	ND	24
	平成17年度	H17.7.21	0.2	ND	0.4	ND	ND	0.1	14	5.9	ND	ND	ND	ND	110	97	5.3	ND	3,200	29	ND	50
	平成16年度	最小	0.1	ND	0.5	ND	ND	ND	8.6	2.1	ND	ND	ND	ND	10	11	0.6	ND	2,600	90	ND	30
		最大	0.1	ND	0.6	ND	ND	ND	21	4.9	ND	0.01	ND	ND	64	97	2.7	ND	3,000	130	ND	120
		平均	0.1	ND	0.6	ND	ND	ND	15	3.5	ND	0.01	ND	ND	37	54	1.7	ND	2,800	110	ND	75
	平成15年度	最小	0.3	ND	0.7	ND	ND	ND	12	4.2	ND	ND	ND	ND	89	85	1.3	3	3,600	100	ND	47
		最大	0.4	ND	0.8	ND	ND	ND	14	7.4	ND	ND	ND	ND	170	150	2.7	7	9,600	140	ND	120
		平均	0.4	ND	0.8	ND	ND	ND	13	5.8	ND	ND	ND	ND	130	120	2.0	5	6,600	120	ND	84
平成14年度		0.2~0.4	ND	0.5~0.6	ND	ND	ND~0.1	5.2~29	2.1~6.6	ND	ND~0.01	ND	ND	31~170	55~150	1.2~6.1	3~8	3,800~8,000	80~130	ND	5.4~120	
平成13年度		0.4~0.6	ND	0.4~0.7	ND	ND	0.1~0.1	15~19	2.0~3.7	ND	ND~0.01	ND	ND	99~100	120~180	2.7~3.6	7~7	5,900~6,400	150~170	ND	38~74	
平成12年度		0.3	ND	0.5	ND	ND	0.1	28	3.4	ND	ND	ND	ND	160	110	6.9	7	6,400	180	ND	48	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		ND~ 0.2 [0.2]	ND	0.51~ 0.79 [0.6]	ND	ND~ 0.03 [0.01]	ND~ 0.1 [0.1]	10~ 21 [18]	1.7~ 4.2 [3.1]	ND	ND	ND	ND	29~ 130 [84]	54~ 180 [120]	2.1~ 2.7 [2.5]	5~ 9 [6]	4,400~ 7,000 [5,700]	87~ 130 [100]	ND	78	
北海岸 St-B	平成30年度	H30.7.12	2.5	0.06	1.8	ND	0.01	ND	6.0	2.0	ND	ND	ND	ND	6.3	50	1.7	6	11,000	320	ND	2.3
	平成29年度	H29.7.24	1.0	ND	1.1	ND	ND	ND	4.7	1.4	ND	ND	ND	ND	3.5	45	1.0	ND	7,100	240	ND	1.4
	平成28年度	H28.8.2	1.2	0.06	1.7	ND	ND	ND	3.3	2.1	ND	ND	ND	ND	5.6	62	3.4	ND	10,000	410	ND	3.4
	平成27年度	H27.7.30	3.2	0.06	1.2	0.1	ND	ND	5.4	1.1	ND	ND	ND	ND	3.6	32	0.9	ND	5,200	180	ND	1.9
	平成26年度	H26.8.7	2.8	0.07	1.6	ND	ND	ND	9.4	ND	ND	ND	ND	ND	5.1	55	4.9	12	8,000	280	ND	2.4
	平成25年度	H25.8.19	ND	ND	1.7	ND	ND	ND	2.6	0.3	ND	ND	ND	ND	5.0	57	ND	10	8,200	290	ND	1.1
	平成24年度	H24.8.2	1.4	ND	1.9	ND	ND	ND	5.3	2.1	ND	ND	ND	ND	6.1	31	ND	12	8,200	290	ND	0.4
	平成23年度	H23.8.26	1.0	0.01	1.7	ND	ND	ND	4.7	2.0	ND	ND	ND	ND	2.8	60	1.8	ND	10,000	370	ND	2.7
	平成22年度	H22.8.30	2.4	0.05	2.4	ND	ND	ND	3.7	1.9	ND	ND	ND	ND	3.5	71	3.5	10	10,000	440	ND	3.6
	平成21年度	H21.8.20	1.9	ND	1.6	ND	ND	ND	5.1	2.2	ND	ND	ND	ND	3.7	68	2.5	ND	9,200	370	ND	4.1
	平成20年度	H20.8.27	2.1	ND	1.8	ND	ND	ND	4.4	2.5	ND	ND	ND	ND	9.5	62	2.5	13	11,000	360	ND	6.0
	平成19年度	H19.8.27	2.9	0.11	2.3	ND	ND	ND	3.8	1.5	ND	ND	ND	ND	6.7	72	4.3	ND	11,000	340	ND	12
	平成18年度	H18.8.8	2.2	0.01	1.8	ND	ND	ND	4.6	2.0	ND	ND	ND	ND	9.3	63	3.3	11	12,000	420	ND	5.2
	平成17年度	H17.7.21	2.5	0.02	1.3	ND	ND	0.1	6.2	2.2	ND	ND	ND	ND	7.7	53	5.8	ND	9,700	790	ND	6.3
	平成16年度	最小	1.7	0.03	1.0	ND	ND	ND	7.5	2.3	ND	ND	ND	ND	9.3	42	1.0	6	5,600	310	ND	1.6
		最大	4.4	0.16	2.1	ND	0.01	0.1	8.9	5.1	ND	ND	ND	ND	12	83	3.6	12	15,000	770	ND	13
		平均	3.1	0.10	1.6	ND	0.01	0.1	8.2	3.7	ND	ND	ND	ND	11	63	2.3	9	10,000	540	ND	7.3
	平成15年度	最小	2.1	0.03	1.2	ND	ND	ND	5.5	1.6	ND	ND	ND	ND	3.9	47	2.3	7	7,800	400	ND	1.3
		最大	2.3	0.06	1.8	ND	0.01	ND	6.6	3.0	ND	ND	ND	ND	5.5	74	3.2	14	13,000	1,000	ND	2.8
		平均	2.2	0.04	1.5	ND	0.01	ND	6.1	2.3	ND	ND	ND	ND	4.7	61	2.8	10	10,000	710	ND	2.1
平成14年度		1.9~2.5	0.1~0.15	1.1~1.4	ND	ND	ND~0.1	5.8~7.7	1.6~2.0	ND	ND	ND	ND	5.0~7.0	46~81	1.6~1.7	8~11	7,500~11,000	270~660	ND	2.7~2.7	
平成13年度		2.7~3.8	0.02~0.12	1.2~2.2	ND~0.1	ND~0.01	0.1~0.1	5.9~10	1.9~3.2	ND	ND	ND	ND	5.1~13	52~100	3.1~4.4	7~12	6,700~8,300	630~1,200	ND	4.0~5.0	
平成12年度		2.4	0.06	1.5	ND	0.01	ND	10	2.0	ND	ND	ND	ND	9.4	67	2.6	14	11,000	350	ND	3.2	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		2.3~ 30 [2.7]	0.02~ 0.11 [0.07]	1.2~ 1.7 [1.6]	ND~ 0.12 [<0.1]	0.01~ 0.01 [0.01]	ND~ 0.1 [ND]	6.4~ 9.8 [8.4]	2.0~ 2.6 [2.3]	ND	ND	ND	ND	6.2~ 9.4 [8.4]	59~ 76 [68]	1.8~ 4.0 [2.7]	12~ 28 [17]	6,200~ 13,000 [11,000]	340~ 680 [480]	ND	21	

測定項目 測定場所	調査日		COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	ホムム	鉛	ヒ素	全ソフ	PCB	トリカロ エチレン	テトラカロ エチレン	銅	亜鉛	ニッケル	総 ケム	総 鉄	総 マンガ	有機 リン	ダイキ シ類
	調査日	調査日																				
北海岸 St-E	平成30年度	H30. 7. 12	1.1	ND	1.0	0.1	ND	ND	4.9	3.1	ND	ND	ND	ND	5.6	34	1.0	ND	7,200	280	ND	3.2
	平成29年度	H29. 7. 24	0.9	ND	1.0	ND	ND	ND	8.3	2.9	ND	ND	ND	ND	22	60	1.0	ND	7,500	230	ND	1.7
	平成28年度	H28. 8. 2	0.2	ND	0.8	ND	ND	ND	4.2	3.4	ND	ND	ND	ND	28	78	1.7	ND	6,200	400	ND	2.4
	平成27年度	H27. 7. 30	1.6	ND	5.9	ND	ND	ND	3.0	2.3	ND	ND	ND	ND	8.1	25	0.9	ND	4,200	240	ND	3.3
	平成26年度	H26. 8. 7	1.6	ND	0.2	ND	ND	ND	8.3	0.4	ND	ND	ND	ND	5.0	37	2.2	7	4,600	330	ND	3.5
	平成25年度	H25. 8. 19	ND	ND	1.0	ND	ND	ND	4.0	0.4	ND	ND	ND	ND	11	47	5.9	ND	4,900	380	ND	2.2
	平成24年度	H24. 8. 2	0.4	ND	0.6	ND	ND	ND	7.1	3.9	ND	ND	ND	ND	58	9	1.3	ND	3,700	340	ND	6.0
	平成23年度	H23. 8. 26	0.3	ND	1.1	ND	ND	ND	7.2	3.9	ND	ND	ND	ND	27	98	1.0	ND	7,000	380	ND	6.7
	平成22年度	H22. 8. 30	0.4	ND	0.9	ND	ND	ND	5.7	4.2	ND	ND	ND	ND	29	87	2.0	ND	5,700	740	ND	13
	平成21年度	H21. 8. 19	2.5	0.04	1.2	ND	ND	0.1	5.6	2.7	ND	ND	ND	ND	24	85	1.4	ND	7,100	290	ND	20
	平成20年度	H20. 8. 27	0.6	ND	0.7	ND	ND	0.1	7.6	4.1	ND	ND	ND	ND	88	130	1.0	ND	7,800	270	ND	21
	平成19年度	H19. 8. 27	1.0	ND	0.6	ND	ND	ND	14	3.3	ND	ND	ND	ND	110	92	3.8	ND	5,900	120	ND	79
	平成18年度	H18. 8. 8	2.2	0.12	1.2	ND	ND	ND	5.7	4.9	ND	ND	ND	ND	120	70	4.3	9	9,100	370	ND	54
	平成17年度	H17. 7. 21	1.0	0.01	0.6	ND	ND	ND	6.5	4.6	ND	ND	ND	ND	31	52	2.5	ND	4,700	130	ND	21
	平成16年度	最小		1.1	0.30	0.6	ND	ND	4.0	1.9	ND	ND	ND	ND	6.3	31	ND	ND	4,200	150	ND	1.5
		最大		1.5	0.31	0.7	ND	ND	7.0	4.9	ND	ND	ND	ND	13	52	1.1	5	5,500	260	ND	2.4
		平均		1.3	0.31	0.7	ND	ND	5.5	3.4	ND	ND	ND	ND	9.7	42	0.8	5	4,900	210	ND	2.0
	平成15年度	最小		1.3	0.11	0.8	ND	ND	5.0	2.6	ND	ND	ND	ND	5.0	37	1.1	3	5,700	190	ND	4.9
		最大		1.3	0.15	1.0	0.1	ND	ND	6.0	4.5	ND	ND	ND	20	72	1.2	3	7,700	390	ND	7.4
		平均		1.3	0.13	0.9	0.1	ND	ND	5.5	3.6	ND	ND	ND	13	55	1.2	3	6,700	290	ND	6.2
平成14年度		1.9~2.9	0.23~0.73	0.9~1.5	0.2~0.2	ND	0.1~0.1	5.4~8.8	3.6~4.6	ND	ND	ND	ND	7.5~12	58~84	1.7~1.8	5~8	8,600~10,000	220~320	ND	2.3~5.2	
平成13年度		1.5~2.1	0.05~0.10	0.9~1.1	0.1~0.2	ND	ND~0.1	4.1~4.4	1.9~2.1	ND	ND	ND	ND	4.8~17	32~52	1.4~1.8	3~4	4,700~5,400	170~200	ND	2.2~2.9	
平成12年度		1.4	0.10	0.9	0.2	ND	ND	73	5.0	ND	ND	ND	ND	26	43	1.7	4	7,000	810	ND	1.3	
事前環境モニタリング 最小値~最大値 (平均値)		1.0~ 3.0 [1.7]	ND~ 0.31 [0.09]	0.6~ 0.8 [0.7]	ND~ 0.70 [0.4]		ND ND	2.6~ 6.2 [4.5]	2.1~ 4.2 [2.8]	ND	ND	ND	ND	2.8~ 7.0 [5.0]	19~ 44 [29]	ND~ 1.5 [0.8]	ND~ 5.0 [ND]	2,900~ 7,000 [4,800]	190~ 510 [330]	ND	1.8	
県内底質 ³⁾	平均値		6.6	0.17	3.7	0.4	0.44	0.2	25	5.3	ND	ND	-	-	-	-	-	32	-	-	ND	4.2
	最小~最大		0.32~ 23	ND~ 1.5	1.0~ 11	ND~ 1.4	0.01~ 5.1	ND~ 1.1	5.3~ 120	0.97~ 12	ND~ 0.2	ND	-	-	-	-	-	ND~ 65	-	-	ND	0.52~ 9.4
環境基準、暫定除去基準			-	-	-	-	12	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	150
検出下限値(ND)			<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	-

1) 事前環境モニタリング：H11. 1. 21、H11. 6. 16、H11. 9. 9、H11. 11. 29実施 平成12年度：H12. 7. 27実施 平成13年度：H13. 7. 18、H14. 2. 1実施 平成14年度：H14. 7. 23、H15. 2. 6実施

平成15年度：H15. 7. 14、H15. 10. 24実施 平成16年度：H16. 7. 29、H16. 11. 2実施

2) ダイキシ類(コプラ-PCBを含む)は、事前環境モニタリングについては1回分(H11. 11. 29)の測定データである。



調査地点図

健康管理委員会の審議概要

第 34 回豊島廃棄物等処理施設撤去等事業健康管理委員会（以下「健康管理委員会」という。）を平成 31 年 3 月 14 日に開催したので、その審議概要等を報告する。

1. 作業環境測定結果

第 33 回健康管理委員会（平成 30 年 2 月 15 日開催）以後の作業環境測定の結果について報告した。

(1) 除去・除染中の作業環境測定結果（直島中間処理施設）

○平成 30 年 2 月 13 日～14 日、4 月 2 日及び 5 月 30 日に作業環境測定を実施した結果、全ての測定において管理濃度を満足していた。

(2) 一部解体撤去工事中の作業環境測定結果（直島中間処理施設）

○平成 30 年 8 月 30 日に作業環境測定を実施した結果、空気中の粉じん濃度が管理濃度(0.9mg/m³)を超過していた。

○その他項目は、管理濃度を満足していた。

2. ひやり・ハット等の報告

ひやり・ハット 1 件について、概要や対策を報告した。

3. 作業現場巡視の実施状況

（直島側）平成 30 年 9 月 3 日 実施

平成 30 年 12 月 19 日 実施

委員が作業現場を巡視し、転倒災害が起こりうる箇所の指摘や、保護具着用について、より一層事前教育を徹底するように御指導をいただいた。

4. 今後の健康管理委員会

平成 31 年 3 月に直島中間処理施設の一部解体撤去工事が完了したことに伴い、豊島廃棄物等処理施設撤去等事業健康管理委員会設置要綱の、所要の規定整備を行うことについて審議し、承認された。

豊島廃棄物等処理施設撤去等事業に関する情報公開

1. 概要

これまで豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の実施においては、事業の実施について積極的に情報公開しており、更に情報公開に努めていく。

2. 公開の内容等

これまで豊島事業の実施に当たっては、施設の運転状況や環境計測等の情報を、施設に行かなくても知ることができるよう、インターネットを通じて一般に公開するなど、積極的な情報公開に努めてきたところである。

今後は、豊島問題ホームページ (<https://www.pref.kagawa.lg.jp/haitai/teshima/>) において、「県と豊島住民会議との事務連絡会」において県から住民に提供している、工事の進捗状況を記載した資料についても情報公開することとしており、準備が整い次第、公開していくこととする。

また、集水井及び揚水井のデータについても情報公開することとしており、準備が整い次第、公開していくこととする。

「豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の完了に向けての今後の対応と課題

(永田委員長提案)」に対する各委員からの意見の概要等

～第5回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会における議論及び永田の追記コメント～

豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会 委員長

永田 勝也

<各委員からの意見>

- 事業の終わりを見据えたバックキャスト型の工程管理は必要であり、重要である。
- 地下水・雨水等対策検討会で、この資料にあるような必要な検討を進めるとともに、その結果はフォローアップ委員会に報告する。
- 処分地全てを掘削すれば地下水浄化は可能かもしれないが、費用の問題が生じる。合理的なコストパフォーマンスを考える必要がある。→【今回提案の工程の達成が不可能となった場合の県費増額分やその影響を考慮して判断する必要がある。】:永田コメント追記
- 最終処分場の廃止の検討の際に、国における議論に関わった。経年変化を追いかけ、結果として2年間となった経緯がある。確認期間が検討の結果、1年ではなく2年、3年になることも可能性としてはある。→【豊島処分地に対しては、排水基準の到達が確定(規定は地下水・雨水対策検討会で決定される。)された後、確認期間に入る。確認期間の1年はもちろん、その後も排水基準を下回り、環境基準に到達できるように、地下水対策を実施しておくことになる。】:永田コメント追記
- 同様に、国における議論に関わった。最終処分場のように管理された埋立処分地とは異なり、豊島処分地は地下水の流れが分かりにくく、把握するのが難しい。
- 豊島処分地では汚染物質濃度の高低差がかなりあり、土壌も不均質であるため、予測シミュレーションは相当困難と思われる。シミュレーションにあまり期待できない。それよりも対策を行った方が早く達成できよう。→【浄化対策の強化と排水基準の達成の確認は、それぞれ独立した問題である。またここでいう予測式は、何もシミュレーションだけではない。地下水対策実施期間中に計測可能なデータを吟味し、その相関を検討し、確認期間における汚染質濃度を予測できる手法を確定させることである。確認期間中の汚染質濃度がその予測値と合致すること(最大値を予測し、それを必ず下回るような予測方法や極端に地下水量が少ない場合は除外するなどの条件の導入なども考えられる。)が重要である。】:永田コメント追記
- 沿岸の生態の変化については、遮水機能の解除前後のデータを比較する必要がある、そのように対応することが求められる。また、比較に当たっては調査の季節と方法についても予め検討することが必要である。

<豊島住民会議からの意見>

- 今回の工程のように、目標を定めて事業を進めていただきたい。
- 排水基準の達成の確認を1年間とすることで構わないが、汚染質濃度の安定性やその振れ幅を降雨量などから検証することは必要と考える。→【今回の提案での予測式での対応が、指摘の内容に該当すると考える。】:永田コメント追記
- 遮水機能を解除して海水が出入りする状況に対しても予測が必要である。遮水機能を解除してからの対応なども検討する必要がある。→【今回の提案に示すように、当然のことながら、遮水機能の解除後における環境基準の到達・達成に向けての対応や予測式の検討等を、地下水・雨水対策検討会にお願いすることになる。】:永田コメント追記

<県からの意見>

- 産廃特措法による国の支援が受けられる平成34年度までに、今回提案にあるように地下水浄化等の達成ができることを目指して最大限の努力をしていく。

「豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の完了に向けての今後の対応と課題
(永田委員長提案)」に対する各委員からの意見の概要等
～第5回及び第6回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会における議論～

1. 概要

第5回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会において永田委員長から提案のあった資料に対し、第5回及び第6回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会において、議論した概要を以下のとおり取りまとめた。

2. 第5回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会

第5回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会において、永田委員長から提案のあった資料に対する各委員からの意見の概要等は以下のとおりである。

＜各委員からの意見＞

- 排水基準達成の確認期間の2年間で1年間に縮める件について、データを整理中であるので第6回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会で議論をしたい。
- 地質や汚染源が必ずしも特定できておらず、まだ廃棄物が残っている可能性もある。平成33年3月に目安を置くのは理解するが、それに向けて一所懸命に頑張るとしか今のところは言い様がない。
- できるかできないはまた別の問題として、実際に対策しても地下水汚染が残ってしまうという問題もある。確実にうまくいくと言える程、豊島の地下水汚染は一般的ではない。
- 11月19日に新たな廃棄物が見つかったという事態からして、まだ埋まっている可能性がある中で、地下水を完全浄化できるという話はないと思うので、やはり排水基準の達成を目指すとは言いえない。
- 単に最大限努力するというよりも、もう少し強い意味で頑張るというニュアンスだと思う。
- 今考えてやろうとしている方策がすべてできれば、うまくいけば達成できるのではないかというふうに考えて、そういう意味で努力しているとしか今のところは言いえない。
- 処分地内の個々の地下水汚染の浄化対策を進めるだけでなく、処分地全体をみて浄化対策を進める必要がある。
- 国からの補助をもらうために莫大なお金を短期間にかけるということが合理的なのかという話もある。

＜豊島住民会議からの意見＞

- 現場は面積が非常に広い。色々と並行して作業ができるのではないかと。
- 今年は長雨や、台風により水の処理で苦労した。そのために目的の地下水浄化ができないのでは困るので、処理設備を入れるのであれば入れ、また、問題のない雨水はいかに手をかけずに外に出すか、そういったことを考えて進めてほしい。

3. 第6回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会

第5回豊島処分地地下水・雨水等対策検討会において、中杉座長から「排水基準達成の確認期間の2年間で1年間に縮める件について、データを整理中であるので次回検討会で議論をしたい。」と発言があった件について、中杉座長が整理したデータを示し、議論を行った。各委員からの意見の概要等は以下のとおりである。

<各委員からの意見>

- 深い層の地下水が汚染されており、遮水機能の解除方法をどうするかを含めて考えていく必要がある。
- 一定期間を経て、再度基準を超過する事例が確認できることから、地下水浄化の確認期間を1年で行うことで大丈夫とは言い切れない。
- D測線西側で実施している地下水浄化対策は部分的な対策であるため、周辺部からの再汚染の可能性が考えられる。
- 遮水機能を解除した後の対応を考えておく必要があり、全ての遮水機能を解除するのか、コントロールできる範囲で解除するのか分からないが、現状で大丈夫であるとは言い切れない。
- 地下水浄化の確認期間を1年間とすることで大丈夫とは言い切れないとして、F U委に報告する。遮水機能を解除することはやぶさかではないが、地下水浄化の確認期間を1年にする場合は、排水基準を超過した揚水井等の地下水を浄化できる設備等を残すなどの措置が必要である。

<豊島住民会議からの意見>

- リバウンドに対しては、もう少し検討すべきであると思う。リバウンドはないと思っていた。時間が来たから解除ができるという話ではないことを再認識させられた。
- 地下水浄化対策を行って、効果があるかないかについて豊島処分地地下水・雨水等対策検討会において検討を行い、一歩ずつ原状回復に向かうことを願っている。

平成31年3月25日

**「豊島廃棄物等処理施設撤去等事業の完了に向けての今後の対応と課題
(永田委員長提案)」に対する各委員からの意見の概要等
～第4回豊島事業関連施設の撤去等検討会における議論～**

第5回豊島廃棄物等処理事業フォローアップ委員会において永田委員長から提案のあった資料に対する、第4回豊島事業関連施設の撤去等検討会における各委員からの意見の概要は以下のとおりである。

<各委員からの意見>

- 産廃特措法による国の支援が受けられる平成34年度までに、どのように対応していかないといけないかを、バックキャストिंगで予定立てて戦略的に進めていく必要がある。
- 半年の余裕があるように見えるが、余裕はあっていないようなものである。
- 廃棄物の掘削等は定常的な作業であったが、地下水浄化や施設撤去は非定常的な作業であるため、どんどん成長させて考えていく必要がある。